

消防年報

令和七年版
姫路市



このページは空白です。

令和 7 年 版

姫 路 市 消 防 年 報

姫路市消防局

は じ め に

この年報は、姫路市消防局における消防行政の概要と令和6年中の火災・救急・救助の状況を取りまとめたものです。広く各方面の皆さまにご高覧いただき、活用いただければ幸いと存じます。

今後も「ともに生き ともに輝く にぎわい交流拠点都市 姫路」の実現に向け取り組んでまいりますので、皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年5月

姫路市消防局長
改發 久樹

《 ご 利 用 の 前 に 》

- (1) 本書は、姫路市の消防防災の全般にわたる基礎的な統計資料を収録したもので、原則として令和6年度の資料を中心に収録しています。
- (2) 統計表の「年次」とあるのは、暦年（1月1日～12月31日）、「年度」とあるのは、会計年度（4月1日～翌年3月31日）を表すものです。
- (3) 統計表中の符号の用法は、次のとおりです。
 - 「 - 」……該当なし
 - 「 ▲ 」……負数

合併等について

姫路市は、平成18年3月27日に近隣4町（家島町・夢前町・香寺町・安富町）と合併し、平成19年4月1日からは、神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務（消防団・水利事務を除く）を受託しています。

本書には以下のとおりの統計数値を掲載しています。

平成18年中の表示は、夢前町・香寺町・安富町を除く数値
平成19年中の表示は、消防事務受託後の4月1日以降の数値
その他、例外的なものについては、頭注に表記

目次

第一部 施策編

第1章 総括

1 姫路市勢	1	・ 応急手当の普及啓発	30
2 一目統計	2	・ P A出動	31
3 主な行事・出来事等	3	・ 「Thanksカード」の配布	31
4 消防本部・消防署所の配置	4	4 救助活動体制	31
5 姫路消防の沿革	5	・ 救助出動体制	31
6 消防庁舎の現況	12	・ 救助出動状況	31
7 組織及び事務分掌	13	・ 救助業務の高度化	32
8 階級と職名	14	(1) 国際消防救助隊	32
9 消防団の活動	15	(2) 水難救助隊	32
10 令和7年度消防局重点施策	17	(3) 山岳救助隊	32
11 令和7年度消防局所管事業及び事業内容	18	5 緊急通報受信体制	32

第2章 災害を未然に防ぐために

1 予防広報	21	・ 119番通報	33
・ 火災予防行事等の年間実施状況	21	(1) I P電話からの119番通報	33
・ 広報手段	21	(2) 携帯電話からの119番通報	33
(1) 姫路シティFM21での放送	21	・ 119番以外による通報	33
(2) 姫路ケーブルテレビでの放送	21	(1) F A X 119	33
(3) 情報提供	21	(2) N E T 119	33
(4) S N Sを活用した情報提供	21	・ 外国語同時通訳機能	33
・ 消防音楽隊	22	・ 119番による応急手当の指導	33
2 防火指導	23	・ 映像通報システム	33
・ 立入検査	23	6 相互応援体制	34
・ 消防同意等	23		
・ 防火対象物定期点検報告制度	23		
・ 表示マーク制度	24		
・ 防火管理	24		
(1) 防火管理者の役割	24		
(2) 防火管理講習	24		
・ 住宅防火対策	24		
(1) 住宅用火災警報器等の普及促進	24		
(2) 高齢者対策	24		
・ 民間防火組織の育成	25		
(1) 民間防火クラブ交流委員会	25		
(2) 婦人防火クラブ	25		
(3) 幼年消防クラブ	25		
・ 違反対象物公表制度	25		
3 危険物規制	26		
・ 危険物保安体制	26		
・ 石油コンビナート等特別防災区域	26		
・ 保安教育	26		

第3章 市民の生命財産を守るために

1 消防指揮体制	29
2 火災活動体制	29
・ 火災出動体制	29
3 救急活動体制	29
・ 救急出場体制	29
・ 救急業務の高度化	30
・ 派遣型救急ワークステーション	30
・ 播磨姫路救急搬送システム	30

第4章 災害について楽しく学ぶために

1 ひめじ防災ブラザ	37
・ 施設の利用	37
・ 施設の紹介	37
・ イメージキャラクター「Bee」	39
・ 来館状況	39
・ 各種イベント等（令和6年度）	40
2 施設見学	41
3 トライやる・ウィークの受け入れ	41
4 市政出前講座	42
5 まもりんピック	42

第二部 統計・資料編

人事・予算

1	職員の配置状況	46
2	年齢別職員数	47
3	年度別職員数	48
4	公務災害等の発生状況	48
5	職員の技能資格	48
6	職員表彰	49
7	市民表彰等	49
8	年度別一般会計及び消防費決算額	50
9	令和7年度消防局予算概要	50
10	年度別主要事業実施状況	51

警 防

1	消防車両等の配置状況	54
2	消防緊急車両等の一覧	55
3	部隊別主要資機材配備基準	56
4	消防水利の現況	57
5	消防水利の整備状況	57
6	開発行為による設置状況	57
7	泡消火薬剤の備蓄状況	58
8	出動基準表	59

消防指令

1	総受信状況の推移	62
2	119番受信状況	62
3	119番受信状況の推移	63
4	119番通報形態(通報手段)の推移	63
5	FAX119受信状況の推移	64
6	NET119受信状況の推移	64
7	外国語同時通訳機能利用状況の推移	64
8	テレホンガイド(災害案内)受信状況の推移	64
9	医療機関問合せ状況の推移	64
10	姫路市救急受診ガイド利用状況の推移	64
11	119番による応急手当の口頭指導状況	64
12	消防通信系統図	65

予防・防災

1	火災予防に関する届出及び申請状況	68
2	防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況	69
3	液化石油ガス施設等の推移	70
4	指定査察対象物の推移	70
5	消防法等違反の実態と措置状況	70
6	指定査察対象物の立入検査等実施状況	71
7	指定査察対象物の状況	72
8	中高層建築物・地下を有する建築物の状況	73
9	防火対象物使用開始検査の状況	74
10	防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況	75
11	消防同意等の推移	76
12	民間防火組織等の指導育成状況	76
13	自主防災組織の結成状況	77

危険物

1	危険物事務の処理状況	80
2	完成検査前検査の状況	80
3	仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況	80
4	危険物施設の状況	80
5	危険物施設の推移	81
6	危険物施設立入検査実施状況	81
7	特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況	82
8	特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況	82
9	特定事業所の危険物施設の状況	82
10	姫路臨海地区特別防災区域の現況	83
11	危険物防災体制の推進状況	84

消防団

1	消防団の沿革	86
2	消防団の組織	88
3	階級別の定員	89
4	年齢別団員数	90
5	在職年数別団員数	90
6	報酬及び出動手当	91
7	公務災害補償等の発生状況の推移	91
8	退職報償金の支給状況の推移	91
9	団員表彰の推移	91
10	教養訓練の実施状況の推移	92
11	消防ポンプ車庫及び消防ポンプ自動車の整備状況	92
12	団員の職業状況	93
13	分団別火災状況	94
14	消防団の装備・資機材	95

各種災害の状況

令和6年中の災害の状況	99		
火 災		救 助	
1 火災状況	100	1 救助出動・活動状況	129
2 火災状況の推移	102	2 救助出動件数及び出動種別の推移	130
3 降水量と出火率の推移	103	3 署別救助事故発生状況及び活動状況	130
4 署別火災件数	103	4 署所別救助事故発生状況	131
5 月別火災状況	104	5 発生場所別救助事故状況	131
6 四季別火災状況	105	6 水難救助事故の状況	132
7 建物用途別火災状況	105	7 山岳救助事故の状況	132
8 建物火災に占める住宅火災の割合	106	8 救助出動隊員数及び活動隊員数	133
9 火災の覚知方法	106	9 救助出動車両台数及び活動車両台数	133
10 初期消火実施状況	107	10 救助事故別傷病程度	133
11 初期消火失敗の理由	107	11 救助資機材使用状況	134
12 小学校区別火災状況	108	12 救助訓練実施状況	134
13 事務受託町の火災状況	108		
14 出火原因の推移	109	その他	
15 建物用途別出火原因	110	1 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況	135
16 主な出火原因の状況	111	2 自動火災報知設備の誤作動による出動状況	135
(1) たき火・焼却火	111	3 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況	136
(2) たばこ	111		
(3) 放火（疑いを含む）	112	資 料	
(4) 電気関係	113	令和6年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品	138
(5) こんろ	113	令和6年度防火ポスター最優秀賞・金賞作品	139
17 火災による死者の発生状況	114	令和6年度火災予防啓発ポスター・チラシ	140
18 火災による死者の推移	114		
19 火災による負傷者の推移	114		
(1) 火災種別による負傷者	115		
(2) 負傷者の区分	115		
(3) 負傷原因	115		
(4) 負傷経過	115		
20 自治体消防発足以後の火災概要	116		
救 急			
1 救急出場件数	117		
2 救急出場件数の推移	118		
3 過去10年間の救急出場件数の推移	118		
4 月別出場件数	119		
5 曜日別出場件数	119		
6 時間別出場件数	119		
7 隊別活動状況	120		
8 小学校区別出場状況	122		
9 隊別救急出場の推移	123		
10 事故別・傷病程度別搬送人員	124		
11 年齢別・事故別搬送人員	125		
12 年齢別・傷病程度別搬送人員	125		
13 過去5年間の傷病程度構成比の推移	126		
14 応急救置実施状況	126		
15 救命率	127		
16 不搬送状況	127		
17 不搬送理由	127		
18 市民処置状況	128		

このページは空白です。

第一部 施 策 編

このページは空白です。

第1章 総括

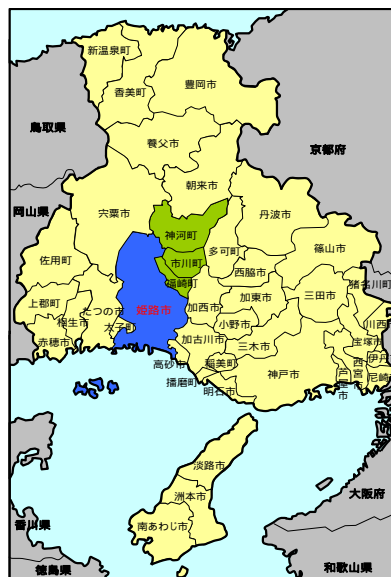


このページは空白です。

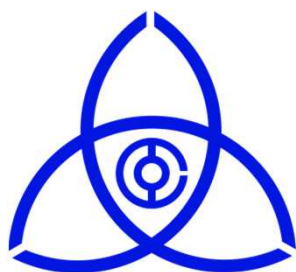
1 姫路市勢

姫路市は、兵庫県の南西部に位置し、人口はおよそ52万人、市域面積534 k m²で、北は中国山地の雪彦山、南は瀬戸内海に浮かぶ家島諸島を擁しています。年平均気温は17 前後、年間降水量は1,500mm程度で、温和な気候である瀬戸内気候区に属しています。

■ 位置図



■ 市徽章



姫路の「姫」がモチーフ

■ 市旗



ヒメジの「ヒ」と白鷺がモチーフ

■ 市木



カシの木

■ 市鳥



しらさぎ（白鷺）

■ 市花



さぎ草

■ 市蝶



ジャコウアゲハ

2 一目統計

管 轄 面 積 管 轄 人 口 消 防 予 算 (R7. 3. 31現在)					
	面 積	人 口 (住民基本台帳)	人 口 密 度	世帯数 (住民基本台帳)	令和7年度消防局予算
姫 路 市	534.35 km ²	516,989 人	967.5 人／km ²	231,750 世帯	11,424,336千円
受 託 町	330.69 km ²	39,117 人	118.3 人／km ²	17,166 世帯	
合 計	865.04 km ²	556,106 人	642.9 人／km ²	248,916 世帯	
【常備消防】 組 織 機 械 施 設 (R7. 4. 1現在)					
	署 所	消 防 職 員	消防局保有車両等 (非常用を含む)		消 防 水 利
消防本部 1	定 員 690 人	指 揮 隊 車 3 台	救助工作車 3 台	消 火 栓 22,161 基	
消 防 署 5	実 員 599 人	S T 車 16 台	救 急 車 24 台	防 火 水 槽 732 基	
分 署 2	平均年齢	タ ン ク 車 8 台	消 防 艇 1 隻	防 火 井 戸 206 基	
出張所 13	37.9 歳	は し ご 車 5 台	救 急 艇 1 隻	プ ー ル 等 249 基	
		化 学 車 3 台	そ の 他 57 台		
火 災 災 害 事 故 救 助 緊 急 通 報 (R6年中)					
	火 災	救 急	救 助	災 害 事 故	緊 急 通 報
火災件数 158 件	救急出動件数 35,278 件	救助出動 636 件	発生件数 2,318 件 (警戒・誤報・風水害等)	総受信件数 52,949 件 (うち119番 48,629 件)	
予 防 民間防火組織 (R7. 4. 1現在)					
	防 火 対 象 物	表示マーク制度	危 険 物 施 設	特 定 事 業 所	民 間 防 火 組 織
17 条	交付宿泊施設数	製造所 45 対象	1 種事業所	婦人防火クラブ	
21,847 対象	金 14 対象	貯蔵所 1,399 対象	6 対象	36 対象	
8 条	銀 1 対象	取扱所 645 対象	2 種事業所	幼年消防クラブ	
5,176 対象			8 対象	64 対象	
【非常備消防】 組 織 機 械 施 設 (R7. 4. 1現在)				防 災 (R7. 4. 1現在)	
	団・分団	消防団員	消防団協力事業所		自主防災組織
消防団 8 団	定 員 3,226 人	表示交付事業所 70 事業所		結成数	
消防分団 72 分団	実 員 2,804 人			780 (*)	
	平均年齢 43.8歳			(結成率100%)	

(*) 全自治会(組織数924)で結成。

3 主な行事・出来事等（令和6年4月から令和7年3月）		
4月	11日（木）	第52回消防救助技術近畿地区指導会に伴う訓練開始式
5月	11日（土） 23日（木）～7月22日（月） 30日（木） 30日（木）	消防慰霊祭 マイナ救急実証事業に参加（約2ヵ月間） 姫路市危険物安全大会 第8回予防業務優良事例表彰受賞（Z世代の視点・特色を活かした画期的な防火広報）  (5/30 危険物安全大会)
6月	2日（日）～8日（土） 22日（土） 23日（日）	危険物安全週間 NET119登録会（姫路市） 中播磨地区消防操法大会（兵庫県広域防災センター）  (7/6 高規格救急車受納)
7月	6日（土） 8日（月） 12日（金） 14日（日） 26日（金）～8月8日（木） 28日（日） 30日（火）	高規格救急車受納式 日勤救急隊運用開始（県内初電動ストレッチャーの導入） 兵庫県下救急担当者会議（姫路市） 消防Ⅰ 消防吏員採用試験 甲種防火管理オンライン講習（初開催） 兵庫県消防操法大会（兵庫県広域防災センター） 第52回消防救助技術近畿地区指導会（堺）
8月	30日（金）～9月5日（木）	防災の日 企画展示（ひめじ防災プラザ）
9月	4日（水） 22日（日） 27日（金） 28日（土）、29日（日）	救急車適正利用啓発ポスター表彰式 消防Ⅱ 消防吏員採用試験 消防活動安全の誓い 雪彦山遭難救助訓練  (9/4 救急車適正利用啓発ポスター表彰式)
10月	17日（木） 18日（金） 26日（土）～27日（日） 29日（火）	消防技術競技会（消防局訓練場） 令和6年度 防火ポスター表彰式 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（京都府） 姫路市総合防災訓練（消防局訓練場）  (10/18 防火ポスター表彰式)
11月	9日（土）～15日（金） 9日（土）～17日（日）	秋季全国火災予防運動 防火ポスター展（ひめじ防災プラザ）
12月	7日（土） 20日（金） 26日（木）～31日（火）	NET119登録会（福崎町） 年末火災特別警戒発隊式 消防団年末火災特別警戒  (1/12 姫路市消防出初式)
1月	12日（日） 12日（日）～21日（火） 20日（月） 26日（日）	令和7年姫路市消防出初式 1.17「ひょうご安全の日」企画展（ひめじ防災プラザ） 書写山ロープウェイ救助訓練 文化財防火防火デー（姫路城）  (1/26 文化財防火デー)
2月	5日（水）～7日（金） 5日（水） 7日（金） 8日（土） 16日（日） 19日（水）	国際消防救助隊連携訓練（東京都八王子市） 緊急消防援助隊西播ブロック後方支援訓練（赤穂市） 兵庫県下消防長会救助技術研究会（西宮市） 兵庫県下国際消防救助隊合同訓練（姫路市） 消防女子になるための就職説明会 警防活動向上研修会（災害への対応能力）  (2/5 国際消防救助隊連携訓練)
3月	1日（土）～7日（金） 1日（土）～5日（水） 2日（日） 7日（金） 18日（火）～19日（水） 25日（火）	春季全国火災予防運動 国際緊急援助隊総合訓練（三木市） しま消防フェア 救助総合訓練（姫路砂利砕石事業組合） 国際消防救助隊員研修（大阪市） 消防車両・消防資器材受納式  (3/25 消防車両・消防資器材受納式)  (3/7 救助総合訓)

4 消防本部・消防署所の配置



区分	総計	姫路市	受託町		
			市川町	福崎町	神河町
面積 (km^2)	865.04 〔 100% 〕	534.35 〔 61.77% 〕	82.67 〔 9.56% 〕	45.79 〔 5.29% 〕	202.23 〔 23.38% 〕
人口 (人)	563,266 〔 100% 〕	524,149 〔 93.06% 〕	10,585 〔 1.88% 〕	18,476 〔 3.28% 〕	10,056 〔 1.79% 〕
世帯数 (世帯)	265,270 〔 100% 〕	248,104 〔 93.53% 〕	4,841 〔 1.82% 〕	8,119 〔 3.06% 〕	4,206 〔 1.59% 〕

端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R7年3月31日現在の住民基本台帳人口)

〔管轄署別面積・人口・世帯数〕

区分	総計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中 播 消防署
面積 (km^2)	865.04 〔 100% 〕	105.11 〔 12.15% 〕	150.47 〔 17.39% 〕	75.65 〔 8.75% 〕	25.42 〔 2.94% 〕	508.39 〔 58.77% 〕
人口 (人)	560,191 〔 100% 〕	129,967 〔 23.20% 〕	146,013 〔 26.06% 〕	143,535 〔 25.62% 〕	68,204 〔 12.18% 〕	72,472 〔 12.94% 〕
世帯数 (世帯)	266,959 〔 100% 〕	63,622 〔 23.83% 〕	72,105 〔 27.01% 〕	67,488 〔 25.28% 〕	31,300 〔 11.72% 〕	32,444 〔 12.15% 〕

端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがある。R7年3月31日現在の住民基本台帳人口)

5 姫路消防の沿革

姫路市消防本部は、昭和23年3月7日に自治体消防として1本部、1消防署、消防職員90人、車両11台で発足しました。

半世紀以上経過した平成19年4月1日に神崎郡3町（市川町・福崎町・神河町）の消防事務を受託し、姫路の消防は、令和7年4月1日現在、1本部・5消防署・2分署・13出張所・消防車両等119台・消防艇等2隻・消防職員589人、消防団は8団・72分団、消防団員2,863人で安全・安心を担っています。

- 明治28年 ・ 公設姫路消防組として発足した。
- 昭和 8年 1月 ・ 姫路消防組常設消防部が発足した。
- 20年 3月 ・ 常設消防部の消防員を兵庫県消防手として採用、姫路消防独立中隊として発足、消防署に昇格した。
 （署長以下56名、車両10台）
- 20年 7月 ・ 兵庫県須磨消防署から派遣された人員・車両、姫路消防独立中隊及び飾磨消防独立中隊を併せて西播消防大隊として発足した。
 （署長以下263名、車両31台）
 ・ 姫路青年学校の校舎内に臨時消防大隊仮本部を設置した。
 部隊編成は、姫路(第1)中隊、飾磨(第2)中隊とした。
- 20年10月 ・ 消防本部を姫路進駐軍接收の本町庁舎に移転した。
- 21年 2月 ・ 兵庫県告示第161号をもって、消防署の名称、位置及び管轄区域が定められ、西播消防大隊は「兵庫県姫路消防署」に名称変更した。
 （署長以下210名、車両19台）
 （管轄区域）姫路市、飾磨市、白浜町、広畑町、網干町、勝原村、余部村
- 21年 3月 ・ 隣接する1市(飾磨市)、3町(白浜・広畑・網干町)、3村(大津・勝原・余部村)と合併した。
- 23年 3月 ・ 消防組織法の施行による自治体消防への改革と同時に「姫路市消防本部」を設置し、また、署の名称も「姫路市消防署」に改めた。
 消防本部 → 姫路市消防本部
 消 防 署 → 姫路市消防署
 出 張 所 → 飾磨出張所 網干出張所 白浜出張所
- 24年12月 ・ 姫路市消防本部に関する規則の制定に伴い、「姫路市消防局」に名称変更し、総務、予防、消防、機械の各課を置いた。
- 25年 1月 ・ 飾磨、網干出張所を署に昇格し、3署体制とした。
 消防本部 → 姫路市消防局
 消 防 署 → 姫路消防署 飾磨消防署 網干消防署
 出 張 所 → 白浜出張所 延末出張所
- 25年 7月 ・ 消防音楽隊を発足させた。
- 25年10月 ・ 救急業務を開始した。（県下で2番目）
- 27年 4月 ・ 鳥取市大火に当市から応援出動した。
- 29年 7月 ・ 隣接する5村(曾左・余部・糸引・八木・太市村)と合併した。
- 30年 1月 ・ 文化財防火デー（1月26日）が制定された。
- 30年12月 ・ 予防課を消防課に、機械課を総務課に統合し、従来の4課を2課に改めた。
- 31年 1月 ・ 消防波無線機を導入した。
 ・ 特別救助隊を発足させた。
- 31年 4月 ・ 市西北部に姫路消防署夢前出張所(現・飾西出張所)を新設した。

- 32年10月 ・ 隣接する4村(四郷・花田・御国野・別所村)と合併した。
- 33年 1月 ・ 隣接する1町(神南町)、2村(飾東・的形村)と合併した。
- 33年 9月 ・ 救急車に無線機を搭載した。
- 34年 2月 ・ 飾磨消防署広畑出張所を新設した。
- 34年 3月 ・ 昭和32年10月、隣接5ヶ村との合併により、市東部に姫路消防署御国野出張所を新設した。
- 34年 5月 ・ 隣接する大塩町と合併した。
- 34年 9月 ・ 危険物の規制に関する政令が制定された。
- 35年 6月 ・ 防災の日(9月1日)が制定された。
- 36年 4月 ・ 姫路消防署豊富出張所を新設した。
- 36年 5月 ・ 姫路消防署延末出張所を新築移転し、名称を姫路消防署手柄出張所に改めた。
- 37年 7月 ・ 姫路消防署姫路駅前出張所を新設した。
- ・ 災害対策基本法が施行された。
- 38年 4月 ・ 消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
- 40年 5月 ・ 消防設備士資格制度が創設された。
- 42年 1月 ・ 飾磨消防署大の出張所を新設した。
- 42年 3月 ・ 隣接する林田町と合併した。
- 42年12月 ・ 姫路消防署夢前出張所を姫路消防署飾西出張所に名称を改めた。
- ・ 姫路消防署林田出張所を新設した。
- 43年 4月 ・ 姫路消防署飾西出張所を新築移転した。
- ・ 化学消火薬剤共同備蓄事業会を設立した。
- 44年 4月 ・ 予防課を新設し、3課体制とした。(総務課 消防課 予防課)
- ・ 消防指令センターを新設し、消防課に救助隊を設置した。
- 44年12月 ・ 網干消防署に監視テレビ装置を設置した。
- 45年 3月 ・ 指令無線基地網干前進基地局の運用を開始した。
- 45年 6月 ・ 救急車用サイレンの音色が変更された。
- 47年 9月 ・ 水難救助活動中隊員2名が殉職した。
- 48年 9月 ・ 姫路消防署城東救急分遣隊を新設した。
- 49年 3月 ・ 飾磨消防署を新築移転した。
- ・ 飾磨消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 3月 ・ 姫路市消防局及び姫路消防署を改築した。
- ・ 姫路消防署に高所監視テレビ装置を導入した。
- 50年 4月 ・ 夜間救急対策費運営要綱を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に対する謝礼金制度を確立した。
- 50年 6月 ・ 姫路海上保安署と船舶火災等に関する業務協定を締結した。
- 50年 7月 ・ 姫路市水難救助隊に関する規定を制定、水難災害事故を民間に委託した。
- 50年10月 ・ 市と臨海地区事業所間で災害防止協定を締結した。
- 51年 4月 ・ 姫路市消防審議会を設置した。
- ・ 災害緊急通報電話(ホットライン)を導入した。
- ・ 救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱を制定、救急現場への医師確保のための謝金制度を確立した。
- 51年 7月 ・ 姫路臨海地区が「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、特別防災区域の指定を受けた。
- 昭和51年 9月 ・ 救急隊員の健康管理の特別検診を開始した。

- 52年 3月 ・姫路消防署飾東出張所を新設した。
- 53年 4月 ・「石油コンビナート等災害防止法」の施行に伴い、激増する危険物行政に対応するため、危険物保安課を新設した。(総務課 消防課 予防課 危険物保安課)
- 53年 6月 ・網干消防署を新築移転した。
- 53年 7月 ・救急隊員の行う応急処置等の基準が告示され、救急隊員の応急処置等が義務化された。
- 54年 2月 ・姫路市夜間急病センターが開設された。
- 54年 3月 ・姫路消防署増位出張所を新設した。
- 55年 3月 ・姫路消防署豊富出張所を新築移転した。
- 55年 4月 ・飾磨消防署白浜出張所を分署に昇格し、新築移転した。
- 55年 4月 ・警防部を新設した。
(総務課 警防部消防課 警防部予防課 警防部危険物保安課)
- 55年 9月 ・姫路市役所の新築移転に伴い、消防局も市役所新庁舎に移転した。
- 55年 9月 ・救急隊員確保のため法的特例措置に基づき補充講習を実施、有資格隊員65名を確保した。
- 56年 1月 ・消防・救急指令装置を一新し、指令センターを新庁舎に移設した。
- 56年 1月 ・救急関係事務電算処理システムを導入した。
- 56年 1月 ・防火基準適合表示制度の運用を開始した。
- 56年 4月 ・姫路消防署城東救急分遣隊を廃止した。
- 56年 6月 ・姫路西消防署を新設した。
- 56年 6月 ・姫路西消防署の新設に伴い、姫路消防署を姫路東消防署と改名した。
- 57年 3月 ・姫路東消防署御国野出張所を改築した。
- 57年 3月 ・網干消防署勝原出張所を新設した。
- 57年 9月 ・救急の日・救急医療週間が制定された。
- 58年 4月 ・管理部、警防部の二部制に改革し、管理部に管理課、警防部予防課に査察専従隊を新設した。
- 58年 4月 ・県救急医療情報システムによる救急管制業務が開始された。
- 58年 7月 ・管理部、警防部を廃止し、総務・警防担当の次長制を導入した。
- 59年 2月 ・指令無線基地大的前進基地局の運用を開始した。
- 59年 4月 ・飾磨消防署広畑出張所を改築した。
- 60年 4月 ・播磨灘流出油災害対策協議会が設立された。
- 61年 4月 ・消防法の一部改正により、救助隊の配置が義務化された。
- 61年11月 ・飾磨消防署広畑出張所を増築し、分署に昇格させた。
- 62年 9月 ・119の日が制定された。
- 63年 4月 ・各消防署に救急救助係を新設した。
- 63年 8月 ・兵庫県広域消防相互応援協定を締結した。
- 平成元年 9月 ・国際緊急援助隊の派遣に関する法律が交付・施行された。
- 2年 1月 ・危険物安全週間が制定された。
- 2年 7月 ・姫路東消防署、飾磨消防署に特別救助隊を設置した。
- 2年10月 ・姫路東消防署豊富出張所を増築した。
- 平成2年12月 ・緊急通報装置(安心コール)の受信を開始した。
- 3年 5月 ・ファックスによる緊急通報(ファックスコール)の受信を開始した。

- 3年 7月 ・ 消防次長を1人制とした。
- ・ 総務課と管理課を統合して総務課とし、消防課指令係を指令室に昇格させた。
- 3年 8月 ・ 救急救命士法が施行された。
- 4年 4月 ・ 姫路市における初の女性消防官を2人採用した。
- 4年 6月 ・ 初の救急救命士が誕生した。
- 5年 4月 ・ 姫路市救急指導医の嘱託制を開始した。
- ・ 高速自動車道消防協議会が発足した。
- 6年 1月 ・ 高規格救急車の運用を開始した。
- 6年 2月 ・ 救急救命士による特定行為を開始した。
- 7年 1月 ・ 阪神・淡路大震災による災害援助に応援出動した。
- 7年 3月 ・ 姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定に伴い、応急手当指導員資格者35人を養成した。
- 7年 6月 ・ 消防緊急情報システムの運用を開始した。
- 7年 9月 ・ 緊急消防援助隊に登録した。
- 8年 4月 ・ 姫路市が中核市に移行した。
- ・ PHS電話からの119番受信を開始した。
- ・ 消防活動用資機材及び支援物資相互応援協定（堺市高石市・和歌山市・徳島市）を締結した。
- ・ 西播磨地域災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年 5月 ・ 災害時における生鮮食料品等の供給協力等相互応援に関する協定を締結した。
- ・ 榊原公ゆかり都市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- 8年10月 ・ 中核市災害時等相互応援に関する協定を締結した。
- ・ 兵庫県消防防災航空隊が発足した。
- 8年11月 ・ 姉妹都市災害時相互応援協定を締結した。
- ・ 大規模災害用人員搬送車を姫路東消防署に配備した。
- ・ 全消防署（4署）に非常電源装置（自家発電設備）を設置した。
- 9年 3月 ・ 山陽自動車道消防相互応援協定（全線）を締結した。
- 9年11月 ・ 災害時における姫路郵便局との相互協力に関する協定を締結した。
- 10年 1月 ・ 隣接都市（高砂・加古川・加西市）災害時相互応援協定を締結した。
- 10年 4月 ・ 携帯電話からの119番受信を開始した。
- ・ 消防職員OBの活用として防災指導員制度を導入した。
- 10年12月 ・ 高規格救急車を全隊(9隊)に配備完了した。
- 11年 3月 ・ 兵庫県水道災害相互応援に関する協定を締結した。
- 11年 4月 ・ 姫路市震度ネットワークシステムの運用を開始した。
- ・ 災害対策本部を整備し、運用を開始した。
- 11年 6月 ・ 災害時における食料、生活必需品等の供給に関する協定を締結した。
- ・ 災害時における物資の輸送に関する協定を締結した。
- 11年 7月 ・ 指令室を情報指令課に名称変更した。
- ・ 防災行政全般が消防局に移管され、防災課を新設し、防災監を置いた。
- 12年 3月 ・ 災害時における建設業界との応急対策に関する協定を締結した。
- 12年 4月 ・ 予防課と危険物保安課を統合し、5課体制とした。
- （総務課 消防課 予防課 情報指令課 防災課）
- ・ 姫路東消防署に女性救急隊員を配置した。
- 12年10月 ・ 国際消防救助隊編成協力市町村に登録した。

- 13年 1月 ・ 災害時における災害トイレ等の供給協定を締結した。
- 4月 ・ 国際消防救助隊員として登録した。
- 13年 7月 ・ 災害情報放送(姫路ケーブルテレビ(株))に関する協定を締結した。
- ・ 災害等緊急放送(株)姫路シティFM21)の実施に関する協定を締結した。
- 13年 9月 ・ 「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」を設置した。
- 13年11月 ・ P A 出動の試行を開始した。
- 14年 1月 ・ 災害時における遺体の安置・搬送等の協力に関する協定を締結した。
- 14年 3月 ・ 「姫路市における消防力の整備に関する懇話会」から提言を受けた。
- ・ 生物・化学(BC)テロ対応資機材を国から貸与された。
- 14年11月 ・ P A 出動の本格運用を開始した。
- 15年 3月 ・ 新消防艇「ひめじ」が竣工した。
- ・ 第1回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会を開催した。
- ・ BC 災害対応部隊を姫路東消防署特別救助隊に配置した。
- 15年 4月 ・ 姫路市水難救助隊が発足した。
- 15年 5月 ・ 消防組織法の改正により、緊急消防援助隊が義務付けられた。
- ・ 第1回中・西播磨地域検証委員会を開催した。
- 15年 6月 ・ 避難所(県立高等学校)に関する覚書を締結した。
- 15年11月 ・ 女性救急救命士が誕生した。
- 16年 4月 ・ 避難所(兵庫県立大学)に関する覚書を締結した。
- 16年 6月 ・ 国民保護法が公布された。
- 16年 7月 ・ 救急救命士による気管挿管を開始した。
- ・ 福井豪雨に緊急消防援助隊として応援出動した。
- 16年 8月 ・ 救急隊員によるA E Dの使用を開始した。
- 16年 9月 ・ I P 電話からの119番受信を開始した。
- 16年10月 ・ 豊岡市水害へ応援出動した。
- 17年 4月 ・ J R 福知山線列車事故(尼崎市)に応援出動した。
- 17年11月 ・ 携帯電話119番通報が直接受信方式へ移行した。
- 17年12月 ・ 水難救助車を飾磨消防署に配備した。
- 18年 1月 ・ 災害時要援護者用一時避難所に関する協定を締結した。
- 18年 3月 ・ 隣接する4町(家島・夢前・香寺・安富町)と合併した。
- ・ 合併町の消防体制を整備する間、夢前・香寺町域の消防事務を中播消防事務組合に、安富町域の消防事務を宍粟市に委託した。(19年3月末まで)
- 18年 4月 ・ 国民保護業務が消防局に移管され、防災課に国民保護担当を置いた。
- ・ 救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)の投与を開始した。
- ・ 高度救助隊が法制化された。
- ・ 消防組織法の一部改正に基づき、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」が示された。
- 18年12月 ・ 救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく、新プロトコルによる救急活動を開始した。
- 19年 1月 ・ 災害時における船舶による輸送等に関する協定を締結した。
- 19年 3月 ・ 姫路市国民保護計画を作成した。
- 19年 4月 ・ 姫路市防災センターを新設した。
- 姫路市防災センター内に消防本部を移転し、消防防災総合情報システム(高機能消防指令システム・防災情報システム)の運用を開始するとともに本部直轄隊を

- 配備した。
- ・姫路市の組織改正により、危機管理監が新設されるとともに、消防局長が危機管理担当理事を兼任、消防局内の災害への実効機能を高めるため、防災課を危機管理室に改名し、危機管理室長を置いた。
 - ・中播消防事務組合の解散に伴い、神崎郡3町(市川・福崎・神河町)の消防事務を受託し、中播消防事務組合の庁舎を姫路市中播消防署とした。
 - ・中播消防署香寺出張所を新設した。
 - ・姫路西消防署林田出張所を新築移転した。
 - ・姫路東消防署姫路駅前出張所及び姫路西消防署手柄出張所を廃止した。
〔1本部(4課・1室)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
 - ・指令無線基地林田・夢前前進基地局の運用を開始した。
 - ・中播消防無線基地局及び日光寺前進基地局の無線免許を承継し、前進基地局として運用を開始した。
 - ・消防課に本部直轄隊(指揮支援車・救助工作車・救急車・ポンプ車・災害対応車)を配置し、本部高度救助隊を発足した。
- 19年 5月 ・姫路市地域防災貢献事業所登録制度の運用を開始した。
- 19年 9月 ・姫路市で初めての国民保護訓練を実施した。
- 19年11月 ・姫路市危機管理基本指針を策定した。
- 20年 6月 ・姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員539人から561人とした。
- 20年10月 ・姫路市山岳救助隊を発足した。
- 21年 4月 ・姫路市の組織改正により、防災全般や国民保護など庁内の連携や調整を担当する防災審議監が新設され、消防局長は危機管理担当理事を兼任解除となった。
- 21年 8月 ・兵庫県北・西部豪雨に伴う応援出動をした。(佐用町・宍粟市)
- 22年 3月 ・消防局訓練施設を竣工した。
- 22年 4月 ・姫路市の組織改正により、消防局危機管理室が危機管理室に昇格し、防災や国民保護に関する業務が消防局から危機管理室に移管された。
〔1本部(4課)、5署、2分署、11出張所体制となった。〕
- 23年 3月 ・東日本大震災に緊急消防援助隊(兵庫県大隊)を派遣した。
- 4月 ・飾磨消防署白浜分署を新築移転した。
- ・飾磨消防署家島出張所・坊勢出張所を開設し、救急業務を主体とした家島町域の常備消防体制を開始した。
〔1本部(4課)、5署、2分署、13出張所体制となった。〕
 - ・家島前進基地局の運用を開始した。
- 24年 6月 ・横田石油㈱と消防業務に係る燃料調達に関する覚書を締結した。
- 9月 ・石油コンビナート火災活動中隊員1人が殉職した。
- 25年 1月 ・飾磨消防署家島出張所を新築移転した。(家島事務所内に併設)
- 25年 3月 ・飾磨消防署大の出張所を新築した。
- ・VSAT搭載型消防無線中継車・資機材搬送車を国から貸与された。
- 26年 2月 ・ひめじ防災プラザをリニューアルオープンさせた。
- 4月 ・消防課を消防・救急課に名称変更した。
- 5月 ・姫路沖タンカー爆発火災に応援出動した。(消防艇)
- ・赤穂市の林野火災に応援出動した。
- 6月 ・相生市の林野火災に応援出動した。
- 27年 3月 ・朝来市の工場火災に応援出動した。

- 27年11月 ・ 救急ワークステーション事業を開始した。
- 28年 1月 ・ 救急救命士（認定）による心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を開始した。
- 28年 4月 ・ 姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員561人から565人とした。
- ・ 消防指揮隊が2隊、発足した。（本部、姫路東）
- ・ 高機能消防指令システムの更新及び消防救急デジタル無線システムの運用を開始した。
- ・ 熊本地震に緊急消防援助隊（兵庫県大隊）を派遣した。
- 29年 3月 ・ 新型防火衣を導入した。
- ・ 姫路西消防署を増築した。
- 29年 4月 ・ 消防指揮隊の3隊運用を開始した。（本部、姫路東、姫路西）
- 〃 ・ 違反対象物公表制度を開始した。
- 29年 7月 ・ 飾磨消防署を増築した。
- 30年 3月 ・ 姫路西消防署飾西出張所を新築移転した。
- 30年 7月 ・ 広島県（平成30年7月豪雨）へ緊急消防援助隊（兵庫県大隊）を派遣した。
- 31年 4月 ・ 水難救助車を本部へ配置替えした。
- 〃 ・ 消防・救急課を警防課と救急課、それぞれ単独の課とし、5課体制とした。
- 〃 ・ 新救急艇「いえしま」が就航した。
- 令和2年2月～ ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染防止対策を図る。
- 2年 4月 ・ 姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員565人から604人とした。
- 3年10月 ・ 中、西播磨地域の5市6町での協働により、「播磨姫路救急搬送システム（通称HEARTS）」を本格稼働した。
- 4年 5月 ・ 兵庫県立はりま姫路総合医療センター（愛称：はり姫）において、派遣型救急ワークステーションの運用を開始した。
- 5年 7月 ・ 新消防艇「ひめじ」が就航した。
- 6年 1月 ・ 石川県（令和6年能登半島地震）へ緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣した。
- 4月 ・ 日勤救急隊を新たに1隊創設した。
- 7月 ・ 県内初、救急車に電動ストレッチャーを導入した。
- 7年 4月 ・ 姫路市職員定数条例を一部改正し、消防職員604人から690人とした。

6 消防庁舎の現況

区 分		所 在 地	構 造	敷地面積 (㎡)	延べ床面積 (㎡)	建築年月日
消 防 局 (防災センター)		姫路市三左衛門堀 西の町3番地	鉄筋コンクリート造6階建	1,932.99	6,614.87	平成19年 2月15日
姫路東消防署	本 署	姫路市本町 68番地68	鉄筋コンクリート造3階建	3,985.02	1,580.53	昭和50年 3月31日
	付 属 棟		コンクリートブロック造平屋建		284.31	〃
	自 転 車 置 場		軽量鉄骨造平屋建		21.60	〃
	倉 庫		鉄骨プレハブ造2階建		113.40	昭和61年 3月31日
	御国野出張所	姫路市御国野町 国分寺65番地1	鉄筋コンクリート造2階建	392.00	195.45	昭和57年 3月27日
	豊 富 出 張 所	姫路市豊富町 御蔭1112番地	鉄筋コンクリート造平屋建	677.06	256.53	昭和55年 3月19日 (平成2年11月 増築)
姫路西消防署	救 急 消 毒 室		鉄筋コンクリート造平屋建		16.00	平成16年12月28日
	飾 東 出 張 所	姫路市飾東町 山崎608番地4	鉄筋コンクリート造平屋建	456.87	175.56	昭和52年 3月31日
	増 位 出 張 所	姫路市増位新町 一丁目18番地	鉄筋コンクリート造平屋建	570.00	182.94	昭和54年 3月29日
姫路西消防署	本 署	姫路市西今宿 三丁目7番20号	鉄筋コンクリート造2階建	2,644.59	1,292.09	昭和56年 6月12日 (平成29年3月 増築)
	倉 庫		鉄筋コンクリート造平屋建		100.75	昭和56年 6月12日
	カ ー ポ ー ト		鉄骨造平屋建		26.40	昭和57年 3月31日
飾磨消防署	飾 西 出 張 所	姫路市飾西341番地	鉄筋コンクリート造平屋建	816.70	394.75	平成30年 3月22日
	林 田 出 張 所	姫路市林田町 六九谷136番地2	鉄筋コンクリート造平屋建	815.20	471.08	平成19年 3月15日
	本 署	姫路市飾磨区 中島1130番地8	鉄筋コンクリート造2階建	3,346.57	1,551.19	昭和49年 3月 7日 (平成29年7月 増築)
	自 転 車 置 場		軽量鉄骨造平屋建		20.00	昭和49年 3月 7日
	白 浜 分 署	姫路市白浜町 甲840番地5	鉄筋コンクリート造平屋建	2,709.21	696.93	平成23年 2月28日
	倉 庫		鉄骨造平屋建		127.41	〃
	発 電 機 棟		鉄筋コンクリート造平屋建		32.96	〃
網干消防署	カ ー ポ ー ト		アルミ造平屋建		18.85	〃
	広 畑 分 署	姫路市広畑区東新町 二丁目30番地	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	1,015.53	584.25	昭和59年 3月29日 (昭和61年10月増築)
	倉 庫		鉄筋コンクリート造平屋建		36.00	昭和59年 3月29日
	大 的 出 張 所	姫路市の形町 的形1804番地4	鉄筋コンクリート造2階建	561.02	399.43	平成25年 3月15日
	家 島 出 張 所	姫路市家島町 真浦2137番地1	鉄筋コンクリート造4階建	—	215.83	平成24年12月25日
	坊 勢 出 張 所	姫路市家島町 坊勢186番地	鉄筋コンクリート造3階建	—	247.36	昭和56年6月1日
中播消防署	本 署	姫路市網干区大江島 古川町74番地	鉄筋コンクリート造2階建	3,348.77	990.38	昭和53年 6月12日
	倉 庫		コンクリートブロック造平屋建		112.11	〃
中播消防署	自 転 車 置 場		軽量鉄骨造平屋建		21.00	〃
	勝 原 出 張 所	姫路市勝原区 宮田494番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	588.54	189.45	昭和57年 3月31日
	本 署	神崎郡福崎町 福崎新404番地2	鉄筋コンクリート造3階建	2,160.50	1,618.21	昭和52年 3月17日
	訓 練 塔		鉄筋コンクリート造5階建		80.00	昭和55年 12月25日
中播消防署	倉 庫		コンクリートブロック造平屋建		35.84	〃
	夢 前 出 張 所	姫路市夢前町 前之庄3719番地6	鉄筋コンクリート造2階建	1,061.24	382.73	昭和53年 2月 1日
	香 寺 出 張 所	姫路市香寺町 香呂204番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	801.21	394.97	平成19年 3月16日
中播消防署	北 部 出 張 所	神崎郡市川町 澤98番地	鉄筋コンクリート造2階建	761.33	379.69	昭和53年 2月 1日
消防局訓練施設		姫路市西今宿 三丁目643番地8	鉄骨造2階建	2,677.60	A塔: 83.0㎡ B塔: 166.5㎡ C塔: 130.2㎡	平成22年 3月15日

10㎡未満の建築物は除く

7 組織及び事務分掌

消防本部 5課・26担当

消防局長

次 長

総 務 課

- ― 庶務企画担当
- ― 経理担当
- ― 施設管理担当
- ― 人事労務担当
- ― 消防団担当
- ― ひめじ防災プラザ
- ― 総務課付(派遣)

文書事務の総括 儀式、行事等及び市議会 公印 条例
規則その他例規の制定改廃 消防事務事業の企画及び総合調整
公聴及び広報 音楽隊 予算及び決算
給与の支給及び諸手当等の認定 行政財産
消防職団員の任免、分限、懲戒、服務、賞罰その他身分
消防職団員等の公務災害補償 表彰 消防職員の福利厚生
消防職員委員会 消防職団員の教養 消防施設等の整備計画
消防団員の訓練その他消防団 ひめじ防災プラザ
他の課の主管に属さない事務

に関すること

警 防 課

- ― 装備担当
- ― 警防・火災調査担当
- ― 計画担当
- ― 救助担当
- ― 警防・救助第一担当
- ― 警防・救助第二担当

開発行為に伴う消防施設の指導 消防用車両等及び消防機械器具の管理
消防活動の指導、消防技術の研究、警防計画、消防水利、
消防訓練及び消防相互応援 地域防災計画における消防班
消防用車両等の事故処理に伴う指導及び助言
火災・救助活動時における補償
救助業務の企画、運営並びにその技術の研究及び指導
火災の原因及び損害の調査 水火災等の防ぎょ及び防除
教養訓練の実施 災害情報の収集及び記録 火災等の証明
救助業務の実施及び訓練 災害現場における指揮及び広報
指揮業務の計画 災害現場での活動に係る安全管理

に関すること

救 急 課

- ― 救急管理担当
- ― 救急指導担当
- ― MC 担当
- ― 救急業務支援担当
- ― 救急第一担当
- ― 救急第二担当
- ― 救急課付(派遣)

救急活動用資器材の管理 救急活動時における補償
救急業務の企画、運営並びにその技術の研究及び指導
救急に係る教養訓練の実施 救急等の証明
救急業務の実施及び訓練 メディカルコントロール
応急手当の普及啓発 救急活動に係る安全管理

に関すること

予 防 課

- ― 防火対策担当
- ― 消防設備担当
- ― 査察担当
- ― 危険物担当

火災予防 民間防火組織 自主防災組織の育成及び指導
建築同意 消防用設備等 立入検査 危険物の規制
石油コンビナート等災害防止法

に関すること

情報指令課

- ― 情報管理担当
- ― 指令管制第一・第二担当
- ― 指令支援第一・第二担当

災害の受報及び出動指令並びに関係機関への通報
警防活動に必要な部隊の運用及び通信統制 指令管制に伴う情報管理
気象情報の収集及び伝達 災害情報の収集及び災害活動の情報支援
救急医療機関への収容調整 電子計算組織の高度活用への企画及び調査
電子計算組織の運用に伴う指導及び調整並びに管理
消防情報システムの開発、指導及び調整 通信機器の整備計画、維持
管理及び技術指導 その他情報システムの運用

に関すること

- 姫路東消防署
 - 庶務担当
 - 予防担当
 - 指揮第一・第二担当
 - 警防第一・第二担当
 - 救急第一・第二担当
 - 御国野出張所
 - 豊富出張所
 - 飾東出張所
 - 増位出張所
- 姫路西消防署
 - 庶務担当
 - 予防担当
 - 日勤救急担当
 - 指揮第一・第二担当
 - 警防第一・第二担当
 - 救急第一・第二担当
 - 飾西出張所
 - 林田出張所
- 飾磨消防署
 - 庶務担当
 - 予防担当
 - 指揮第一・第二担当
 - 警防第一・第二担当
 - 救急第一・第二担当
 - 白浜分署
 - 広畑分署
 - 大的出張所
 - 家島出張所
 - 坊勢出張所
- 網干消防署
 - 庶務担当
 - 予防担当
 - 警防第一・第二担当
 - 救急第一・第二担当
 - 勝原出張所
- 中播消防署
 - 庶務担当
 - 予防担当
 - 警防第一・第二担当
 - 救急第一・第二担当
 - 夢前出張所
 - 香寺出張所
 - 北部出張所

庶務担当

署の庶務 公印 人事、教養、服務 福利厚生
事務事業の計画及び総合調整 消防情報及び統計
庁舎及び附属施設の管理 消防団事務 消防職員の安全衛生管理
消防職団員等の公務災害補償事務 他の担当の主管に属さない事務

に關すること

予防担当

防火思想の普及啓発 火災予防対策の樹立及び推進
防火対象物、危険物施設の立入検査及び指導 民間防火組織等の育成
指導 消防用設備等の設置検査及び点検の指導 防火対象物定期点
検報告制度 自主点検報告制度 防火対象物の使用開始検査
防火対象物、危険物施設の実態調査及び違反処理 風俗営業関係建築
物の防火安全確保における関係機関の連携 旅館、ホテル等の営業許
可等に係る消防法令適合通知等直接通報等事務処理 防火管理の指導
特定事業所の災害予防 危険物製造所等の許可及び検査 危険物及
び指定可燃物の規制 危険物取扱者免状の返納命令に係る調査事務
消防法、姫路市火災予防条例に基づく各種届出 液化石油ガス設備工
事届の受理及び液化石油ガス販売事業者等への立入検査等 火薬類貯
蔵者に対する立入検査等 高圧ガス消費者に対する立入検査等

に關すること

指揮第一・第二担当

災害現場における指揮及び広報 指揮業務の計画
災害現場での活動に係る安全管理及び評価

に關すること

警防第一・第二担当

水火災等の災害防ぎょ及び防除 消防警備 消防地水利
消防通信の運用 消防機械器具の管理及び改善 気象情報等の広報
通信等諸勤務の実施 火災及び救助の統計 救助業務の実施及び訓練
災害証明 姫路市火災予防条例第54条に基づく届出の受理

に關すること

救急第一・第二担当・日勤救急担当

救急業務の実施及び訓練 救急技術の研究及び指導
応急手当の普及啓発 民間患者等搬送従事者の再講習
救急統計及び救急報告 救急広報

に關すること

8 階級と職名

階 級	職 名	計
消 防 正 監	消防局長	1 人
消 防 監	消防局次長、消防署長	6 人
消防司令長	消防局の課長、主幹 消防署の副署長、指揮隊長	17 人
消 防 司 令	消防局の課長補佐、係長、課付司令 消防署の課長補佐、指揮司令、警防司令、救急司 令、分署長、分署付司令 出張所長、係長	118 人
消防司令補	消防局及び消防署の主任	208 人
消 防 士 長	消防局及び消防署の係員	131 人
消防副士長	消防局及び消防署の係員	62 人
消 防 士	消防局及び消防署の係員	47 人
事 務 吏 員	消防局次長	1 人
計		591 人

(フルタイム再任用職員8人を除く)

9 消防団の活動

・消防団の組織

姫路市の消防団は、明治17年3月発足の船場本徳寺の私設消防組が、消防団規則（明治27年2月勅令第15号）公布により私設寺消防をそのまま移管、公設消防組として発足しました。

その後、周辺町村との合併等による市勢の変遷に伴い組織体制を改編し、現在、8団72分団、定員3,226人の体制となっています。

〔消防団の組織〕

区分 団	分団数	定 員	実 員
姫路東消防団	20 分団	720 人	637 人
姫路西消防団	16 分団	557 人	508 人
飾磨消防団	14 分団	560 人	538 人
網干消防団	6 分団	259 人	256 人
家島町消防団	4 分団	170 人	142 人
夢前町消防団	7 分団	560 人	404 人
香寺町消防団	3 分団	240 人	233 人
安富町消防団	2 分団	160 人	86 人
計	72 分団	3,226 人	2,804 人

・消防団の施設・装備

消防団には、地域の防災活動拠点となる分団車庫と災害時に機動力を発揮する消防ポンプ自動車とを配備しています。

現在、施設整備事業として、市費による車庫建設、消防ポンプ自動車（C D - 型）の更新を推進し、消防団活動の更なる充実強化を図っています。

〔消防ポンプ自動車等の配備状況〕

区分 団	消 防 ポンプ 自動車	普 通 積載車	軽 積載車	小 型 動力 ポンプ
姫路東消防団	20	10	-	-
姫路西消防団	16	3	-	2
飾磨消防団	14	2	-	-
網干消防団	6	1	-	-
家島町消防団	3	-	17	-
夢前町消防団	7	-	1	-
香寺町消防団	3	-	1	-
安富町消防団	2	-	3	-
計	71台	16台	22台	2台

・消防団の業務・活動

非常勤の消防団員は、地域を愛するボランティア精神に基づき各自が職業に就きながら、消火活動のほか、地震や風水害などの大規模災害時等には、救出救助、避難誘導、災害防ぎょ活動を行っています。

平常時は、地域防災のリーダーとして、地域住民への防火・防災意識の啓発や訓練指導、火災予防や警備警戒活動にあたるなど地域の安全確保に努めています。

また、多様な災害に対応するため、訓練・研修を実施し、専門的技術や知識等の習得を図っています。

〔年間の主な活動・行事予定〕

予定月	活動・行事内容
	各団・各分団出初式
1月	姫路市消防出初式 文化財防火デー総合訓練
3月	春季火災予防運動
4月	新入団員教養訓練
5月～6月	水防訓練
5月～翌3月	応急手当指導員養成講習(隔年)
5月～翌3月	消防団幹部視察研修
7月	中播磨地区消防操法大会(隔年)
9月～11月	姫路市総合防災訓練
10月	新入団員教養訓練
11月～3月	県消防学校幹部教育入校
11月	秋季火災予防運動 消防団幹部教育訓練
12月	消防団年末火災特別警戒

〔火災等活動(人員)状況〕

(令和6年中)

区分 団	火災	水防	訓練	年末警戒・ 予防運動等
姫路東消防団	376	-	664	1,191
姫路西消防団	284	-	2,242	1,401
飾磨消防団	247	29	1,713	1,350
網干消防団	186	-	1,896	922
家島町消防団	53	40	240	355
夢前町消防団	103	-	576	640
香寺町消防団	-	-	914	372
安富町消防団	-	-	335	164
計	1,249	69	8,580	6,395

・消防団協力事業所表示制度

姫路市消防団協力事業所表示制度は、複数の消防団員を従業員として雇用している事業所や消防団の訓練場所や災害発生時に資機材等を提供するなど、姫路市の消防団へ積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付し、地域における当該事業所等の社会貢献を広報するとともに、地域防災力の充実強化を図るために実施する制度です。

《協力事業所の認定基準》

事業所等に消防関係法令上の違反がなく、以下のいずれかに適合しているときに申請若しくは推薦することができます。

10名以上又は従業員の10%以上の従業員が消防団に入団していること。

従業員等の消防団活動について、積極的に配慮していること。

ア 勤務時間中の消防団員としての出勤や訓練等に関する配慮をしている事業所等

イ 消防団活動を行う際に、賃金・手当等をカットしない等の配慮をしている事業所等

ウ 消防団活動を行うことに対して、昇進や昇給等で不利に扱わないように内部規定などで定めている事業所等

エ 消防団員から推薦があり、団員の任務遂行に特に積極的に協力していると消防団長が認める事業所等

災害の発生時等に資機材等を消防団に提供するなど消防団活動に協力をしていること。

「災害時等に事業所の資機材等を消防団に提供するなど協力をしている事業所等」とは、災害時等における協定や覚書等を市と締結し、資機材を提供することが可能であり、消防団活動に係る協力体制を整備している事業所等

その他消防団活動に協力することにより、地域の消防防災体制の充実強化に寄与していること。

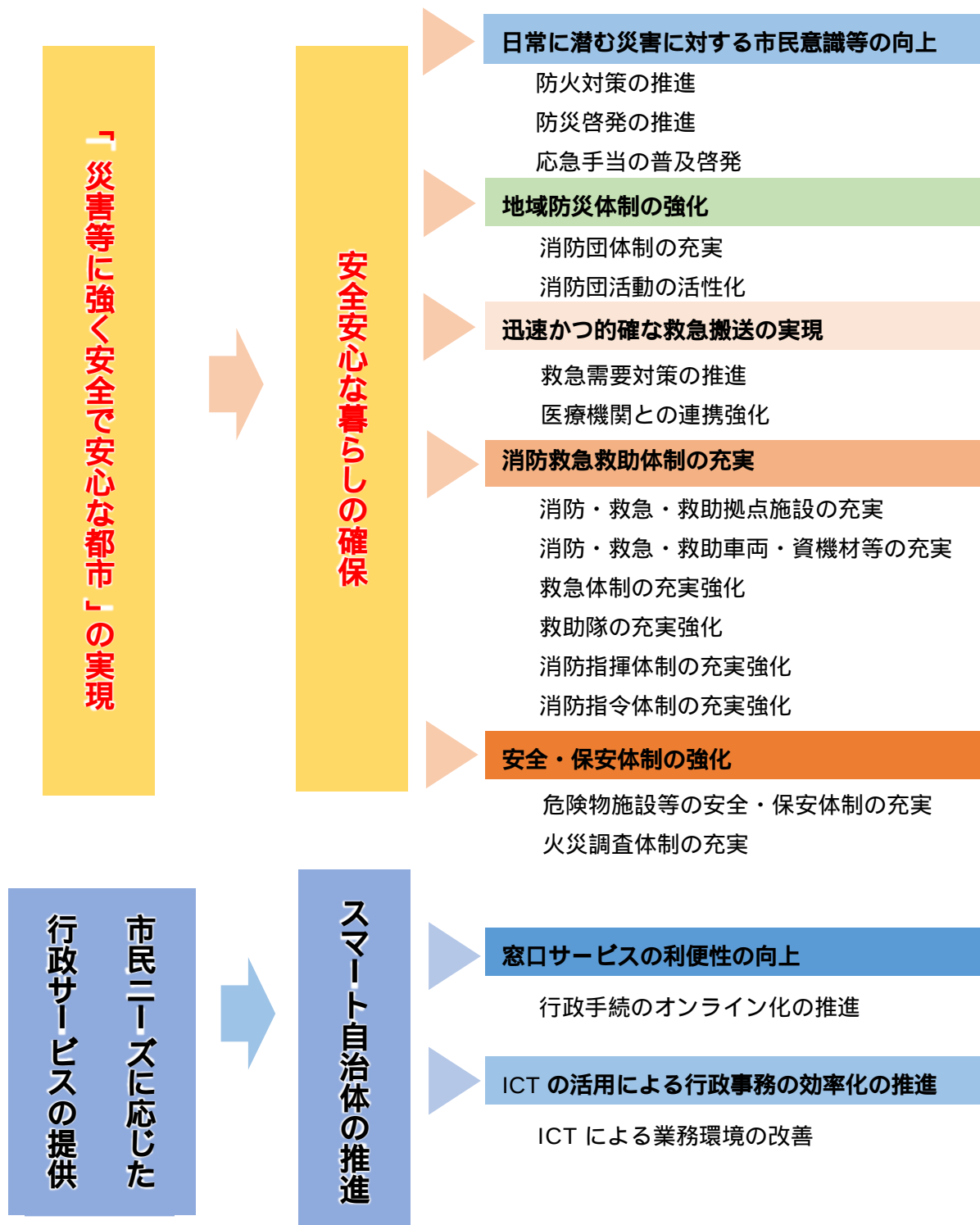
(令和7年4月現在)

表 示 証 交 付 事 業 所	70事業所
-----------------	-------



10 令和7年度消防局重点施策

令和3年度に策定された姫路市総合計画において、人口減少や少子高齢化の進行など、本市が直面する課題に的確に対応するため、新たな時代の潮流や行政需要を捉え、目指す都市の姿と基本的なまちづくりの方向性が示されているなか、消防局においても、大規模自然災害への備えやあらゆる感染症対策に万全を期すとともに、防災・安全安心分野における「災害に強く、安全で安心な都市」の実現に向け、下記のとおり令和7年度の重点施策に掲げ、各事業を推進する。



11 令和7年度消防局所管事業及び事業内容

下線は、主要事業

ア 日常に潜む災害に対する市民意識等の向上

防火対策の推進

- ・ 防火意識の普及啓発
 - ・ 住宅防火対策の推進
 - ・ 放火火災予防対策の推進
 - ・ 防火管理体制の充実
 - ・ 火災予防分野の各種手続きにおける電子申請等の推進（本掲）
 - ・ デジタル機器を活用したオンライン検査の推進（本掲）
 - ・ 防火管理講習オンライン化の推進
- 防災啓発の推進
- ・ まもりんピック姫路の開催
 - ・ 防災プラザの活用
- 応急手当の普及啓発
- ・ 救命・救急講習の実施
 - ・ 応急手当普及員・指導員の育成

イ 地域防災体制の強化

消防団体制の充実

- ・ 施設の改修
（分団詰所）太市、谷内
 - ・ 車両の更新
（CD-1）城東、城西、林田東、前之庄、
山之内、筋野
- 消防団活動の活性化
- ・ 若手、女性消防団員等の加入促進
 - ・ 消防団員の活動しやすい環境づくり
あり方検討懇話会の開催

ウ 迅速かつ的確な救急搬送の実現

救急需要対策の推進

- ・ 播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)の活用
- ・ 新播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)の構築
- ・ 救急車適正利用に向けた市民への啓発
- ・ 救急需要増に向けた体制強化
- ・ 女性消防吏員の活躍推進
（電動ストレッチャーの更なる活用）
- ・ マイナ保険証を活用した円滑な救急業務の推進
医療機関との連携強化
- ・ 救急ワークステーションの充実
- ・ 地域メディカルコントロール体制下での
事後検証体制の充実

エ 消防救急救助活動体制の充実

消防・救急・救助拠点施設の充実

- ・ 消防・救急・救助施設の改修

（御国野出張所・増位出張所）

- ・ 姫路東消防署の整備
（工期：令和7年度～9年度）
消防救急救助車両・資機材等の充実
- ・ 車両の更新
水槽付消防ポンプ自動車（飾磨）
屈折梯子付消防自動車（網干）
指揮隊車（東）
救急車（東、網干、中播）
- ・ 資機材の充実
- ・ 耐震防火水槽の整備
新在家公園
救急体制の充実強化
- ・ 救急救命士の病院実習等の実施
- ・ 救急隊員への指示指導体制の整備
- ・ 離島における搬送体制の確保
- ・ 救急活動時の感染症対策（備蓄含む）
救助隊の充実強化
- ・ 各救助隊（署、特別、高度、水難、
山岳、国際）の充実
消防指揮体制の充実強化
- ・ 指揮隊の拡充
- ・ 指揮者研修の開催
- ・ 部隊運用のための効果的なドローン活用
消防指令体制の充実強化
- ・ 高機能消防指令システム再整備
- ・ 消防救急デジタル無線システム中間整備
- ・ 指令業務の充実強化

オ 安全・保安体制の強化

危険物施設等の安全・保安体制の充実

- ・ 危険物施設、取扱者への検査、指導
- ・ 危険物事故防止の啓発
- ・ 火災・漏洩事故防止対策の充実強化
火災調査体制の充実
- ・ 火災調査結果を活用した予防施策への
反映・検証

カ 窓口サービスの利便性の向上

行政手続のオンライン化の推進

- ・ 火災予防分野の各種手続きにおける電子申請等
の推進（再掲）

キ ICTの活用による行政事務の効率化の推進

ICTによる業務環境の改善

- ・ デジタル機器を活用したオンライン検査の
推進（再掲）

第2章 災害を未然に防ぐために

住宅火災から大切な生命を守りましょう

～住宅用火災警報器の設置が義務付けられています～

大切な家族を守る

住宅用火災警報器

目頃からの点検・維持管理を忘れずに

つけて安心♪

しろぼるひめ

消防法の改正により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています

姫路市消防局予防課	☎079-223-9532	姫路市姫路東消防署	☎079-288-0119	姫路市姫路西消防署	☎079-294-0119
姫路市麻生消防署	☎079-233-0119	姫路市網干消防署	☎079-273-0119	姫路市中瀬消防署	☎0798-23-0119

このページは空白です。

1 予防広報

火災をはじめとする各種災害の発生を防止するとともに、その災害を最小限に止めるためには、市民一人ひとりが防災を自らの課題として考え、行動することが必要です。

そのため、新聞・テレビ・インターネット等の民間資力の活用をはじめとして、広報誌、パンフレット、ポスター等の製作・配布、ひめじ防災プラザでの学習・体験、広報車による巡回広報、消防教室等による広報活動を展開し、市民の防火防災意識の高揚を図っています。

・火災予防行事等の年間実施状況

春・秋季火災予防運動をはじめ、危険物安全週間、防災の日等のあらゆる機会を捉え、各種防火防災行事を幅広く展開し、市民、各種団体、事業所等に対し、火災予防思想の普及を図っています。

行 事 名	実 施 日
防災とボランティアの日(週間)	1月17日(1月15日～1月21日)
文化財防火デー	1月26日
春季全国火災予防運動	3月1日～3月7日
危険物安全週間	6月第2週(日曜日から土曜日までの1週間)
国民安全の日	7月1日
防災の日(週間)	9月1日(8月30日～9月5日)
119番の日	11月9日
秋季全国火災予防運動	11月9日～11月15日
年末火災特別警戒	12月20日～12月31日



・広報手段

(1) 姫路シティFM21(FM GENKI)での放送

姫路シティFM21を防災メディアとして活用し、災害時や災害発生の恐れのある時など緊急時には、適切な情報を迅速かつ一斉に伝達したり、災害の発生状況や被害の状況など、きめ細やかな情報をリアルタイムに提供しています。

また、平常時は、地震、風水害、火災等の災害に関する豆知識、日常生活でのケガ、病気等の応急手当の方法、消防団の活動紹介や消防防災関係の訓練やイベントのお知らせを消防・防災啓発番組「わが町・元気」の中で放送しています。

「わが町・元気」の放送時間(周波数:79.3MHz)

	月～金曜日	土曜日	日曜日
1回目	8:45～8:50	9:35～9:40	9:05～9:10
2回目	11:15～11:20	11:15～11:20	10:20～10:25
3回目	13:05～13:10	13:05～13:10	13:30～13:35
4回目	17:30～17:35	17:30～17:35	15:30～15:35



(2) 姫路ケーブルテレビ(ウインク)での放送

「消防局からのお知らせ」で、各種資格試験、行事予定など、市民の皆様を知っていただきたい消防に関する情報を、放送しています。

〔放送日時〕

土曜日・日曜日 : 8時10分～8時15分・20時00分～20時05分

(3) 情報提供

市政記者クラブへの情報提供や、「広報ひめじ」、「姫路市ホームページ」への消防防災情報の掲載など、市民の防火・防災意識の高揚に努めています。

(4) SNSを活用した情報提供

消防職員や消防団員の訓練の様子や、各種イベント情報、出動の様子など、消防をより身近なものとして知っていただき、防火防災に対する意識の高揚を図るため、随時、情報発信をしています。

姫路市消防局 公式インスタグラム

https://instagram.com/himeji_fd.119



@HIMEJI_FD.119

・消防音楽隊

姫路市消防音楽隊は、昭和25年7月に火災予防広報及び消防職員の士気の高揚並びに情操の育成を目的として、「姫路市消防局音楽愛好者の集い」として発足し、その後、昭和31年5月に音楽隊に関する規程が制定され、「姫路市消防局音楽隊」として新たに誕生しました。

当時は、現在と比べて一般的に音楽に対する理解も少なく、音楽隊の命である楽器は、そのほとんどが個人の物という状況でしたが、先人や各関係者のたゆまぬ努力により、楽器や出演、練習体制などの活動環境が良くなり、それに比例するように、演奏技術も格段に進歩しています。

現在も、全隊員が消防業務などに従事しながら兼務体制で取り組んでいますが、今では、市民に親しまれる『赤い制服の音楽隊』として、市内を中心に、市主催のセレモニーや消防局の行事など、年間20回程度のイベントに出演しています。

〔音楽隊の組織〕

階級等 役職	合	総務課長	消防司令	消防士補	消防士	消防副士	消防士
	計	長	令	補	長	長	士
総数	27	1	1	12	7	5	1
隊長	1	1	-	-	-	-	-
副隊長	1	-	1	-	-	-	-
演奏担当	25	-	-	10	8	6	1
楽長	1	-	-	1	-	-	-
副楽長	2	-	-	2	-	-	-
隊員	22	-	-	7	8	6	1

〔音楽隊の編成〕

総数	25
クラリネット	4
サクソ	4
フルート	2
トランペット	3
ホルン	2
トロンボーン	2
ユーフォニアム	2
チューバ	2
パーカッション	3
指揮者	1



〔過去10年間の出演回数〕

年度	平成					令和				
	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
出演回数	25	21	22	19	14	2	11	13	20	19

2 防火指導

・立入検査

立入検査は、消防対象物の自主防火管理状況を消防職員による定期的な立入検査によって確認し、火災発生危険やこれに伴う人命危険を予防させることを目的とし、消防対象物を規模や用途により区分しています。

(令和6年度)

区 分	立入検査実施数			内 容
	総計	姫路市	受託町	
特 種 査察対象物	223	178	45	カラオケボックス、旅館・ホテル等、病院（避難困難施設）、有料老人ホーム関係、宿泊入居の伴う児童・社会福祉施設等特定用途防火対象物で3階以上に特定用途部分が存し、かつ屋内階段が1系統しかないもの
第 1 種 査察対象物	402	346	56	延面積700㎡以上のホテル・病院・百貨店等(特定用途防火対象物)で、自動火災報知設備・屋内消火栓設備等(固定消防用設備)の設置を必要とするもの 重要な文化財として指定・認定された建造物
第 2 種 査察対象物	224	202	22	○延面積1,000㎡以上の工場・倉庫・学校等(非特定用途防火対象物)で、固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 3 種 査察対象物	678	622	56	○特・第1・2種以外の防火対象物で、固定消防用設備の設置を必要とするもの
第 4 種 査察対象物	1,119	1,016	103	特・第1・2・3種以外で、消防用設備の設置を必要とするもの 防火管理者の選任を要する対象物で、消防用設備の設置を必要としない防火対象物 火災予防条例に定める少量危険物又は指定可燃物の貯蔵・取扱いの届出を必要とするもの

・消防同意等

消防同意とは、消防機関が防火の専門家としての立場から、建築行政等に対して、建築物の新築等の段階で防火上のチェックを行い、予防行政の目的を達成しようとするものです。

公共施設の新築等の計画については、消防同意の対象とならないものもありますが、その場合についても、消防局がその計画（計画通知）に対して消防同意と同様のチェックを行います。

(令和6年度)

区 分	件 数		
	総 数	姫 路 市	受 託 町
消 防 同 意	635	613	22
計 画 通 知	26	25	1

・防火対象物定期点検報告制度

一定の防火対象物の管理について権原を有する者は、防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防機関に報告することが義務づけられています。点検を行った防火対象物が基準に適合している場合は、点検済の表示を付することができます。

また、消防機関に申請してその検査を受け、一定期間継続して消防法令を遵守していると認められた場合、3年間点検・報告が免除されるとともに、防火優良認定証を表示することができます。

(令和6年度)

防火対象物定期点検制度対象物	総 数	姫路市	受託町
	611	563	48

・表示マーク制度

ホテル・旅館等の宿泊施設からの申請に基づいて、消防機関が審査した結果、消防法令のほか、重要な建築構造等に関する基準に適合していると認められた建物に表示マーク(「適マーク」)を交付する制度です。

宿泊施設は、表示マーク(「適マーク」)を掲出して安全安心情報を利用者に提供することができます。
外国人宿泊客の増加をふまえ、表示マーク(「適マーク」)には英語・中国語・韓国語を併記しています。

(令和7年4月1日現在)	
姫路市消防局管内 表示マーク交付数	14 (金)
	1 (銀)



表示マークには、金色と銀色の2種類があります。
3年間継続して「表示マーク(銀)」が交付され、
表示基準に適合していると認められた場合は、
「表示マーク(金)」が交付されます。

・防火管理

(1) 防火管理者の役割

消防法では、一定規模以上の建物に「防火管理者」を定め、防火管理上必要な業務を行うことが義務づけられています。

防火管理者制度とは、人の手による自主的な火災予防を目的としたものであり、日常における火気管理はもとより火災等の発生時の初期活動(人命の安全確保・火災の拡大防止・被害の軽減)を効果的に行うために重要な役割を果たしています。

(令和6年度)			
区 分	義務対象物数	選任対象物数	選 任 率
合 計	5,176	4,483	86.6%
姫 路 市	4,835	4,161	86.1%
受 託 町	341	322	94.4%

(2) 防火管理講習

消防法に規定する防火管理者の資格を取得するための講習を行っています。また、再講習の受講義務のある建物の防火管理者に選任されている方を対象として、再講習を行っています。

令和6年度には甲種防火管理オンライン講習を開始しました。

(令和6年度)	
区 分	修了人員
甲種(7回)	538人
(うちオンライン3回)	(240人)
乙種(4回)	40人
再講習(2回)	68人

・住宅防火対策

(1) 住宅用火災警報器等の普及促進

平成16年6月の消防法改正により、住宅の用途に供される防火対象物に住宅用火災警報器等の設置が義務づけられました。

これは、当時、住宅火災による死者数が増加傾向であり、特に逃げ遅れによる死者を減少させるためのものです。

住宅用火災警報器は、煙を自動的に感知し、ブザーや音声で住宅内の火災発生を知らせる機器で、寝室として使用する部屋と、寝室が2階以上にある場合は階段にも取り付けることが義務付けられています。

この機器の設置及び維持に関する事項等については、姫路市火災予防条例で定めています。(H17.10改正)



令和6年6月現在、設置率90%、条例適合率83%で推移しています。

(2) 高齢者対策

住宅火災における犠牲者で高齢者の比率が高いことから、この種の犠牲者を一人でも少なくするため、住宅用火災警報器・住宅用消火器の設置や防災製品などの使用を勧めたり、火気使用時の注意事項を、各種講演会・住宅訪問などの機会を通じて、市民指導を実施しています。

また、高齢者に見やすいチラシ・ポスターを作成したり、ケーブルテレビ、新聞、各種機関誌などを活用して啓発しています。

・民間防火組織の育成

(1) 民間防火クラブ交流委員会

今後の人口減少社会を踏まえ、各消防署（５署）単位で、婦人防火クラブや幼年消防クラブの活性化を図り、消防団とも連携した組織を結成し、地域ぐるみで災害に強いまちづくりを目指しています。

(2) 婦人防火クラブ

地域の安全や安心等の基盤づくりに女性の参画を促し、女性の視点や観点を活かした防災体制を確立するため結成された組織です。

女性が主体となった消防訓練や家庭防火に関する消防教室等を実施し、地域防災の要として活動しています。



〔結成状況〕 (令和7年4月1日現在)

婦人防火クラブ	36クラブ	2,828人
---------	-------	--------

(姫路市のみ)

(3) 幼年消防クラブ

幼年期に正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解することにより、火遊び等による火災発生の減少を図ろうとするための組織です。

主に４、５歳児を対象に編成し、消防機関等の指導のもとにクラブの育成を進めています。



〔結成状況〕 (令和7年4月1日現在)

幼年消防クラブ	64クラブ	2,858人
---------	-------	--------

(姫路市のみ)

・違反対象物公表制度

重大な消防法令違反のある建物について、その建物を利用する方自らが火災危険性に関する情報を入手し利用について判断ができるよう、消防法令違反を姫路市ホームページに公表する制度です。

○公表の対象となる建物

- ・飲食店、百貨店、宿泊施設などの不特定多数の方が利用する建物
- ・病院、社会福祉施設などの１人で避難することが困難な方が利用する建物

○公表の対象となる違反

建物に設置が義務付けられている「屋内消火栓設備」、「スプリンクラー設備」又は「自動火災報知設備」のいずれかが消防法令に違反して設置されていないもの

○公表の内容

「建物の名称」「建物の所在地」「違反事項・場所」「公表日」「管轄消防署」

○公表ＨＰアドレス...<https://www.city.himeji.lg.jp/anzen/0000004868.html>



3 危険物規制

・危険物保安体制

近年の科学技術、産業経済の発展により、危険物の態様とそれを取り巻く環境には著しい変化がみられ、それに伴い危険物に起因する災害も多様化しています。

消防局においては、危険物災害の絶滅を期するため、立入検査や講習会等の機会を通じ、危険物の貯蔵・取り扱いの実態に即した保安体制の確立を図り、併せて地震時等における危険物保有事業所の自主防災体制のより一層の充実・強化を図っています。

また、危険物の取り扱いがますます多様化する傾向の中、危険物災害の未然防止を図り、市民生活の安全を更に高めていくため、厳正な法令等の執行とともに、危険物取扱者に対する適正な指導及び査察体制の充実強化に努めています。

・石油コンビナート等特別防災区域

石油コンビナート等災害防止法に基づき、姫路市の南部約18.99km²が姫路臨海地区特別防災区域に指定（昭和51年7月14日）されています。

同地区は、14事業所が特定事業所に指定され、各事業所では、防災資機材等を設置し、防災体制を確立しています。

更に、特別防災区域の防災対策を総合的・計画的に推進するため、「兵庫県石油コンビナート等防災計画」が定められています。

〔特定事業所数〕		令和6年度	
区分	総数	第一種事業所	第二種事業所
		6	8

・保安教育

危険物施設事故の原因は、管理や確認が不十分であったなど人的要因によるものが大半を占めており、なかでも作業・設備点検マニュアルの不徹底等が見受けられます。

この種の事故を未然に防止するため、危険物取扱者等に対し防災意識の高揚及び通報体制の整備充実を指導し、自主保安体制の確立を図っています。

また、毎年6月の第2週の「危険物安全週間」には、危険物安全大会を開催し、防災講演会を実施するほか、危険物安全週間ポスターの作成配布、広報媒体を通じた危険物の安全管理意識の啓発を図るとともに、各種消防訓練の実施、危険物施設の立入検査、予防規程・防災規程、各種計画等の見直し指導を行っています。

〔保安教育等実施状況〕		(令和6年度)	
区 分	回 数	受講人員	
合 計	8	1,088	
保 安 講 習	4	793	
危険物取扱者教育	4	295	



第3章 市民の生命財産を守るために



119番通報をするときは、
次の点に注意してください！

- ・ 場所がわからない場合は、近くの目標物を教えてください。
- ・ 聴き取り中でも、消防車や救急車は出動させています。
あわてずに係員が尋ねる内容に答えてください。
- ・ 通報の後でも携帯電話の電源は切らないでください。
再度、係員が確認のためにかけ直す場合があります。
- ・ 火事など災害のお問い合わせは、
テレホンガイド(災害案内) 050-1807-2119 へ
問い合わせ等、緊急性のない場合は、代表電話(079) 223-0003へ
かけてください。
- ・ 自分で病院へ行くか、救急車を呼んだほうがよいかわからなかったら、
「#7119(救急安心センターひめじ)」を活用してください。

このページは空白です。

1 消防指揮体制

南海トラフ地震、大規模火災等に対し、隊員の安全を確保しつつ、迅速かつ効果的に活動するため、現場指揮を専門とする消防指揮隊を平成28年度から編成しています。

現在、姫路東指揮隊・姫路西指揮隊・飾磨指揮隊の3隊で受託町を含む全域の災害に対応しています。

消防指揮隊は、ドローンやタブレット端末等を活用した情報収集により、消防指令センターへ映像情報を送信し、緊密な連携を図りながら、消防活動を行っています。

2 火災活動体制

・火災出動体制

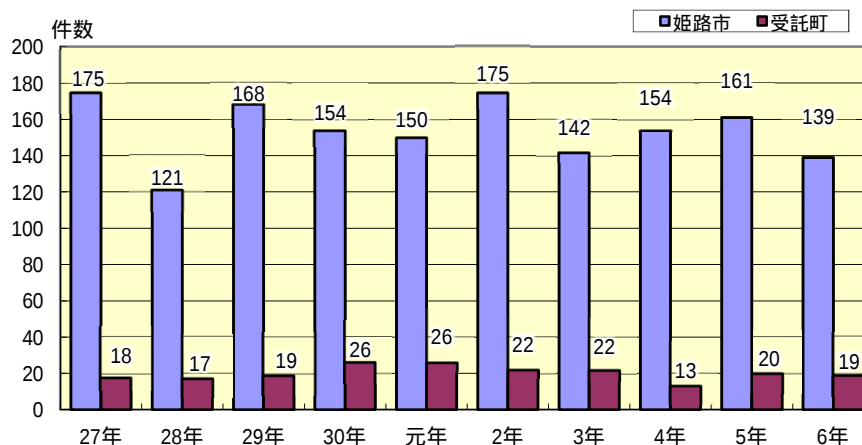
消防指令センターのコンピュータ（高機能消防指令システム）が火災種別に応じて出動車両を自動編成し、これにより出動指令を受けた各消防隊等は、保有する消防力を有効に活用して、人命救助、火災の鎮圧などの活動を行います。

常備消防としては、1本部・5消防署・2分署及び13出張所に指揮隊車3台、小型水槽付消防ポンプ自動車（ST車）16台、水槽付消防ポンプ自動車（タンク車）9台、はしご車・救助工作車・救急車等の緊急車両54台、消防艇及び救急艇各1隻を配置し、出動体制を確保しています。（消防団関係については別掲）

あらかじめ定められた出動基準に基づき、火災分類及び出動区分に応じて出動するほか、火災の状況によっては更に特命による出動に対応しています。



〔過去10年間の火災発生状況〕



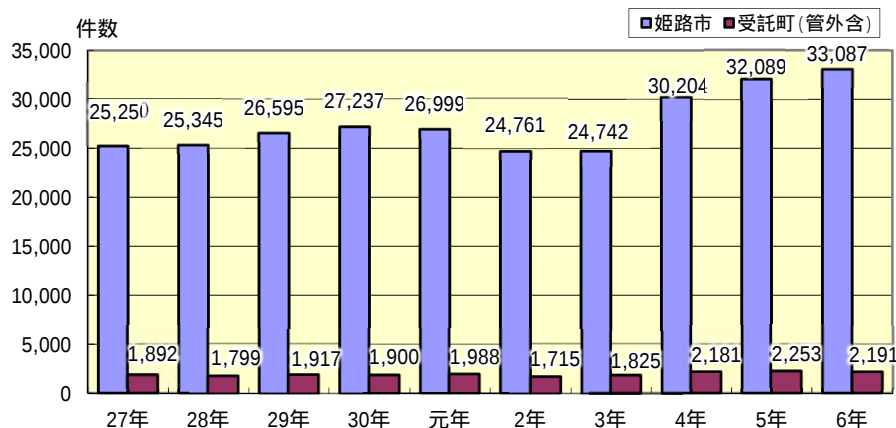
3 救急活動体制

・救急出場体制

消防指令センターは119番通報を受信し、原則、救急現場に最も早く駆けつけられる救急隊を出場させます。出場指令を受けた各救急隊は、救急資器材を迅速・的確に活用し、傷病者に応急処置を施しながら医療機関まで搬送します。

救急隊は、19隊で活動しており、救急要請に24時間体制で対応しています。

〔過去10年間の救急出場の推移〕



・救急業務の高度化

平成3年の救急救命士法等の制定による救急高度化に対応して、平成4年に初の救急救命士が誕生し、令和7年4月1日現在、162人となっています。

平成5年に高規格救急車と高度救急資器材を配備し、運用を開始しました。

・派遣型救急ワークステーション

平成28年4月から「派遣型救急ワークステーション」事業の運用を開始し、医療機関と救急隊との連携を充実・強化し、質の高い救急サービスの提供を目指しています。

現在は、はりま姫路総合医療センターと姫路聖マリア病院で実施しています。

・播磨姫路救急搬送システム

救急隊と病院が患者の受け入れ可能状況などをリアルタイムで共有できるシステムで、救急搬送時間の短縮に努めています。令和3年10月から本格運用を開始しています。

・応急手当の普及啓発

市民に対して応急手当普及員の養成、普及啓発用資器材の配備などを行い、自動体外式除細動器（AED）の使用方法を含めた「普通救命講習」等の講習会を行っています。

救急患者の身近にいる市民等が素早い応急手当を行い、救急隊員そして医師へと救命リレーすることが、救命率をより向上させることに繋がります。



〔講習会実施状況〕 (令和6年中)

区 分	回数	人数
普通救命講習	119	1,649
その他の救急講習	165	3,976

・PA出動

直近の消防車を出動させ、救急隊が到着するまでの間、応急処置と情報収集を実施し、救命効果の向上と初動対応の迅速化を図るものです。

現在、救急隊が現場到着までに時間を要する地域の3小学校区（谷内・大塩・的形）で、屋外で発生した救急事故及び屋内における重症以上の事故により、PA出動が必要と判断した事案を対象に運用しています。

〔PA出動状況〕（令和6年中）

事故 種別 出動 校区	急病	交通 事故	一般 負傷	その他	合計 (件)
谷内	7	2	5	0	14
大塩	31	8	11	6	56
的形	22	4	10	1	37
合計(件)	60	14	26	7	107

・「Thanksカード」の配布

平成28年9月9日から応急手当をして頂いた市民の方に「Thanksカード」を配布しています。
感謝の気持を表すことはもちろん、応急手当に対する不安等にも対応するため、相談窓口も記載しています。

4 救助活動体制

・救助出動体制

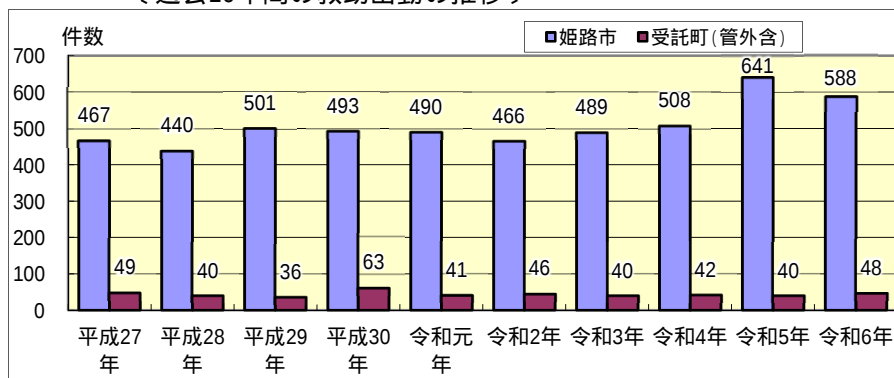
複雑多様化している社会情勢を反映するように災害も複雑大規模化の傾向があり、テロ災害等の人為的災害も含まれるようになりました。

これらの災害から、自力避難の困難な要救助者を確保、迅速に安全な場所へ救出するとともに、救急隊に引き継ぐことを任務とする救助隊は、必要不可欠です。

昭和61年に救助隊を編成することが法制化され、平成18年の改正により本市においても、救助工作車を3台配備するとともに、高度救助隊1隊、特別救助隊2隊、署救助隊3隊を編成して救助事案に対応しています。

また、平成18年9月から日本DMAT研修（災害医療派遣チーム）に参加し、大規模災害時における現場でのレスキューと医療の連携要領を研修しています。

〔過去10年間の救助出動の推移〕



〔救助出動状況〕（令和6年中）

区 分	救助 出動件数	救助 活動件数	救助人員
総 数	636 (588)	400 (377)	267 (248)
火 災	65 (54)	11 (9)	4 (4)
交 通 事 故	125 (107)	62 (53)	69 (59)
水 難 事 故	16 (16)	15 (15)	15 (15)
風水害 自然災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)
機 械 事 故	7 (6)	6 (5)	6 (5)
建物等による 事故	278 (269)	259 (253)	131 (127)
ガス及び酸欠事 故	8 (7)	7 (6)	2 (2)
そ の 他	137 (129)	40 (36)	40 (36)

（ ）内は姫路市の数値



・救助業務の高度化

(1) 国際消防救助隊(I R T)

姫路市は、平成13年4月1日に国際消防救助隊員を登録し、これまで県下4消防本部の合同訓練、国が行う連携訓練、JICA(国際協力機構)が実施する資機材習熟訓練、セミナー等に参加し、国際緊急援助隊(JDR)の救助チームの一員として、海外の災害に隊員を派遣する体制を整えています。



【愛ある手】

兵庫県下の登録市 神戸市・尼崎市・西宮市・姫路市
全国の登録消防本部と隊員数 77消防本部 599人

(2) 水難救助隊

昭和47年9月に潜水救助活動中の救助隊員2人が濁流にのまれ殉職しました。以来、水難救助業務を民間ダイバークラブに委嘱していましたが、平成15年4月1日から潜水土の資格を持ち、過酷な訓練を重ねた消防職員で編成された「姫路市消防局水難救助隊」を発足させました。

管内で発生する水難事故に対していち早く現場に出動するため、平成17年度には水難救助車を導入し、陸上部隊と連携をとりながら水難救助活動を展開しています。



(3) 山岳救助隊

平成18年3月、市町合併等広域化により、雪彦山等の急峻な山岳地帯を管轄することとなりました。

山岳救助に係る専門的な知識や技能及び技術を研修や訓練により修得し、平成20年10月に「姫路市消防局山岳救助隊」を発足、危険な山岳部での救助活動に対応しています。



5 緊急通報受信体制

消防活動の中核的役割を果たす消防指令センターでは119番通報をはじめ、あらゆる手段による緊急通報の受付を行っています。

平成28年4月には、消防情報通信指令システムを更新し、大規模災害に備え、災害即応力の充実強化を図りました。

係員はこのシステムを活用し、緊急通報の受付から消防署所への出動指令、活動支援、情報収集や関係機関への連絡などの業務を行っています。

また、聴覚や言語などに障害のある方からの音声によらない119番通報を可能とするため、携帯電話などのインターネット機能を用いたNET 119や、外国人からの通報に確実に対応できる同時通訳のサービスも行っています。



・119番通報

令和6年中の119番通報の受信件数は、48,629件でした。

その内「災害問合せ」、「医療機関問合せ」、「まちがい」及び「いたずら」等の緊急性のない通報が10,068件もあり、全体の20.7%を占めています。緊急性のない通報は、救いを求めている方からの一刻も早い通報の妨げとなるため、適切な119番通報を心がけて頂くようパンフレットやマスメディアを活用した啓発を行っています。

(1) I P 電話からの119番通報

平成16年9月から一部 I P 電話事業者からの119番通報の受信を開始し現在では、5事業者からの119番通報を受信しています。

(2) 携帯電話からの119番通報

平成10年4月から、全ての携帯電話からの119番通報が可能となり、現在では、4事業者からの119番通報を受信しています。

平成19年4月からは、携帯電話発信位置表示システムを導入し、通報者の位置等を迅速に把握することが可能となりました。平成28年4月からは、統合型位置情報通知システムを導入し、携帯電話・I P 電話と固定電話からの通報位置を通知するシステムを統合しました。

令和6年中の受信件数は30,187件で、119番通報全体の62%を占めています。

・119番以外による通報

(1) F A X 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、ファックスで消防指令センターへ通報するシステムです。平成19年4月からは、局番なしの119番でファックス送信ができるようになりました。

(2) N E T 119

聴覚や言語機能に障害のある方のために、携帯電話やスマートフォンのインターネット機能を利用して、消防指令センターに通報するシステムです。

平成19年4月から運用を開始したW e b 119から機能強化を図ったもので、利用するためには、事前に消防指令センターへの申込が必要です。

・外国語同時通訳機能

日本語によるコミュニケーションが困難な方からの119番通報に対応した、同時通訳サービスです。平成28年4月から5カ国語対応でサービスを開始し、平成30年からは16カ国語、令和6年4月からは32カ国語に対応しています。119番通報時には通報者と係員とコールセンター(通訳者)で、災害現場では関係者と救急隊等とコールセンターの三者で同時通話します。主な対応言語は、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、台湾語です。

・119番による応急手当の指導

突然の事故や病気の際、早期に応急手当を行う必要があります。特に生命の危機的状況にある人を救命し、社会復帰に導くためには、傷病者のそばに居合わせた者(バイスタンダー)が適切な応急手当をすることが重要です。

119番通報を受信し救急車が現場に到着するまでの間に、通報内容から応急手当が必要であると消防指令センターの係員が判断した場合、通報者に対して心肺蘇生法や止血法等を口頭で指導し、救命率の向上を図っています。

・映像通報システム

当システムは、スマートフォンからの119番通報者に現場の映像を送信してもらい、その映像によって消防指令センターが災害発生場所や現場の状況を早期に把握し、現場出動隊へ無線等で詳細情報を伝えることができるシステムです。また、救急要請時に通報者へ応急手当の映像を配信して、効果的な口頭指導をすることもできます。

令和4年9月から運用しています。

6 相互応援体制

市町村は、当該市町村の区域における消防を十分に果たす責任を有しますが、本市では、大規模災害等発生時の消防力の確保のため、消防組織法第39条の規定に基づき、県下・隣接地域等における消防に関する相互応援を締結しています。

他の消防本部との協定等

緊急消防援助隊への登録	国内で発生した大規模災害時における消防庁長官の応援措置による人命救助活動等を、より効果的かつ充実したものとするため、緊急消防援助隊要綱が法制化され、当市からも指揮隊1隊、救急特別編成部隊1隊、消火小隊9隊、救助小隊2隊、特殊災害小隊2隊、救急小隊4隊、後方支援小隊3隊、通信支援小隊1隊、特殊装備小隊2隊、水上小隊1隊を登録しています。
大規模特殊災害時における広域航空消防応援	国内で発生した大規模特殊災害等において、全国の消防組織が保有する防災ヘリコプター等による広域航空消防応援が円滑かつ迅速に行われるよう、広域航空消防応援実施要綱が制定されています。 これにより、本市においても全国規模の航空消防応援を受けることが可能となっています。
兵庫県広域消防相互応援協定	全県的な広域相互応援及び航空応援体制の確立を目的としています。
消防業務の相互応援に関する協定	隣接の市（加古川市・高砂市）及び行政事務組合（南但広域行政事務組合、北はりま消防組合、西はりま消防組合）との協定で、境界付近の火災又は救急救助事故等に対処することを目的としています。
山陽自動車道消防相互応援協定	山陽自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・小野市・加古川市・西はりま消防組合・赤穂市・東備消防組合（岡山県））が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定	播但連絡有料道路上において災害が発生した場合、兵庫県道路公社と姫路市、南但広域行政事務組合が相互に応援し、応急対策活動に万全を期することを目的としています。
中国自動車道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定	中国自動車道上において災害が発生した場合、協定市等（姫路市・川西市・伊丹市・宝塚市・西宮市・三田市・神戸市・三木市・北はりま消防組合・西はりま消防組合）が相互に応援し、その応急対策活動に万全を期することを目的としています。
消防活動資機材及び支援物資等相互応援協定	姫路市、和歌山市、堺市及び徳島市との協定で、大規模災害発生時に単独市等の消防活動資機材で対処できない場合に、これらの調達に関して相互に応援し、災害活動体制の補完を図ることを目的としています。

その他の協定等

船舶火災の消火等に関する業務協定	姫路市と姫路海上保安部が業務協定を締結、相互の協力体制を確立し、有事に備えています。
鉄道事故時の安全対策に関する覚書	消防機関（全国消防長会近畿支部の消防機関）と鉄道機関（西日本旅客鉄道（株）・近畿日本鉄道（株）・阪急電鉄（株）・京阪電気鉄道（株）・南海電気鉄道（株）・阪神電気鉄道（株）・山陽電気鉄道（株）・神戸電鉄（株）・大阪市高速電気軌道（株））との覚書で、鉄道事故災害が発生した場合の相互連絡・協力体制を定めることにより、安全で迅速な災害防除活動及び公共交通機関の早期運転再開を実施することを目的としています。
消防業務に係る燃料調達に関する覚書	横田石油株式会社との覚書で、大規模災害時等の燃料を確保することを目的としています。

第4章 災害について楽しく学ぶために

防火防災について 見て・知って・体験しましょう



このページは空白です。

1 ひめじ防災プラザ

地震・風水害・火災・・・災害はいつどこで発生するか予測できません。

ひめじ防災プラザは、総合的な体験を通して市民一人ひとりが防災の重要性を理解し、日頃から万一来臨することができるよう、防火防災に関する知識と技術を学習することを目的とした施設です。

日常に潜む災害の恐ろしさを忘れないために、そして、災害が起こったときの被害を最小限に抑えるために、防火防災について「見る」・「知る」・「体験する」ことで楽しみながら、大切な人や街を守る手段を学ぶ施設として平成26年2月に一部リニューアルし、より充実したものとなりました。

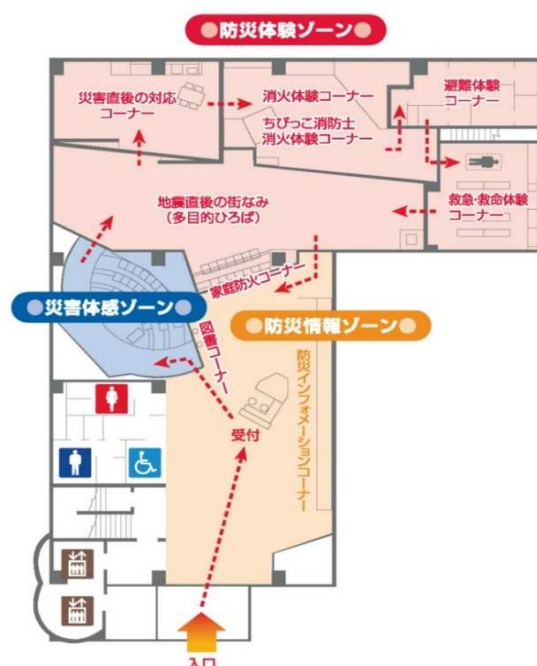
・施設の利用

開館時間	午前9時30分～午後5時00分まで（体験受付は午後4時まで）
休館日	月曜日（祝・休日の場合を除く。） 祝・休日の翌日（土・日曜日の場合は除く。） 毎月第3火曜日 年末年始（12月28日～1月4日）
入館料	無料
場所	兵庫県姫路市三左衛門堀西の町3番地 姫路市防災センター1階
交通(アクセス)	・JR山陽新幹線・山陽本線「姫路駅」下車、南口から南へ徒歩約20分 ・神姫バス「姫路駅南口」にて乗車、「姫路市役所前」下車徒歩すぐ ・山陽電鉄「手柄駅」下車、東南へ徒歩約8分
申し込み	10名以上の団体でのご利用の場合は事前予約が必要です。 （電話で予約された後、所定の用紙でFAXもしくは郵送にて申し込む。） 電話（079）223-9977 Fax（079）223-9978

・施設の紹介

ひめじ防災プラザは、「防災情報ゾーン」・「災害体感ゾーン」・「防災体験ゾーン」の3つのゾーンで構成されています。

とくに「災害体感ゾーン」は、日常では体感できない数々の災害現象を再現し、「災害のメカニズムと怖さ」が体験できます。



(1) 防災情報ゾーン



開放的なエントランススペースで、気軽に役立つ防災情報や関連グッズを紹介しています。

(2) 災害体感ゾーン



地震、風水害、火災などを科学的にとらえ、災害のメカニズムを知るとともに、地震や気象など災害の要因となるさまざまな現象を迫力ある3D映像、音響、ボディソニックなど特殊演出装置により体感できます。

(3) 防災体験ゾーン（災害直後の対応コーナー）



地震により、崩壊した部屋（居間や台所）で地震直後に何をしなければならないのか？を学ぶコーナーです。

(4) 防災体験ゾーン（消火体験コーナー）



火災発生時の初期消火の対応方法を学びます。大声で知らせる、模擬消火器による消火活動などの体験を行います。

(5) ちびっこ消防士消火体験コーナー



こどもたちが防火衣を着て「ミニ消防車」を操作し、大型スクリーンに映し出された炎上する建物に放水・消火するという臨場感のある消火体験ができるコーナーです。

(6) 防災体験ゾーン（避難体験コーナー）



視界をさえぎる煙の中を避難する方法を学びます。暗視カメラ装置で姿勢のチェックができます。

(7) 防災体験ゾーン（地震直後の街なみ）
〔多目的ひろば〕



災害時の街並みを再現した臨場感ある空間の中で、復習映像を見たり、危険箇所を発見したり、ワークショップに参加したりと「何かが隠れている、発見と学習の空間」です。

(8) 防災体験ゾーン（救急・救命体験）



心臓や呼吸が止まった人の命を救う心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）の講習を行います。

・イメージキャラクター「Bee」

ひめじ防災プラザのイメージキャラクター「Bee」は、勇敢なハチの消防隊員をイメージしたものです。

平成27年12月、ひめじ防災プラザでのイベントや市内の消防行事に出向き、防火・防災の大切さを伝えるために、着ぐるみを制作しました。イベントなどに登場した際は、子供たちに囲まれ、抱きつかれたり、一緒に記念撮影を行ったりして大変親しまれています。



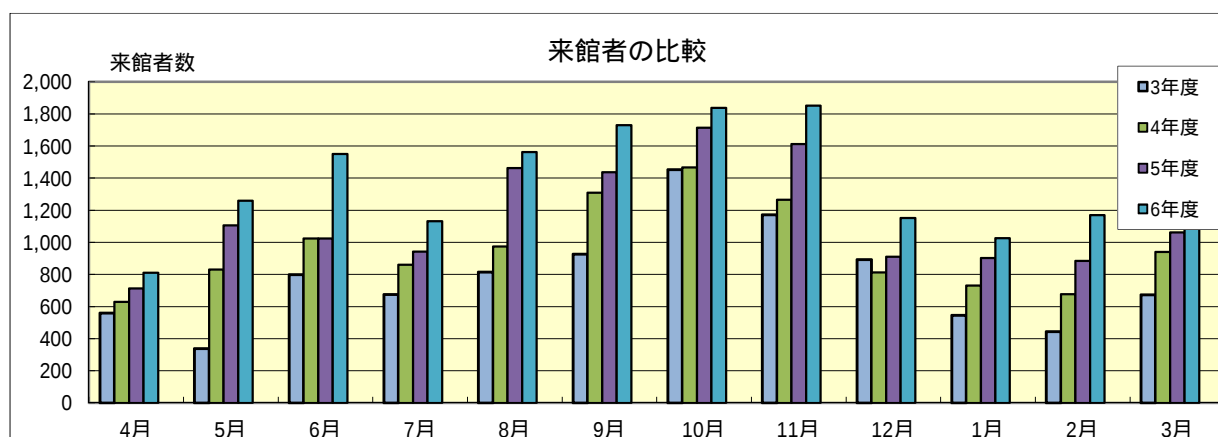
・来館状況

(1) 過去5年間の年度別来館者数

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
合 計	9,291	9,293	11,522	14,153	16,337

(2) 過去5年間の月別来館者数

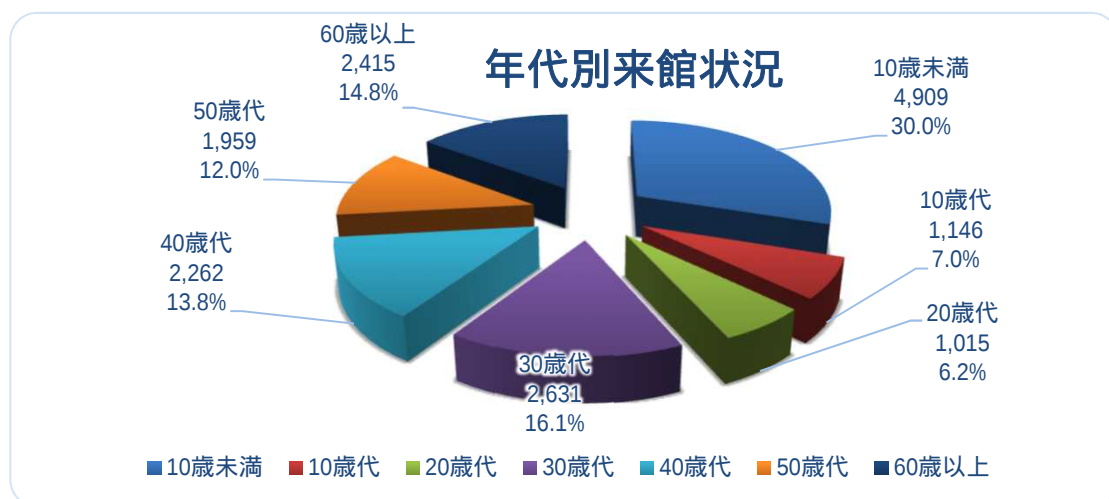
合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和2年度	0	0	686	891	825	1,396	1,245	1,327	853	665	579	824
令和3年度	559	338	799	676	815	926	1,452	1,172	893	545	444	674
令和4年度	629	830	1,024	860	974	1,310	1,467	1,266	812	732	678	940
令和5年度	714	1,206	1,304	943	1,462	1,436	1,714	1,613	911	903	885	1,062
令和6年度	811	1,260	1,550	1,132	1,563	1,729	1,837	1,851	1,151	1,027	1,170	1,256



(3) 年代別・居住地別来館者数

(令和6年度)

年 代 区 分		合 計	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
合 計		16,337	4,909	1,146	1,015	2,631	2,262	1,959	2,415
団 体	市 内	13,272	4,050	784	910	2,179	1,965	1,756	1,628
	市 外	3,065	859	362	105	452	297	203	787
	小 計	7,414	3,011	927	499	590	672	575	1,140
	市 内	5,608	2,722	625	438	467	534	415	407
	市 外	1,806	289	302	61	123	138	160	733
個 人	小 計	8,923	1,898	219	516	2,041	1,590	1,384	1,275
	市 内	7,664	1,328	159	472	1,712	1,431	1,341	1,221
	市 外	1,259	570	60	44	329	159	43	54



・各種イベント等（令和6年度）

行 事 名	実 施 日
ゴールデンウィーク企画「こども防災フェア」	5月3日 ~ 5月5日
トライやるウィーク受け入れ	6月4日 ~ 6月7日
親子で体験！「チャレンジ消防教室」	8月3日 ~ 8月4日
「防災の日」企画展示	8月30日 ~ 9月5日
防火ポスター展	11月1日 ~ 11月15日
「津波防災の日」企画展示	11月2日 ~ 11月13日
1.17「ひょうご安全の日」企画展示	1月5日 ~ 1月21日
3.11「東日本大震災」企画展示	3月9日 ~ 3月14日

2 施設見学

姫路市防災センターや各消防署では、消防・防災業務を深く理解していただくために各種団体からの申し込みを受け付けています。庁舎や資機材、車両等を見学していただき、併せて消防・防災業務への協力等も呼びかけています。



3 トライやる・ウィークの受け入れ

兵庫県では、中学2年生が地域や自然の中で「生きる力」の育成を図るため「トライやる・ウィーク」を実施しています。

姫路市消防局も中学生の受け入れに協力し、生徒の豊かな感性や創造性を高めたり、自分なりの生き方を見つけることができるように支援しています。

将来、この体験が、火災予防や人命救助に役立つことを期待しています。



4 市政出前講座

市政のことや市民生活の身近な問題などをテーマとした講座で、講座メニューの中からご希望に応じて市の職員が講師として、皆さんの地域に出向いてお話するものです。

・対 象 者

市内に在住、通勤、通学している人で構成され、10人以上の参加が見込まれる団体、グループ

・講座開催の時間帯及び費用

原則として平日の午前9時から午後5時までの間
講師料＝無料



・令和6年度の講座名（消防局分）

講 座 名	内 容	対 象
「普通救命講習」	AEDを使った心肺蘇生法など、応急手当の方法を実技中心に3時間で実施。修了者には修了証を授与	中学生～一般
「消防ゲスト・ティーチャー」	社会科で学ぶ「消防のしごと」の体験版。火事を防ぎ、火事を消すしくみについて体験を通して学ぶ	小学3年生
「消防教室」	消防車の説明・見学から家庭や地域における火災予防まで、対象者に応じて火事や防火等について説明	幼児～一般
「ダイジョウブ？ あなたの家の住宅防火対策」	高齢者をはじめとした大切な家族を火災から守るために住宅用火災警報器の設置・維持管理の方法や防災品の安全性などを学ぶ	一 般

《令和6年度の講座実施状況》

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
「普通救命講習」	104	1,345
「消防ゲスト・ティーチャー」	25	2,132
「消防教室」	63	6,341
「ダイジョウブ？ あなたの家の住宅防火対策」	3	115

5 まもりんピック

各種災害を想定した消防防災ゲームや競技等を通じて、楽しみながら「防災の知識・技術」と「共助の力」を育成しています。全市的に一堂に会して隔年で開催していた「イベント型」から、消防署単位で毎年開催している幼年消防クラブのつどいの内容を充実させた「育成型」に変更し、より地域に密着した、いざという時に役に立つ内容として開催します。



第二部 統計・資料編

このページは空白です。

人 事 ・ 予 算

1 職員の配置状況

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年 度 所 属	区 分	合 計	勤 務 区 分	消 防 更 員										消防吏員以外 の消防職員	再任用 職 員	
				小 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		フル タ イ ム	短 時 間
					局長	次長等 (注1)	課長等 (注2)	課長 補佐等 (注3)	係長等 (注4)	主任						
令和元年度		561		560	1	6	16	38	70	189	128	66	46	1	-	54
令和2年度		569		563	1	7	15	38	70	190	125	70	47	1	5	62
令和3年度		576		569	1	6	16	40	68	198	140	49	51	1	6	54
令和4年度		578		567	-	7	16	40	70	195	143	45	51	1	10	50
令和5年度		589		578	-	6	17	38	75	197	134	53	58	1	10	42
令和6年度		598		587	1	6	17	39	76	206	136	52	54	1	10	35
令和7年4月1日現在		599 (注5)		590	1	6	17	42	76	208	131	62	47	1	8	28
			日勤	138	1	6	11	17	24	34	21	6	18	1	7	11
			隔勤	452	-	-	6	25	52	174	110	56	29	-	1	17
本 部	消防局長 次長 総務課 警防課 救急課 予防課 情報指令課	140	日勤	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			日勤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
			日勤	38	-	-	2	1	6	7	3	1	18	-	5	-
			日勤	9	-	-	1	1	4	2	1	-	-	-	1	-
			隔勤	22	-	-	-	-	2	10	10	-	-	-	-	-
			日勤	9	-	-	1	3	2	2	1	-	-	-	-	2
			隔勤	11	-	-	-	-	2	4	4	1	-	-	-	-
			日勤	13	-	-	1	1	5	5	1	-	-	-	1	-
	姫路東 飾西 磨坊 網干 中播	105	日勤	13	-	1	1	1	2	3	4	1	-	-	-	1
			隔勤	42	-	-	2	4	4	15	8	5	4	-	-	2
			隔勤	16	-	-	-	-	2	7	4	3	-	-	-	-
			隔勤	16	-	-	-	-	2	6	4	3	1	-	-	-
			隔勤	8	-	-	-	-	2	2	2	1	1	-	-	-
			隔勤	10	-	-	-	-	2	4	2	1	1	-	-	-
防 署	姫路西	98	日勤	16	-	1	1	2	2	6	2	2	-	-	-	4
			隔勤	50	-	-	2	6	2	15	10	12	3	-	-	1
			隔勤	16	-	-	-	-	2	7	5	2	-	-	-	-
			隔勤	16	-	-	-	-	2	7	4	2	1	-	-	-
	飾 磨	121	日勤	13	-	1	1	2	1	3	4	1	-	-	-	1
			隔勤	42	-	-	2	4	4	11	12	5	4	-	-	4
			隔勤	16	-	-	-	2	-	9	1	3	1	-	-	-
			隔勤	17	-	-	-	3	-	9	2	3	-	-	-	-
			隔勤	8	-	-	-	-	2	2	1	1	2	-	-	-
			日勤	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	網干 中播	46	隔勤	14	-	-	-	-	2	7	3	-	2	-	-	-
			日勤	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
			隔勤	9	-	-	-	-	2	3	2	1	1	-	-	-
			日勤	9	-	1	1	1	1	3	1	1	-	-	-	1
署 中	夢前 香寺 北部出張所	89	隔勤	29	-	-	-	2	4	11	5	6	1	-	-	2
			隔勤	8	-	-	-	-	2	2	2	-	2	-	-	-
			日勤	11	-	1	1	2	-	3	4	-	-	-	-	1
			隔勤	36	-	-	-	2	4	12	11	3	4	-	-	4
	夢前 香寺 北部出張所	89	隔勤	16	-	-	-	-	2	8	4	2	-	-	-	2
			隔勤	16	-	-	-	-	2	8	3	2	1	-	-	-
			隔勤	10	-	-	-	-	2	4	4	-	-	-	-	-
			隔勤	10	-	-	-	-	2	4	4	-	-	-	-	-

(注1) 次長等 ⇒ 次長、署長

(注2) 課長等 ⇒ 課長、主幹、副署長、指揮隊長

(注3) 課長補佐等 ⇒ 課長補佐、指揮司令、警防司令、救急司令、分署長、家島・坊勢出張所長、課付司令、分署付司令

(注4) 係長等 ⇒ 係長、家島・坊勢出張所長以外の出張所長

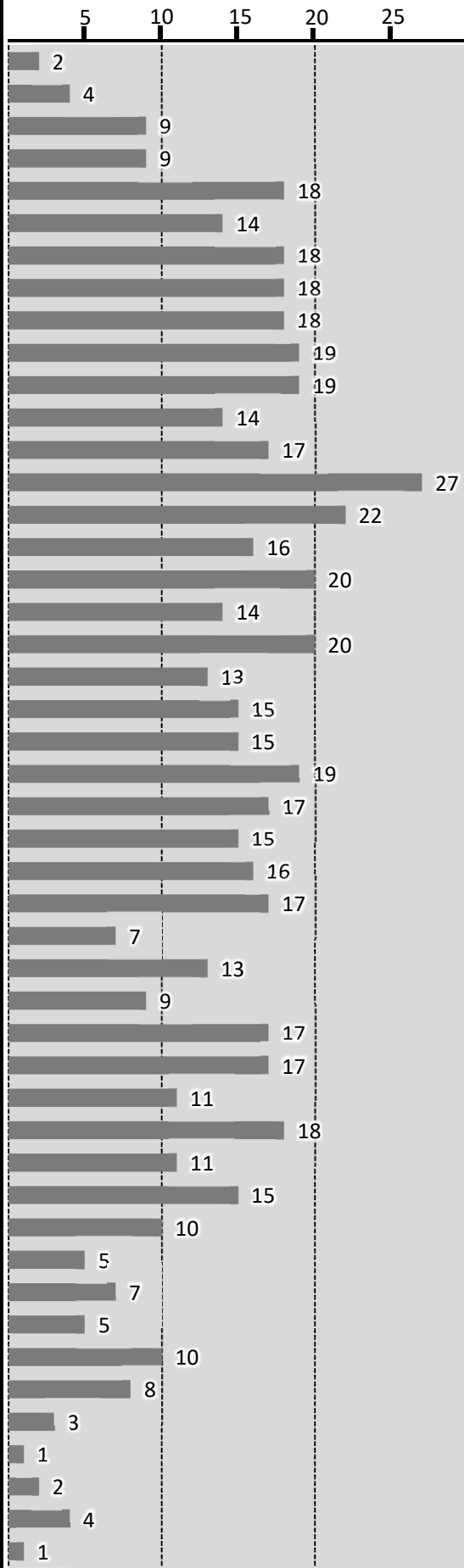
(注5) 合計は、再任用フルタイムを含む。

2 年齢別職員数

(令和7年4月1日現在)

階級 年齢	総 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 吏 員 以 外 の 消 防 職 員	再 任 用 職 員 (フルタイム)
総 数	599	1	6	17	118	208	131	62	47	1	8
平均年齢	37.85	59.00	56.83	55.06	48.30	41.26	30.07	24.68	21.91	55.00	62.63
18 歳	2								2		
19 歳	4								4		
20 歳	9								9		
21 歳	9							5	4		
22 歳	18							5	13		
23 歳	14							5	9		
24 歳	18							18			
25 歳	18						2	15	1		
26 歳	18						12	4	2		
27 歳	19						14	4	1		
28 歳	19						17	1	1		
29 歳	14						11	2	1		
30 歳	17						17				
31 歳	27					6	19	2			
32 歳	22					6	16				
33 歳	16					7	8	1			
34 歳	20					13	7				
35 歳	14					12	2				
36 歳	20					17	3				
37 歳	13					12	1				
38 歳	15					13	2				
39 歳	15				1	14					
40 歳	19				5	14					
41 歳	17				5	12					
42 歳	15				5	10					
43 歳	16				5	11					
44 歳	17				9	8					
45 歳	7				3	4					
46 歳	13				10	3					
47 歳	9				6	3					
48 歳	17				14	3					
49 歳	17				9	8					
50 歳	11			1	6	4					
51 歳	18			1	11	6					
52 歳	11			1	7	3					
53 歳	15			4	7	4					
54 歳	10		1	1	4	4					
55 歳	5			1	1	2				1	
56 歳	7		1	2	3	1					
57 歳	5		1	1	2	1					
58 歳	10		3	2	2	3					
59 歳	8	1		3	1	3					
60 歳	3				2	1					
61 歳	1										1
62 歳	2										2
63 歳	4										4
64 歳	1										1

(単位:人)



3 年度別職員数

(各年度4月1日現在)(単位:人)

年度	区分	人 口 ※ (住民基本台帳)	定 数	実 員	職員1人当たり の人口	人口1万人当り の消防職員数
H28 年 度		584,572	561	551	1,061	9.43
H29 年 度		582,830	565	554	1,052	9.51
H30 年 度		580,686	565	561	1,035	9.66
R 元 年 度		578,994	565	563	1,028	9.72
R2 年 度		576,815	604	569	1,013	9.86
R3 年 度		568,255	604	576	986	10.14
R4 年 度		570,281	604	578	986	10.14
R5 年 度		567,401	604	589	963	10.38
R6 年 度		563,930	604	598	943	10.60
R7 年 度		556,106	690	599	928	10.77

※ 人口は各年3月末現在

4 公務災害等の発生状況

年度		H27		H28		H29		H30		R元		R2		R3		R4		R5		R6	
区分		件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
総 数		8	10	2	2	9	9	4	4	4	4	10	10	8	8	6	6	10	10	13	13
公 務 災 害	消 火 活 動 中	1	1	—	—	1	1	2	2	2	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	救急救助活動中	1	1	—	—	3	3	—	—	1	1	1	1	1	1	—	—	2	2	4	4
	訓 練 中	3	5	—	—	4	4	2	2	1	1	4	4	4	4	5	5	6	6	5	5
	交 通 事 故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	作 業 中	2	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—
	レクリエーション参加 そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通勤 災害	出 勤 途 上	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	—	—	—	—	—	—	2	2
	退 勤 途 上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—

5 職員の技能資格

(令和7年4月1日現在)

区分	総数(人)
大 型 自 動 車 免 許	286
玉 掛 け 作 業 者	135
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 資 格	114
1 級 小 型 船 舶 操 縦 士	36
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士	18
潜 水 士	87
予 防 技 術 資 格 者	52
甲 種 危 険 物 取 扱 者	13
乙 種 危 険 物 取 扱 者	220
甲 種 消 防 設 備 士	14
乙 種 消 防 設 備 士	85
救 急 救 命 士	162
挿 管 認 定 救 急 救 命 士	72
薬 剤 認 定 救 急 救 命 士	133
拡 大 二 行 為 認 定 救 命 士	131
指 導 救 命 士	12

6 職員表彰

(単位:人)

階 級 区 分		総数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消防吏員以外の 消防職員	元消防職員
総 数		115	1	-	5	34	43	16	5	8	-	3
叙 勲												
端 宝 小 綬 章		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
瑞 宝 双 光 章		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
瑞 宝 单 光 章		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
叙位・死亡叙勲		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消 防 庁 長 官 表 彰												
功 勞		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
永 年 勤 続 功 勞		4	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
救 急 功 勞		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防防災科学技術賞		3	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
知 事 表 彰												
兵 庫 県 功 勞		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
功 勞		8	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
永 年 勤 続 功 勞		4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
救 急 業 務 功 勞		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
感謝状		16	-	-	-	7	9	-	-	-	-	-
市 長 表 彰												
功 績		3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
救 急 業 務		3	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
永年勤続（25年）		11	-	-	-	6	5	-	-	-	-	-
消 防 局 長 表 彰												
優 秀		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
勤 功		11	-	-	-	-	5	-	-	6	-	-
優 良		4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
救 急 業 務		4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
全 国 消 防 長 会 表 彰												
消 防 特 別 功 勞		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
永 年 勤 続 功 勞		14	-	-	1	7	5	-	-	-	1	-
署 長 表 彰		23	-	-	-	-	6	11	5	1	-	-
全 国 消 防 協 会 表 彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防機器開発等会長賞		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵 庫 県 医 師 会 長 表 彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
姫路市救急医療協会会長表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
姫路東ロータリークラブ表彰		3	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
近畿地方非常通信協議会長表彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
非 常 通 信 功 績 者 表 彰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

7 市民表彰等

区分	年度	平成				令和					
		27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
表彰	市長表彰 (しらさぎ賞)	12	13	13	11	10	13	30	12	15	13
	消防局長表彰 (優良事業所)	5	5	5	5	5	5	5	5	6	5
感謝状	市長感謝状	-	1	-	1	1	1	1	1	1	1
	消防局長感謝状 (寄贈)	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	署長感謝状 (初期消火等)	22	10	6	6	6	4	2	1	9	9

8 年度別一般会計及び消防費決算額（令和6年・令和7年度は当初予算額）

（単位：円）

区分 年度	一般会計決算額	消防費決算額	一般会計に 対する割合	一世帯 当たり消防費	住民一人 当たり消防費
平成27	208,985,118,012	6,602,843,198 (7,145,932,112)	3.16 (3.42)	28,464 (-)	12,196 (-)
平成28	207,833,864,911	6,265,457,650 (6,797,236,177)	2.98 (3.01)	27,000 (-)	11,595 (-)
平成29	207,481,705,619	6,657,540,210 (7,174,026,668)	3.21 (3.46)	30,960 (-)	12,470 (-)
平成30	198,592,949,720	6,426,487,249 (6,946,057,121)	3.2 (3.45)	27,300 (-)	11,939 (-)
令和元	211,392,021,607	6,726,144,119 (7,363,088,407)	3.18 (3.48)	28,293 (-)	12,524 (-)
令和2	286,043,996,223	8,383,992,856 (8,991,458,660)	2.93 (3.14)	34,935 (-)	15,642 (-)
令和3	233,252,204,092	6,277,537,778 (6,886,045,587)	2.69 (2.95)	25,903 (-)	11,753 (-)
令和4	230,164,150,459	6,481,407,114 (7,008,259,552)	2.82 (3.04)	28,768 (-)	12,303 (-)
令和5	281,269,374,820	6,964,435,531 (7,475,205,519)	2.48 (2.66)	28,350 (-)	13,179 (-)
令和6	236,100,000,000	7,341,232,000 (7,930,842,000)	3.11 (3.36)	29,632 (-)	13,960 (-)
令和7	258,200,000,000	10,808,217,000 (11,652,364,000)	4.19 (4.51)	43,298 (-)	20,659 (-)

※（ ）内は、受託町の常備消防に係る経費（水利事務を除く）を含んだ経費です。

9 令和7年度消防局予算概要

※ 消防費から危機管理室所管（災害対策費）予算を除いたものです。（単位：千円）

款・項・目・事業名	予算額	款・項・目・事業名	予算額
50 消防費	11,424,336	15 消防施設費	4,724,900
10 消防費	11,424,336	庁舎整備事業費	258,600
10 常備消防費	6,087,348	車両等整備事業費	511,300
報酬給与費	5,616,199	消防資器材整備事業費	25,200
職員研修費	16,911	消防水利整備事業費	250,000
管理事務費	36,135	情報通信施設整備事業費	3,679,800
庁舎維持管理経費	173,112	25 災害対策費	14,070
車両等管理経費	94,809	防災プラザ管理運営費	14,070
消防活動経費	17,214	防災プラザ整備事業費	—
情報通信施設管理経費	34,082	30 非常備消防費	598,018
救急活動経費	73,859	団員報酬	114,467
予防活動経費	5,669	団員等公務災害補償費	6,840
危険物保安経費	4,246	団員退職報償金	49,549
出初式経費	2,508	団本部運営費	21,981
音楽隊経費	1,598	分団運営費	81,536
民間防火組織育成経費	1,582	分団施設等整備事業費	252,300
負担金	9,424	負担金	71,345

10 年度別主要事業実施状況

(単位:千円)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
庁舎整備事業 32,810 防災センター非常用自家発電設備蓄電池等更新 防災センター情報指令課空調機器更新工事設計委託 家島事務所間仕切り改修工事 姫路西消防署受変電設備改修工事設計委託 姫路西消防署受変電設備改修工事	庁舎整備事業 554,957 姫路東消防署新庁舎建設用地取得 姫路東消防署新築工事基本計画及び基本設計委託 姫路市姫路東消防署御国野出張所大規模改修工事設計委託 姫路市防災センター電話交換機等更新業務委託 姫路市防災センター情報指令課空調設備更新工事	庁舎整備事業 176,600 姫路東消防署新築工事実施設計委託 姫路東消防署増位出張所改修工事実施設計委託 姫路東消防署御国野出張所大規模改修工事 網干消防署屋上防水改修工事 姫路西消防署林田出張所屋上防水改修工事
車両等整備事業 327,858 救助工作車 1台 小型水槽付消防ポンプ自動車 1台 高規格救急車 2台 多目的車 2台	車両等整備事業 496,854 消防艇 1艇 高規格救急車 3台 連絡車 2台	車両等整備事業 334,812 化学消防ポンプ自動車 2台 資器材搬送車 2台 高規格救急車 3台 査察車(電気自動車) 4台 人員搬送車 1台
消防資器材整備事業 32,685 消防ホース 84本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 救助活動資器材 一式 化学剤検知器 一式 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新	消防資器材整備事業 23,389 消防ホース 65本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 救急活動資器材 一式 ゴムボート 1艇 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新	消防資器材整備事業 22,501 消防ホース 70本 消防活動資器材 一式 山岳救助資器材 一式 水難救助資器材 一式 救急活動資器材 一式 ゴムボート 3式 空気呼吸器等 泡消火薬剤更新
消防水利整備事業 107,362 消火栓新設 128ヶ所	消防水利整備事業 181,774 防火水槽 2基 消火栓新設 125ヶ所	消防水利整備事業 196,700 防火水槽 1基 消火栓新設 98ヶ所
情報通信施設整備事業 —	情報通信施設整備事業 187,563 姫路市高機能消防指令システム調達支援業務及び施工監理業務委託 姫路市高機能消防指令システム延命整備業務委託	情報通信施設整備事業 165,516 姫路市高機能消防指令システム延命整備業務委託 次期高機能消防指令システム調達支援業務
分団施設整備事業 135,918 姫路西消防団安室東分団詰所改築工事設計委託 姫路西消防団林田西分団詰所改築工事設計委託 飾磨消防団の形分団詰所新築工事設計委託 飾磨消防団の形分団詰所新築工事 消防ポンプ自動車 5台 小型動力ポンプ付軽四積載車 1台	分団施設整備事業 125,920 姫路東消防団谷外分団詰所改築工事設計委託 網干消防団旭陽分団詰所改築工事設計委託 姫路東消防団広峰分団詰所改築工事 姫路西消防団安室東分団詰所改築工事 姫路西消防団林田西分団詰所改築工事 小型動力ポンプ付軽四積載車 1台 消防団用AED 72式	分団施設整備事業 177,856 姫路西消防団谷内分団詰所新築工事設計委託 姫路西消防団太市分団詰所新築工事設計委託 姫路東消防団谷外分団詰所改築工事 姫路西消防団旭陽分団詰所改築工事 消防ポンプ自動車 4台

このページは空白です。

警

防

1 消防車両等の配置状況

(令和7年4月1日現在)

配置 署所 車種	総 計 ^{*1}	消防局						姫路東 消防署						姫路西 消防署				飾 磨 消防署								網 干 消防署			中 播 消防署				
		小 計	総 務	警 防	救 急	情 報 指 令	予 防	小 計	本 署	御 国 野	豊 富	飾 東	増 位	小 計	本 署	飾 西	林 田	小 計	本 署	白 浜	広 畑	大 的	家 島	坊 勢	小 計	本 署	勝 原	小 計	本 署	香 寺	夢 前	北 部	
合 計	121 (11)	22 (5)	7 -	7 (1)	6 (5)	1 -	1 -	19 (1)	12 (1)	2 -	2 -	1 -	2 -	18 (1)	13 (1)	2 -	3 -	30 (1)	12 (1)	4 -	4 -	1 -	5 -	4 -	12 (1)	11 (1)	1 -	20 (1)	12 (1)	2 -	3 -	3 -	
指 揮 隊 車	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指 揮 車	4	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
タンク車 ^{*2}	8 (1)	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3	1	1	1	-	-	-	2	1	1	1	1	-	-	-	
S T 車 ^{*3}	16 (5)	1 (5)	-	1	-	-	-	5 (1)	1 (1)	1	1	1	1	3 (1)	1 (1)	1	1	2 (1)	1 (1)	-	-	1	-	-	1 (1)	1 (1)	-	4 (1)	1 (1)	1	1	1	
梯 子 車	4	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
屈折梯子車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大 型 化 学 高 所 放 水 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
水 槽 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
化 学 車	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
救 急 車	22 (5)	6 (5)	-	-	6 (5)	-	-	4	1	1	1	-	1	4	2	1	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	4	1	1	1	1	
軽 救 急 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
多 目 的 車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
泡 原 液 搬 送 車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救助工作車	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
水難救助車 (兼資器材搬送車)	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
消 防 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救 急 艇	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
資材搬送車	6	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
無線中継車	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
人員搬送車	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
連 絡 車 (緊 急)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	
マイクロバス	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
連 絡 車	10	4	3	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
査 察 車	13	3	3	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	2	2	-	-	-	-	-	2	2	-	2	2	-	-	-	-
広報連絡車	8	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	1	-	1	3	1	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	
原付自転車	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	

*1 ()内の数字は、非常用消防車・非常用救急車を示します。(内数)

*2 タンク車は水槽容量1,500リットル又は2,000リットルの水槽付消防ポンプ自動車です。

*3 S T車は水槽容量800リットル～1,300リットルの小型水槽(スモールタンク)付消防ポンプ自動車です。

2 消防緊急車両等の一覧

(令和7年4月1日現在)																					
配置場所		区分	車種	呼称名	車両表示	年式	主 要 装 備			主 要 装 備											
配置箇所	配置箇所						配置箇所	配置箇所	配置箇所	配置箇所											
姫路東消防署	警 防 課	予 防 課	指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
		情報指令課	指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
姫路西消防署	警 防 課	予 防 課	指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	
		情報指令課	指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署
			指 タ	指揮	車	指 タ	指揮	車	署	本	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署	飾磨消防署

*1 資材搬送車と無線中継車は、消防組織法第50条に規定の無償使用制度について許可を受けた国（姫路省消防庁）有車両です。

3 部隊別主要資機材配備基準

救急隊、救助隊等一部の部隊を除く。
(令和7年4月1日現在)

所属	署所	部隊	Gノズル(注1)	Dノズル(注2)	泡ノズル	ホースカー	分岐金具	動力ポンプ	かぎ付き	三連(二連)はしり	エンジンカッター	レシアロー	チェーンソー	サブレッダー	カッター	コンピッル	油圧ジャッキ	可搬ウインチ	マルチスリング	鉄線カッター	万能斧	ハンマー	複合ガス検知器	防塵マスク	発動発電機	投光器	強力ライト	携帯用ライト	拡声器	担架	吹き流し	要救助者用安全带	簡易縛帯	救命胴衣	浮環	ハーネス	応急処置セット	高圧耐電衣	低圧耐電手袋	耐熱服	夜行ベスト	伸縮コーン		
姫路東	本署	東TC	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2		
		東ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	0	1	5	1	0	2	0	5	2				
		東梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	3	1	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0				
		御野	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	3	1	0	2	0	3	2				
		豊富	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	3	1	0	2	0	3	2				
姫路西	本署	西TC	4	2	1	1	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	1	1	1	1	1	5	1	0	1	0	2	0	5	2		
		西ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	5	1	0	2	0	5	2				
		西梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	3	1	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0				
		西化	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0				
		御西ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	3	1	0	2	0	3	2				
姫路西小計	林田	林ST	2	2	1	1	2	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	3	1	0	1	0	2	0	3	2			
		姫路東小計	17	13	6	5	14	1	2	6	5	1	1	1	6	7	6	5	22	7	7	14	13	9	2	5	8	1	22	6	2	6	2	12	0	22	16	16	14					
		御T	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	1	1	1	5	1	0	2	0	5	2			
		御ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	1	1	5	1	0	2	0	5	2				
		御梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	5	1	0	2	0	5	2			
御磨	白浜	白T	4	2	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	1	1	1	1	1	5	1	0	2	0	0	2	0	2	0		
		白原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0			
		広畑	4	2	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	1	1	1	1	1	5	1	0	2	0	3	2	0	2	0		
		広槽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0			
		大ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3	1	1	2	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	3	1	0	2	0	3	2	0	2	0		
網干	本署	家島	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4	1	1	1	2	1	0	1	1	4	1	0	2	0	0	2	0	2	0	
		坊勢	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4	0	1	2	1	0	1	1	4	1	0	2	0	0	2	0			
		御磨小計	19	13	5	4	12	2	4	5	4	1	1	2	0	0	0	6	1	1	5	6	5	6	31	9	10	18	18	12	4	6	11	1	31	7	2	5	6	10	0	19	22	
		網T	4	2	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	1	1	5	1	2	1	0	2	0	5	2		
		網ST	4	2	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	5	1	0	2	0	5	2				
中播	本署	網梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	4	0		
		網化高	0	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	4	0	2	0	2	0		
		勝T	2	2	1	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	3	1	0	2	0	3	2	0	2	0	
		網干小計	11	9	4	3	10	1	2	3	2	1	1	1	1	1	0	2	1	1	3	4	3	2	13	5	5	10	11	7	2	2	6	1	13	3	2	6	4	13	12			
		中T	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5	1	1	2	3	2	0	1	1	5	1	0	2	0	5	2	0	2	0	
中播	本署	中ST	4	2	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5	1	1	2	3	2	0	0	1	1	5	1	0	2	0	5	2	0	2	0	
		中梯	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	2	0	0	4	0	4	0	4	0
		中化	0	2	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	3	1	0	0	1	0	0	0	4	0	2	0	2	0		
		奮ST	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	0	1	1	3	1	0	2	0	3	2	0	2	0	
		夢前	2	2	1	1	2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3	1	0	2	0	3	2	0	2	0
中播小計	北部	北ST	2	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	1	1	2	1	1	1	1	1	3	1	0	2	0	3	2	0	2	0	
		中播小計	15	13	7	5	14	2	3	6	5	2	0	0	0	0	2	4	2	2	5	6	5	4	19	7	7	14	15	9	3	4	8	2	19	5	4	5	2	10	4	19	16	
		合計	75	59	28	21	62	8	13	24	19	6	3	4	4	3	20	6	6	23	28	23	20	101	34	35	68	71	45	14	20	40	6	101	15	12	23	14	46	10	89	80		

注1: ガンタイプノズル 注2: タプルコントロールノズル
このほか、無人放水水銃(大)を節節消防署・網干消防署に各1台、無人放水水銃(小)を5消防署に各1台配備しています。

4 消防水利の現況

消防水利は、人員及び機械とともに消防力の三要素の一つであり、その基幹をなすものです。姫路市消防局管内における消防水利の状況は、総数23,348（内受託町3,438）で、その内容は、消火栓94.9%、防火水槽及び防火井戸4.0%、その他の水利が1.1%の割合になっています。

（令和7年3月末現在）

区分 署別		合計	消 火 栓			防火水槽及び防火井戸						その他	
			小計	公設	私設	小 計		公 設		私 設		プール	その他
						水槽	井戸	水槽	井戸	水槽	井戸		
姫 路 東		4,819	4,539	4,414	125	197	45	159	45	38	—	37	1
姫 路 西		5,086	4,898	4,761	137	128	32	105	32	23	—	25	3
飾 磨		5,320	5,046	4,479	567	167	83	144	83	23	—	21	3
網 干		2,774	2,627	2,151	476	88	46	74	46	14	—	12	1
中 播	小 計	5,349	5,051	5,020	31	152	—	131	—	21	—	36	110
	姫路市	1,911	1,879	1,871	8	14	—	6	—	8	—	16	2
	受託町	3,438	3,172	3,149	23	138	—	125	—	13	—	20	108
総 数		23,348	22,161	20,825	1,336	732	206	613	206	119	—	131	118
姫 路 市		19,910	18,989	17,676	1,313	594	206	488	206	106	—	111	10
受 託 町		3,438	3,172	3,149	23	138	—	125	—	13	—	20	108

5 消防水利の整備状況

消防水利の整備は、主に消火栓を国から示された「消防水利の基準」（昭和39年12月10日消防庁告示第7号）に基づき整備しています。（消防水利から建物までの距離は、市街地、準市街地については100m又は120m以内、その他の地域は140m以内）消火栓は、水道法等により上下水道事業管理者が設置し、年々充実されています。

しかし、消火栓は容易に使用できる反面、地震等発生時には使用不能となる場合もありますので、本市の公園を中心に40㎡の耐震性防火水槽も計画的に整備しています。

区分 年度	消 火 栓		防 火 水 槽	
	水利整備事業	その他の事業	水利整備事業	その他の事業
平成26年	90	41	1	—
平成27年	90	135	1	—
平成28年	120	117	1	—
平成29年	105	85	2	—
平成30年	120	95	2	—
令和元年	106	119	2	—
令和2年	107	101	1	—
令和3年	100	110	1	—
令和4年	128	124	1	—
令和5年	125	50	1	—
令和6年	124	56	1	—

6 開発行為による設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「姫路市開発事業における手続および基準等に関する条例」及び「消防水利の基準」に基づき消防水利の指導を行っています。

区分 年度	消 火 栓		防 火 水 槽	
	帰 属	私 設	帰 属	私 設
平成26年	21	—	4	5
平成27年	32	—	1	1
平成28年	23	—	4	1
平成29年	18	—	3	2
平成30年	18	—	3	—
令和元年	24	—	1	1
令和2年	15	—	1	3
令和3年	22	—	—	4
令和4年	10	—	2	6
令和5年	5	—	2	2
令和6年	12	—	4	2

7 泡消火薬剤の備蓄状況

(令和7年3月末現在)

区分 保管場所 (消防署)	泡消火薬剤 合計 (k l)	石 油 類 用 (k l)		水 溶 性 液 体 用 (k l)	
		蛋白質加水 分解系	界面活性剤系	界 面 活 性 剤 系	
		フッ素 蛋白泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系	フッ素界面 活性剤泡系	炭化水素系界 面活性剤泡系
		水成膜を形成 しないもの		高分子ゲルを 形成するもの	
		フッ素蛋白泡 F P	炭化水素系界 面活性剤泡 S	高分子ゲル生成 フッ素界面活性剤耐 アルコール泡 AGFF [石油類にも使用可]	フッ素界面活 性剤を添加し たもの
合 計	82.29	2.60	10.36	59.11	10.22
姫 路 市	45.85	—	6.56	36.61	2.68
兵 庫 県	8.54	2.60	—	—	5.94
共同備蓄	27.90	—	3.80	22.50	1.60
警 防 課	姫 路 市	0.10	-	0.10	-
	兵 庫 県	—	-	-	-
	共同備蓄	—	-	-	-
姫 路 東	姫 路 市	5.94	-	2.08	0.46
	兵 庫 県	1.20	-	-	1.20
	共同備蓄	2.60	-	1.00	-
姫 路 西	姫 路 市	5.17	-	4.17	-
	兵 庫 県	1.74	-	-	1.74
	共同備蓄	3.00	-	0.80	-
飾 磨	姫 路 市	25.50	-	25.50	-
	兵 庫 県	1.80	0.60	-	1.20
	共同備蓄	21.70	-	20.70	1.00
網 干	姫 路 市	6.94	-	3.94	2.00
	兵 庫 県	3.80	2.00	-	1.80
	共同備蓄	0.60	-	-	0.60
中 播	姫 路 市	2.20	-	0.82	0.22
	兵 庫 県	—	-	-	-
	共同備蓄	—	-	-	-

共同備蓄は、危険物を保有する市内22の関係事業所が共同して泡消火薬剤を備蓄しています。

8 出 動 基 準 表

災害 種別	災害分類	支 援 情 報	該当対象物基準			選別車両																					
						第1出動									第2出動					第3出動							
			用途	階層	面積	C	T・ S T	梯子	化学	R	W R	A	消防 艇	搬送	水槽	C	T・ S T	梯子	化学	R	A	C	T・ S T	梯子	化学	R	A
火災	一般建物火災		下記のいずれにも該当しない建物			1	4			1		1				1	2					2					
	中高層建物火災	○	非特定用途	4階以上		1	5	1		1		1				1	2					2					
	特定大規模中高層建物火災	○	特定用途	4階以上		1000㎡以上	2	5	1		2		2				1	2					2				
	特定中高層建物火災	○		4階以上	1000㎡以下	1	5	1		1		2				1	2					2					
	特定大規模建物火災	○		3階以下	1000㎡以上	1	5			1		2				1	2					2					
	病院・福祉施設火災	○	6項イロハ	4階以上		2	5	1		2		2				1	2					2					
		○		3階以下		1	5			1		2				1	2					2					
	危険物施設火災	○	特定事業所を除く			1	5		1	1		1				1	2					2					
	一般道車両火災						2					1				2						2					
	高速道車両火災		高速道路・自動車専用道路（パーキングエリア、サービスエリアを含む）			1	3		1	1		1			1	1	2					2					
	林野火災					1	5									1	4					2					
	船舶火災					1	3			1		1	1			1	2					2					
	その他火災						2									2						2					
	警防計画火災	○				警防計画出動（部署別、車両・車種別指定）																					
救急	救急											1															
	高速道救急						1					1															
	救急支援・PA						1					1															
	集団災害救急					1	2					5															
救助	限定救助						1			1		1															
	一般救助					1	1			1		1															
	交通救助					1	1			1		1															
	高所救助		4階以上			1	1	1		1		1															
	山岳救助					1	2			1		1															
	水難救助					1	2			1	1	1															
	鉄道災害救助					1	3			1		1															
	特殊災害救助					1	3			2		1		1													
	石油コンビナート災害			○	特定事業所		石油コンビナート警防計画出動（車種別指定）																				
警戒							1																				
水防							1																				

（注1）消防艇が接岸不可の場合、待機車両がない場合等、状況によって情報指令課長の判断により出動を調整する。

（注2）特定事業所とは、石油コンビナート等災害防止法に定めるものをいう。

（注3）車両火災のうち、発生場所が「トンネル内」の場合はR1台を、「鉄道」の場合はC1台・R1台を、即時、追加出動させるものとする。

（注4）限定救助とは、建物内の閉込事案をいう。

（注5）網掛けのT・STの欄のうち1台は、災害地点を管轄する消防署（本署）の車両から優先的に選別する。

（注6）地震等により、広域的に大規模災害が発生し、消防対応能力を超える被害が予想される場合に、本基準に関わらず、情報指令課長判断により出動車両の選別を制限する場合がある。

【Rの車両選別運用】

救助工作車又は本署タンク車（準救助工作車）から直近車両を選別する場合は、次のとおりとする。

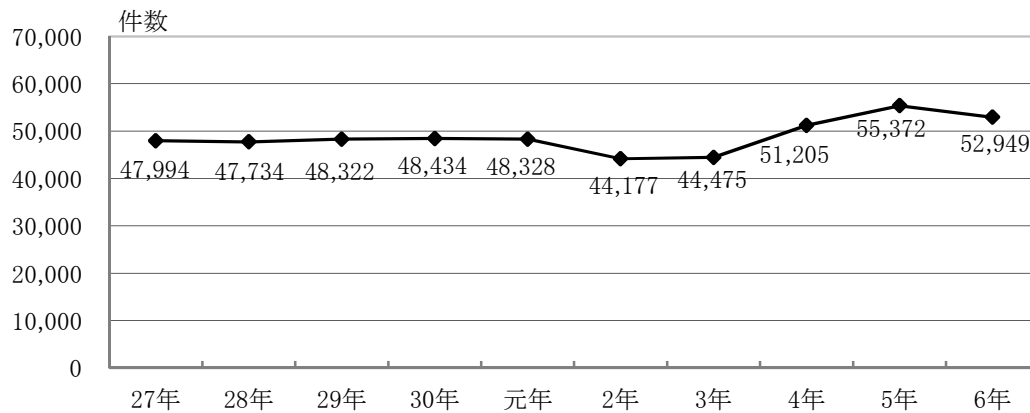
- ① 「限定救助」の事案
- ② 救助工作車2台出動中に発生した事案で、情報指令課長が必要と認める場合
- ③ 救助工作車3台出動中に発生した事案

このページは空白です。

消 防 指 令

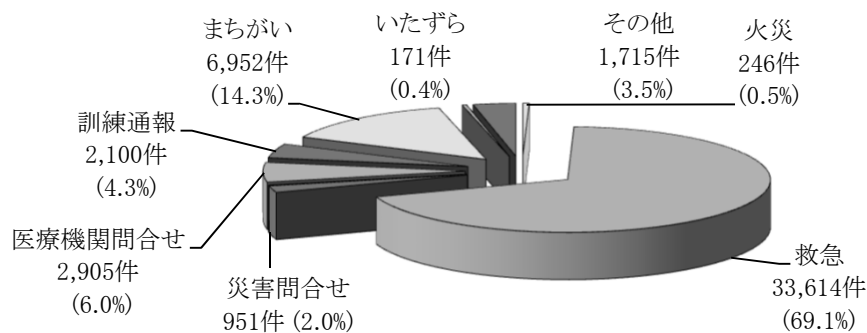
1 総受信状況の推移

年次 区分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
119番	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828	46,299	50,835	48,629
警察電話	487	395	410	423	312	269	40	-	-	-
加入電話	637	502	536	555	574	595	1,037	1,275	842	679
駆け付け	217	222	231	209	239	186	178	201	220	195
自己覚知	172	149	163	152	147	65	62	83	80	94
ホットライン	3,307	3,302	3,246	3,179	3,181	3,198	3,115	3,152	3,230	3,189
緊急通報サービス	1,247	1,207	934	1,064	518	192	141	154	116	117
FAX119	94	115	80	70	57	63	38	9	22	9
NET119	32	35	43	45	26	9	36	32	27	37
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	47,994	47,734	48,322	48,434	48,328	44,177	44,475	51,205	55,372	52,949
1日あたりの受付件数	131.5	130.8	132.0	132.7	132.4	121.0	121.5	140.3	151.7	145.1
1時間あたりの受付件数	5.5	5.4	5.5	5.5	5.5	5.0	5.1	5.8	6.3	6.0



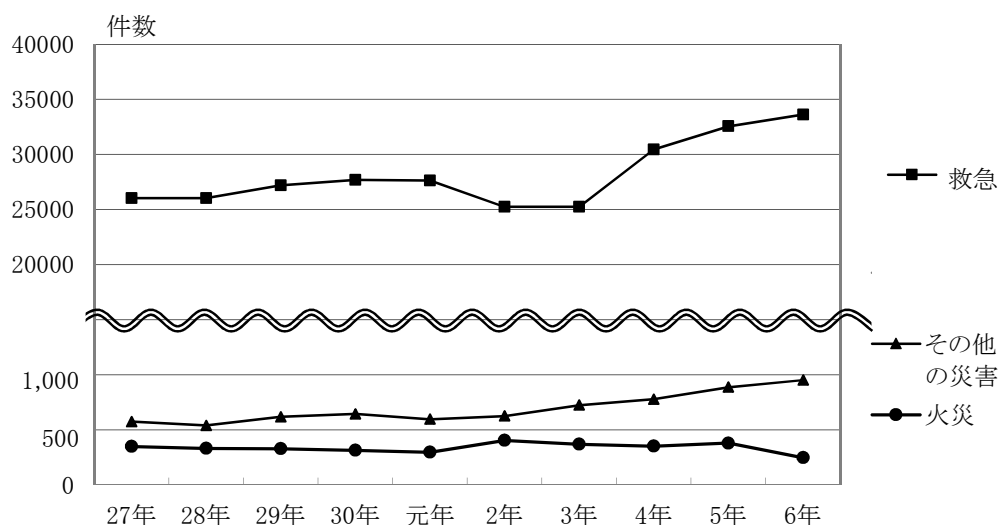
2 119番受信状況

年次 区分	令和 6年 (件)	構成比 (%)	令和 5年 (件)	構成比 (%)	対前年比	
					増減数(件)	増減率(%)
火災	246	0.5	379	0.7	▲133	▲35.1
救急	33,614	69.1	32,553	64.0	1,061	▲3.3
その他の災害	951	2.0	886	1.7	65	▲7.3
災害問合せ	40	0.1	62	0.1	▲22	▲35.5
医療機関問合せ	2,905	6.0	3,973	7.8	▲1,068	▲26.9
訓練通報	2,100	4.3	2,069	4.1	31	▲1.5
まちがい	6,952	14.3	8,596	16.9	▲1,644	▲19.1
いたずら	171	0.4	602	1.2	▲431	▲71.6
その他(回線点検等)	1,650	3.3	1,715	3.5	▲65	▲3.8
合計	48,629	100.0	50,835	100.0	▲2,206	▲4.3



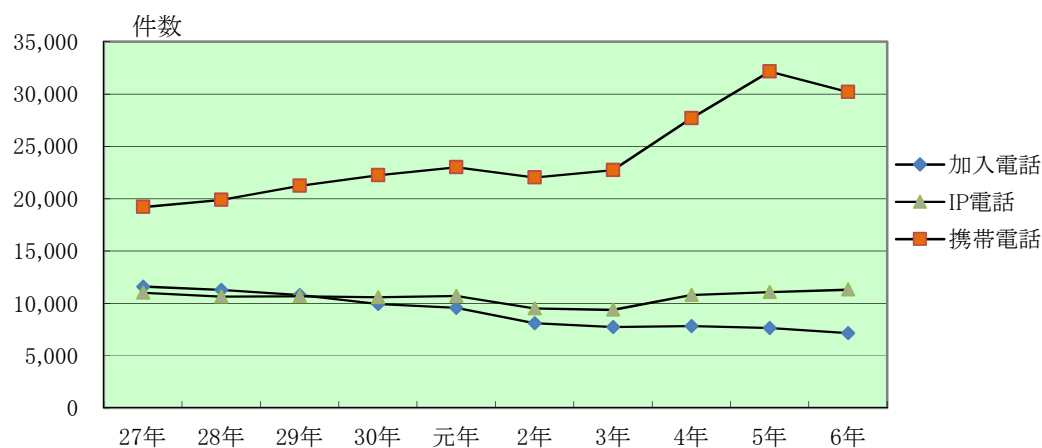
3 119番受信状況の推移

年次 区分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
火災	348	331	328	314	296	403	368	351	379	246
救急	26,026	26,029	27,191	27,681	27,623	25,242	25,247	30,443	32,553	33,614
その他の災害	574	539	617	643	596	625	723	777	886	951
災害問合せ	370	477	675	387	192	190	131	97	62	40
医療機関問合せ	6,459	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206	3,901	4,215	3,973	2,905
訓練通報	1,580	1,712	1,769	1,699	1,977	1,708	1,905	1,942	2,069	2,100
まちがい	4,033	4,120	4,018	3,958	4,768	4,848	5,145	6,541	8,596	6,952
いたずら	736	572	578	740	691	739	716	302	602	171
その他(回線点検等)	1,675	2,035	1,772	1,829	1,696	1,639	1,692	1,631	1,715	1,650
合計	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828	46,299	50,835	48,629
1日あたりの受付件数	114.5	114.5	116.6	117.1	118.6	108.5	108.8	126.8	139.3	133.2
1時間あたりの受付件数	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.5	4.5	5.3	5.8	5.6



4 119番通報形態(通報手段)の推移

年次 区分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
加入電話	11,593	11,281	10,782	9,936	9,573	8,085	7,733	7,829	7,632	7,144
I P 電話	11,014	10,640	10,667	10,576	10,705	9,508	9,373	10,785	11,057	11,298
携帯電話	19,194	19,886	21,230	22,225	22,996	22,007	22,722	27,685	32,146	30,187
合計	41,801	41,807	42,679	42,737	43,274	39,600	39,828	46,299	50,835	48,629



5 FAX119受信状況の推移

区分\年次	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
緊急受信	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-
テスト等	94	115	80	69	56	63	38	9	21	9
合計	94	115	80	70	57	63	38	9	22	9

6 NET119受信状況の推移

区分\年次	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
緊急受信	-	-	3	1	1	9	9	12	6	10
テスト等	32	35	40	44	25	45	27	20	21	27
合計	32	35	43	45	26	54	36	32	27	37

7 外国語同時通訳機能利用状況の推移

区分\年次	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
緊急受信	2	3	2	5	1	3	2	9
テスト等	4	3	2	-	-	-	1	-
合計	6	6	4	5	1	3	3	9

8 テレホンガイド(災害案内)利用状況の推移

区分\年次	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
利用件数	115,663	95,104	99,627	92,302	85,161	99,051	91,443	83,495	79,701	56,238

9 医療機関問合せ状況の推移

区分\年次	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
119番	6,459	5,992	5,731	5,486	5,435	4,206	3,901	4,215	3,973	2,905
119番以外	6,190	4,307	3,650	2,496	2,970	2,103	2,003	1,754	1,519	698
合計	12,649	10,299	9,381	7,982	8,405	6,309	5,904	5,969	5,492	3,603

10 姫路市救急受診ガイド利用状況の推移

アクセス数	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
	11,949	16,189	18,670	9,795	12,675	15,962	20,214	13,462

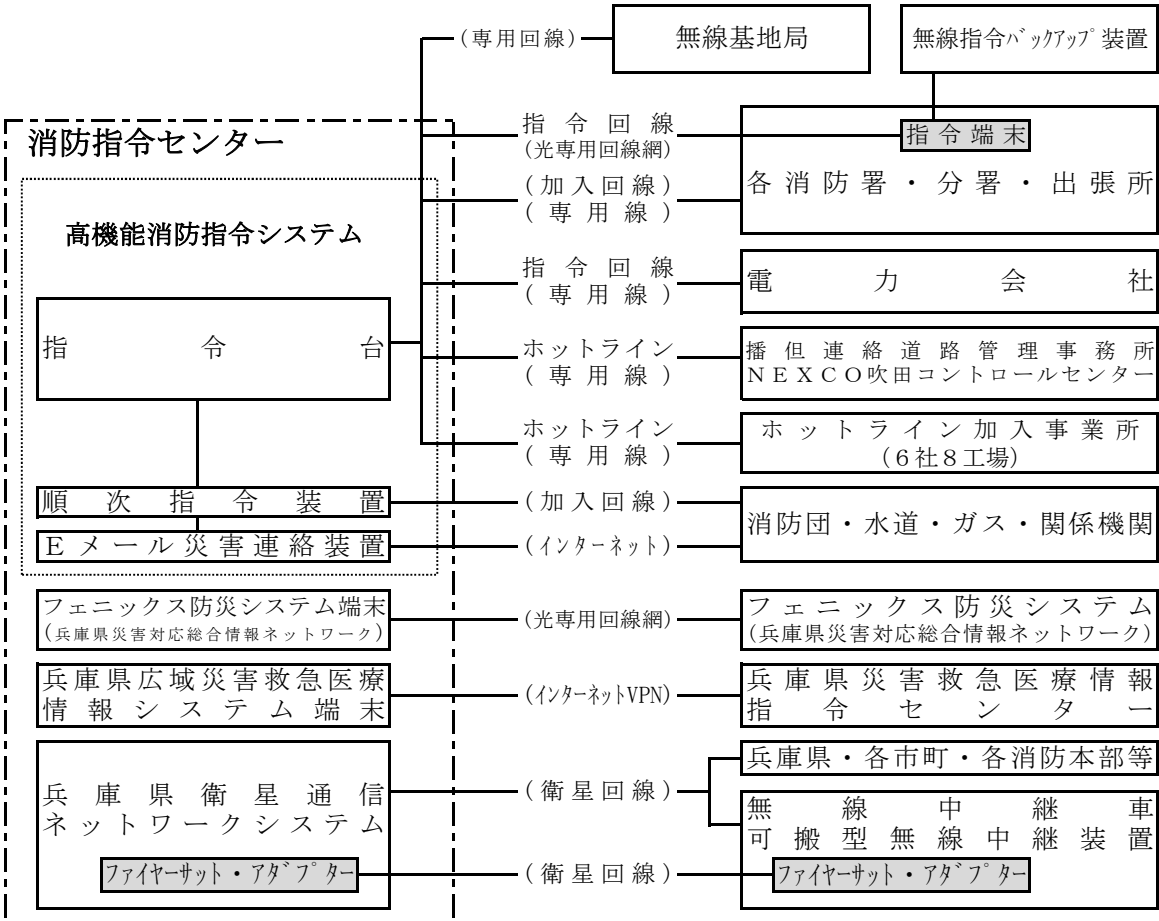
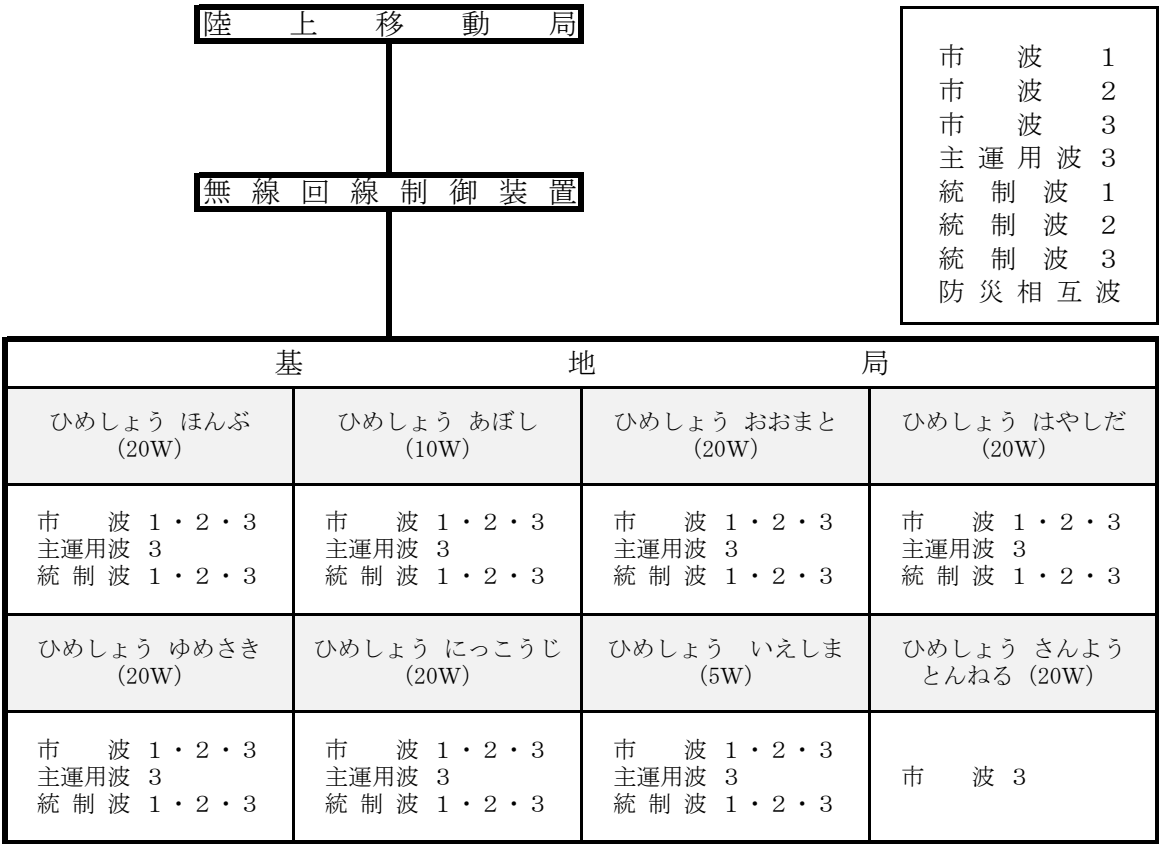
11 119番による応急手当の口頭指導状況

(令和6年中)

市民処置内容	口頭指導件数(A)	(A)のうち市民実施件数	実施率 (%)
気道確保	43	7	16.3
人工呼吸	5	1	20.0
胸骨圧迫	710	254	35.8
心肺蘇生法	113	21	18.6
除細動(AED)	23	5	21.7
止血	137	45	32.8
被覆	27	10	37.0
固定	1	1	100.0
移動	68	18	26.5
体位	107	13	12.1
創傷処置	4	3	75.0
保温	-	-	-
その他	78	26	33.3
合計	1,316	404	30.7

12 消防通信系統図

消 防 通 信 系 統 図



このページは空白です。

予 防 ・ 防 災

1 火災予防に関する届出及び申請状況

消防法や火災予防条例では、火災予防に関する管理、設備、少量危険物等の届出を義務づけています。これによって消防機関は、事前にこれらの状況を把握し、効果的な指導を行って適正な予防行政の執行を図っています。

(令和6年度)

署 別			合 計	姫路東	姫路西	飾 磨	網 干	中播消防署
区 分			(うち受託町)	消防署	消防署	消防署	消防署	(うち受託町)
消 防 法 に よ る 届 出	防火管理者	選 任	918 (73)	259	254	245	53	107 (73)
		解 任	733 (64)	205	191	199	44	94 (64)
	消防計画	作 成	817 (69)	235	188	239	52	103 (69)
		変 更	207 (7)	53	91	29	20	14 (7)
	工事整備対象設備等着工届		379 (29)	104	85	111	35	44 (29)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届		1,629 (129)	502	367	397	173	190 (129)
	消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告		8,168 (902)	2,033	2,054	1,733	967	1,381 (902)
	防火対象物点検結果報告		555 (40)	214	122	110	41	68 (40)
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵(廃止)届		107 (5)	19	20	35	20	13 (5)
火 災 予 防 条 例 に よ る 届 出	消防用設備等工事計画書		561 (38)	156	143	147	60	55 (38)
	防火対象物使用開始届		593 (47)	157	107	177	83	69 (47)
	火を使用する設備等の設置届		100 (10)	17	24	26	20	13 (10)
	変電設備、発電設備、蓄電池設備設置届		280 (23)	32	77	96	45	30 (23)
	ネオン管灯設備設置届		- (一)	-	-	-	-	- (一)
	水素ガスを充てんする気球の設置届		1 (一)	1	-	-	-	- (一)
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為の届出		1,886 (288)	469	563	219	144	491 (288)
	煙火打上げ等の届出		32 (5)	9	3	5	4	11 (5)
	演劇等の催物開催届		7 (一)	3	1	-	-	3 (一)
	水道断減水届		54 (2)	15	7	14	6	12 (2)
	火気等使用する露店等開設届、道路占用		343 (35)	167	73	45	14	44 (35)
	道路工事届		741 (94)	188	178	147	75	153 (94)
	文化財等催物開催届		2 (一)	-	2	-	-	- (一)
	指定洞道等届出		- (一)	-	-	-	-	- (一)
	少量危険物貯蔵(変更・廃止)届		111 (12)	15	22	18	43	13 (12)
	指定可燃物(変更・廃止)届		43 (2)	7	6	24	3	3 (2)
	放射性同位元素等貯蔵(変更・廃止)届		10 (1)	-	-	4	1	5 (1)

2 防火対象物定期点検報告制度等に係る届出状況

(令和6年度)

区 分		点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数	
		収容人員 300人以上のもの	特定1階段 のもの	収容人員 300人以上のもの	特定1階段 のもの
1	イ	13 (-)	- (-)	4 (-)	- (-)
	ロ	187 (30)	1 (-)	150 (19)	- (-)
2	イ	1 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)
	ロ	18 (2)	- (-)	17 (2)	- (-)
	ハ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ	- (-)	2 (-)	- (-)	2 (-)
3	イ	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)
	ロ	4 (-)	20 (-)	3 (-)	4 (-)
4		103 (9)	18 (-)	77 (7)	10 (-)
5	イ	11 (1)	18 (1)	11 (1)	11 (1)
6	イ	18 (2)	11 (-)	14 (2)	7 (-)
	ロ	4 (-)	10 (-)	2 (-)	9 (-)
	ハ	4 (-)	4 (-)	2 (-)	3 (-)
	ニ	2 (-)	- (-)	2 (-)	- (-)
9	イ	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)
16	イ	114 (3)	45 (-)	86 (3)	19 (-)
16の2		1 (-)	- (-)	1 (-)	- (-)
合 計		480 (47)	131 (1)	370 (34)	65 (1)
		611 (48)		435 (35)	

※ ()内は受託町 (内数)

3 液化石油ガス施設等の推移

消防活動が著しく困難な液化石油ガス等を貯蔵し又は取り扱うものには、消防法及び火災予防条例等に基づき消防署長に届出を義務づけています。

(令和6年度現在)

年度 区分	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
液化石油ガス	1,860 (132)	1,931 (139)	1,975 (141)	2,044 (139)	2,101 (149)	2,171 (178)	2,227 (152)	2,277 (155)	2,392 (158)	2,428 (162)
高圧ガス	97 (－)	97 (－)	98 (－)	98 (－)	98 (－)	98 (－)	109 (－)	119 (－)	124 (－)	124 (－)
毒物・劇物等	320 (19)	325 (19)	331 (19)	337 (19)	340 (22)	341 (22)	333 (18)	334 (18)	337 (18)	339 (18)
合 計	2,277 (151)	2,353 (158)	2,404 (160)	2,479 (158)	2,539 (171)	2,610 (200)	2,669 (170)	2,730 (173)	2,853 (176)	2,891 (180)

※ ()内は受託町(内数)

(注) 液化石油ガス(供給設備)の一部については、県からの事務移譲分を含む。

4 指定査察対象物の推移

(令和6年度現在)

年度 署別	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
姫路東消防署	5,270	5,173	5,223	5,244	5,419	5,739	5,614	5,670	5,723	5,676
姫路西消防署	4,845	4,821	4,822	4,868	4,940	5,412	5,332	5,377	5,467	5,530
飾磨消防署	5,093	5,165	5,129	5,129	5,254	5,888	5,817	5,910	5,934	5,932
網干消防署	2,233	2,146	2,258	2,261	2,279	2,475	2,450	2,445	2,469	2,468
中播消防署	1,822 (1,165)	1,802 (1,164)	1,833 (1,169)	1,908 (1,209)	1,956 (1,247)	2,155 (1,388)	2,135 (1,382)	2,160 (1,400)	2,223 (1,432)	2,241 (1,453)
合 計	19,263 (1,165)	19,107 (1,164)	19,265 (1,169)	19,410 (1,209)	19,848 (1,247)	21,669 (1,388)	21,348 (1,382)	21,562 (1,400)	21,816 (1,432)	21,847 (1,453)

※ ()内は受託町(内数)

5 消防法等違反の実態と措置状況

(令和6年度)

区分	違反対象物数	指示件数
警告件数	3	16
命令件数	0	0

6 指定査察対象物の立入検査等実施状況

消防法第4条の規定により、あらゆる仕事場、工場若しくは公衆の出入りする場所その他関係のある場所に立ち入って、防火対象物の位置、構造、設備及び管理の状況を検査し、火災予防上の法令違反及びその他の不備欠陥事項について、関係者に対して是正指導等を行っています。

用 途 別		査 察 区 分		合 計		特種査察対象物				第1種査察対象物				第2種査察対象物				第3種査察対象物				第4種査察対象物				第5種査察対象物		(令和6年度中)			
						対象数	立入検査等数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数	違反対象数	指示件数	対象数	立入検査数		違反対象数	指示件数	対象数
1	イ	劇場・映画館・演芸場	21,847	2,729	1,232	2,614	870	223	93	320	1,116	402	157	413	2,614	224	106	286	4,941	678	334	748	8,369	1,119	542	847	3,937	83			
			5	1	1	3	-	-	-	-	4	1	1	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			18	4	3	23	-	-	-	-	13	2	2	21	-	-	-	-	1	-	-	-	4	2	1	2	-	-			
			300	78	25	40	2	-	-	-	65	12	6	17	-	-	-	-	160	47	12	14	71	17	7	9	2	2			
			7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-			
			55	9	4	8	-	-	-	-	27	7	3	7	-	-	-	-	12	-	-	-	16	2	1	1	-	-			
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			16	3	1	3	15	3	1	3	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			9	1	1	4	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1	4	-	-	-	-	
			879	202	150	274	19	3	2	7	25	3	2	3	-	-	-	-	134	32	24	59	698	164	122	205	3	-	-	-	
2	ロ	公会堂・集会場	1,048	332	154	272	19	4	2	3	319	126	64	150	-	-	-	-	165	53	25	45	539	149	63	74	6	-			
			235	100	30	101	235	100	30	101	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			200	9	5	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	4	4	8	9	1	1	1	93	4		
			4,772	193	88	228	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1,657	135	76	207	235	42	12	21	2,878	16		
			47	8	3	14	38	8	3	14	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
			347	62	34	49	30	1	-	1	36	1	1	5	-	-	-	-	77	15	8	10	203	45	25	33	1	-	-		
			253	47	22	96	250	47	22	96	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
			661	139	52	95	100	15	9	23	104	19	8	19	-	-	-	-	173	47	14	20	283	58	21	33	1	-	-		
			80	22	3	7	-	-	-	-	12	7	2	5	-	-	-	-	39	5	1	2	29	10	-	-	-	-	-	-	
			13	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
3	イ	小学校	291	20	11	24	-	-	-	-	1	-	-	-	174	12	6	18	55	-	-	-	50	8	5	6	11	-	-		
			180	12	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	90	4	1	1	48	4	-	-	36	2	-	-	6	2	-		
			119	16	8	11	-	-	-	-	-	-	-	-	69	9	4	6	24	3	2	3	26	4	2	2	-	-	-		
			75	3	1	1	-	-	-	-	2	2	1	1	44	1	-	-	19	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-		
			62	6	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	41	4	1	2	10	1	1	3	11	1	1	1	-	-	-		
			20	6	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	12	4	3	2	4	1	-	-	1	1	1	1	1	3	-	-	
			1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			13	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	8	1	1	4	3	-	-	
			16	1	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	6	1	1	1	5	-	-	-	3	-	-	
			22	8	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2	1	-	-	13	6	2	3	6	-	-	
4	ロ	寺院・教会の類	187	47	20	22	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	25	5	4	5	136	39	16	17	6	3	-		
			3,014	313	153	343	-	-	-	-	-	-	-	-	1,008	105	58	159	625	91	44	108	1,320	110	51	76	61	7	-		
			2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			474	33	16	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	2	2	3	168	19	10	21	221	10	4	9	69	2	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			2,459	252	95	155	-	1	-	-	451	29	8	19	479	69	34	57	-	-	-	-	1,332	129	53	79	197	24	-	-	
			1,253	75	27	58	-	-	-	-	216	7	4	16	121	8	2	3	753	55	21	39	753	55	21	39	163	5	-	-	
			137	27	8	13	-	-	-	-	33	4	2	2	44	11	3	4	57	11	3	7	57	11	3	7	3	1	-	-	
			67	4	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	23	3	-	-	19	1	-	-	
			128	15	1	12	-	-	-	-	53	1	-	11	9	3	-	-	-	-	-	-	59	11	1	1	7	-	-	-	
5	イ	特定複合用途防火対象物	1,753	195	58	106	-	-	-	-	-	-	-	-	224	27	8	20	176	34	7	14	988	119	43	72	365	15	-		
			1,716	269	181	493	159	41	24	72	328	67	37	148	6	1	1	1	458	74	53	148	761	86	66	124	4	-	-		
			752	70	37	66	-	-	-	-	9	9	3	3	147	13	7	25	122	15	9	15	447	32	18	23	27	1	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			141	142	25	29	-	-	-	-	141	142	25	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
18	ロ	延長50m以上のアーケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

8 中高層建築物・地下を有する建築物の状況

階 別 用 途 別			地 上 階															
			合計	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階		
総 計			3,026	1,188	724	351	181	169	111	139	68	23	24	21	27	-		
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	イ	観 覧 場	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	11	6	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ンス ホール	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	飲 食 店	40	23	6	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		店 舗 ・ 展 示 場	42	26	12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	47	13	9	5	4	3	4	1	3	2	-	2	1	-		
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿	47	23	20	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-		
	ロ	共 同 住 宅	1,325	317	322	163	95	101	75	117	57	14	23	16	25	-		
6	イ	病 院	36	12	11	10	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-		
	イ	診 療 所	24	16	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 等	39	22	9	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ハ	老人デイサービスセンター等	7	5	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	ニ	幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ニ	特 別 支 援 学 校	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7		小 学 校	60	58	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		中 学 校	23	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		高 等 学 校	26	20	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		大 学	20	10	3	3	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-		
		各 種 学 校	31	16	5	4	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-		
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	イ 以 外 の 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10		車 両 の 停 車 場 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11		神 社	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		寺 院 ・ 教 会 の 類	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	118	74	21	12	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16	10	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14		倉 庫	44	35	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15		事 務 所	222	117	49	22	12	13	5	3	1	-	-	-	-	-		
		銀 行 ・ 信 用 金 庫 等	21	8	3	2	-	4	2	-	-	2	-	-	-	-		
		発 電 所 ・ 変 電 所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		官 公 署	20	10	5	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
		そ の 他	67	36	15	8	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-		
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	477	183	142	61	34	31	12	5	4	1	1	2	1	-		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	238	110	59	27	12	9	5	9	3	3	-	1	-	-		
16の2		地 下 街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
16の3		準 地 下 街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
17		文 化 財	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
18		延 長 5 0 m 以 上 の アーケード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(令和6年度末現在)

地上階合計のうち地階を有するもの			
合計	地下 1 階	地下 2 階	地下 3 階
290	278	11	1
1	1	-	-
2	1	1	-
2	2	-	-
-	-	-	-
3	3	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
10	10	-	-
-	-	-	-
9	9	-	-
16	16	-	-
-	-	-	-
42	42	-	-
6	5	1	-
2	2	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
2	2	-	-
1	1	-	-
9	9	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
3	3	-	-
6	6	-	-
-	-	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-
3	3	-	-
-	-	-	-
3	3	-	-
6	5	1	-
103	96	6	1
18	18	-	-
-	-	-	-
1	1	-	-
-	-	-	-

9 防火対象物使用開始検査の状況

総経路市火災予防条例第52条の規定により、新たに防火対象物を使用しようとする者から届出があった場合には、使用開始検査を実施し、火災予防上の法令違反及びその他の不備欠陥事項について、関係者に対して是正指導等を行っています。

用途別区分		総計										姫路東消防署										姫路西消防署										飾磨消防署										網干消防署										中播消防署										受託町（中播消防署）										(令和6年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
用途別	区分	総計	特種1種	2種	3種	4種	5種	合計	特種1種	2種	3種	4種	5種	合計	特種1種	2種	3種	4種	5種	合計	特種1種	2種	3種	4種	5種	合計	特種1種	2種	3種	4種	5種	合計	特種1種	2種	3種	4種	5種	合計	特種1種	2種	3種	4種	5種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
総計		376	32	41	37	56	149	61	103	10	17	12	11	39	14	86	9	8	9	20	30	10	99	6	12	8	12	36	25	45	3	2	3	4	24	9	43	4	2	5	9	20	3	31	3	2	4	5	14	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
イ劇場・映画館・演芸場		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ロ公会堂・集会場		6	-	1	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ロ音楽・演芸・スポーツ・ホール		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ロ遊技場・ダンスホール		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

10 防火管理者・消防計画を必要とする防火対象物の届出状況

(令和6年度)

用 途 別			防火管理義務 対象物数	防火管理者選任対象物数		消防計画届出対象物数	
					選任率		届出率
総 計			5,176	4,483	87%	4,399	85%
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場	2	2	100%	2	100%
	イ	観 覧 場	12	12	100%	12	100%
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	261	248	95%	243	93%
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	6	4	67%	4	67%
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	32	30	94%	30	94%
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	0	0	－	0	－
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	14	12	86%	12	86%
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	6	6	100%	5	83%
	ロ	飲 食 店	471	384	82%	368	78%
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	7	7	100%	7	100%
		店 舗 ・ 展 示 場	691	619	90%	609	88%
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	94	93	99%	93	99%
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿	16	14	88%	14	88%
	ロ	共 同 住 宅	843	630	75%	628	74%
6	イ	病 院	33	33	100%	33	100%
	イ	診 療 所	58	54	93%	54	93%
	ロ	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 等	192	184	96%	183	95%
	ハ	老人デイサービスセンター等	233	227	97%	227	97%
	ニ	幼 稚 園	31	31	100%	31	100%
	ニ	特 別 支 援 学 校	4	4	100%	4	100%
7		小 学 校	79	78	99%	78	99%
		中 学 校	38	38	100%	38	100%
		高 等 学 校	21	21	100%	21	100%
		大 学	6	6	100%	6	100%
		各 種 学 校	39	35	90%	34	87%
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館	11	11	100%	11	100%
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	1	1	100%	1	100%
	ロ	イ 以 外 の 浴 場	5	3	60%	3	60%
10		車 両 の 停 車 場 等	0	0	－	0	－
11		神 社	7	6	86%	6	86%
		寺 院 ・ 教 会 の 類	86	67	78%	65	76%
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	210	199	95%	196	93%
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	0	0	－	0	－
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	4	4	100%	4	100%
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	－	0	－
14		倉 庫	39	36	92%	36	92%
15		事 務 所	165	140	85%	135	82%
		銀 行 ・ 信 用 金 庫 等	65	63	97%	63	97%
		発 電 所 ・ 変 電 所	3	3	100%	3	100%
		官 公 署	40	40	100%	40	100%
		そ の 他	246	213	87%	206	84%
16	イ	特定複合用途防火対象物	965	818	85%	790	82%
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	125	92	74%	89	71%
16の2		地 下 街	1	1	100%	1	100%
16の3		準 地 下 街	0	0	－	0	－
17		文 化 財	14	14	100%	14	100%
18		延長50m以上のアーケード	0	0	－	0	－

11 消防同意等の推移

区分 \ 年度	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
消防同意	903 (48)	896 (41)	895 (4)	871 (45)	770 (50)	719 (44)	699 (41)	753 (36)	679 (19)	635 (22)
計画通知	39 (1)	37 (-)	24 (-)	33 (-)	32 (-)	36 (1)	24 (-)	25 (-)	27 (2)	26 (1)

※ ()内は受託町(内数)

12 民間防火組織等の指導育成状況

保育園、幼稚園、学校、事業所等に対し、消火・通報・避難訓練の実施に立ち会い、訓練指導を実施しています。

区分 \ 年度	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
実施対象数	76	86	154	215	220
実施人数	4,810	7,161	15,410	19,192	20,836

13 自主防災組織の結成状況

自主防災組織は、水害、地震等の災害から地域を守るため、自治会が主体となり自主的に結成された組織です。平常時は防火防災知識の習得や訓練を実施し、災害時には地域が一体となって、人命や財産等の被害の軽減にあたります。

令和7年4月1日現在、780組織が結成されています。

全自治会数は924で、複数の自治会が合同で結成している地域もあり結成率は100%です。

(令和7年4月1日現在)			
署別	地区	結成組織数	結成自治会数
合計	72	780	924
小計	20	275	291
姫路東消防署	城東	23	23
	東	26	26
	城巽	23	31
	城南	18	18
	野里	26	29
	城北	17	17
	城乾	8	8
	広峰	12	12
	水上	12	12
	増位	12	12
	花田	9	9
	別所	9	9
	御国野	6	6
	四郷	11	11
	谷内	9	9
	谷外	11	11
	砥堀	5	5
	豊富	22	27
	山田	7	7
	船津	9	9
小計	18	236	238
姫路西消防署	船場	38	38
	城西	32	32
	安室	5	5
	安室東	7	7
	高岡	17	17
	高岡西	14	14
	荒川	15	15
	手柄	9	9
	城陽	15	15
	曾左	18	18
	白鳥	10	10
	青山	10	10
	峰相	6	6
	太市	8	8
	林田	14	14
署	伊勢	1	3
	安富南	13	13
	安富北	4	4

(令和7年4月1日現在)			
署別	地区	結成組織数	結成自治会数
小計	16	131	239
飾磨消防署	高浜	14	14
	飾磨橋東	10	10
	飾磨橋西	10	10
	津田	4	4
	英賀保	20	20
	広畑	11	11
	広畑第二	13	13
	八幡	23	23
	妻鹿	1	17
	白浜	3	38
消防署	八木	1	10
	糸引	1	6
	的形	12	12
	大塩	4	4
	家島	3	31
	坊勢	1	16
小計	8	55	72
網干消防署	大津	6	6
	南大津	5	5
	大津茂	11	13
	網干	5	17
	網干西	4	7
	旭陽	10	10
	勝原	10	10
署	余部	4	4
小計	10	83	84
中播消防署	置塩	10	11
	古知	6	6
	前之庄	9	9
	山之内	8	8
	菅生	15	15
	上菅	6	6
	筋野	4	4
	中寺	11	11
	香呂	10	10
	香呂南	4	4

全自治会数 924 (結成率 100%)			
-------------------------	--	--	--

《自主防災組織の訓練回数の推移》

地域で行う防災訓練は、自主防災組織における活用を中心のひとつです。自主防災組織が適正に活動できるよう消火、避難通報、器具取扱、応急手当訓練指導をはじめ、講習会、映画会、施設見学会の研修を積極的に進めています。

(令和7年3月末)

年度	対象数	参加人員	訓 練										研 修		その他
			消火訓練	消火栓取扱訓練	避難訓練	救出訓練	応急処置訓練	情報連絡訓練	心肺蘇生法	炊出し訓練	避難所運営訓練	災害図上訓練	防災ビデオ映画会	防災講習	
令和2年	277	5,740	83	41	108	1	44	1	32	102	114	6	14	92	62
			2,737	2,224	2,049	18	628	100	588	1,695	1,248	123	158	859	1,211
令和3年	524	8,294	161	49	112	1	68	14	85	80	111	80	42	56	135
			4,270	2,486	2,448	11	1,478	230	1,649	1,401	972	346	563	725	813
令和4年	654	15,750	246	80	384	98	108	2	197	204	298	24	47	133	198
			8,806	4,343	8,990	2,560	2,102	280	4,285	3,773	2,603	160	1,120	3,771	3,484
令和5年	753	21,560	127	91	54	8	27	6	60	39	13	2	18	25	45
			13,006	6,711	9,874	1,535	4,405	1375	7,050	5,098	2,639	75	1,389	3,326	6,595
令和6年	730	20,683	380	191	337	39	97	22	217	219	162	8	87	262	199
			12,067	7,325	9,385	1,130	2,887	1760	5,229	6,926	3,106	54	1,118	4,250	5,968

※訓練、研修及びその他欄について、年度毎の上段は延べ実施回数、下段は延べ参加人数。

危 險 物

1 危険物事務の処理状況

(令和6年度)

区 分				製 造 所 等			
				合 計	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所
合 計				2,091	328	800	963
許 可	設 置 変 更			44	－	36	8
				394	80	142	172
検 査	設 置 完 成 変 更 完 成 保 安			29	－	23	6
				340	71	107	162
				－	－	－	－
届 出	保 安 監 督 者 品 名 数 量 廃 止 そ の 他			272	8	164	100
				80	6	49	25
				30	－	20	10
				546	87	171	288
認 可	予 防 程 制 定 規 程 変 更		1	－	－	1	
			38	2	1	35	
仮 使 用 承 認				317	74	87	156

2 完成検査前検査の状況

(令和6年度)

水 圧 検 査	38	基 礎 ・ 地 盤	－
水 張 検 査	50	溶 接 部	2

3 仮貯蔵・仮取扱承認件数の状況

(令和6年度)

仮 貯 蔵	431	仮 取 扱	40
-------	-----	-------	----

4 危険物施設の状況

(令和6年度)

署 別 施設区分	合 計	姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中 播 消防署	
合 計	2,089	287	245	733	486	338	(282)
製 造 所	45	1	3	4	29	8	(8)
屋 内 貯 蔵 所	327	72	53	91	51	60	(51)
屋外タンク貯蔵所	461	10	23	172	191	65	(62)
屋内タンク貯蔵所	22	3	3	10	5	1	(1)
地下タンク貯蔵所	212	47	37	50	16	62	(50)
簡易タンク貯蔵所	3	－	－	1	－	2	(－)
移動タンク貯蔵所	314	50	30	141	65	28	(19)
屋 外 貯 蔵 所	60	5	15	12	12	16	(16)
給 油 取 扱 所	282	64	40	98	29	51	(36)
販 売 取 扱 所	17	5	11	1	－	－	(－)
移 送 取 扱 所	7	－	－	3	4	－	(－)
一 般 取 扱 所	339	30	30	150	84	45	(39)

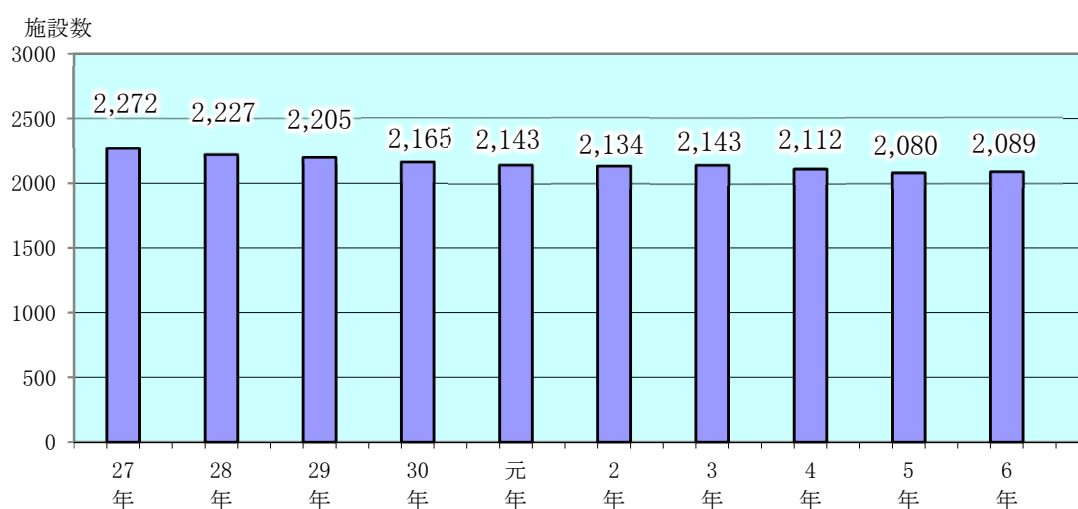
※ ()内は受託町(内数)

5 危険物施設の推移

(令和6年度)

年度 署別	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
姫路東消防署	280	292	289	289	281	280	284	280	275	287
姫路西消防署	271	262	250	243	243	248	257	256	253	245
飾磨消防署	831	797	793	779	765	757	748	735	720	733
網干消防署	508	508	510	498	504	504	504	497	490	486
中播消防署	382 (325)	368 (314)	363 (307)	356 (305)	350 (299)	345 (296)	350 (297)	344 (291)	342 (285)	338 (282)
合 計	2,272 (325)	2,227 (314)	2,205 (307)	2,165 (305)	2,143 (299)	2,134 (296)	2,143 (297)	2,112 (291)	2,080 (285)	2,089 (282)

※ ()内は受託町(内数)



6 危険物施設立入検査実施状況

(令和6年度)

区 分	立入検査計画数	立入検査施設数
合 計	1,353	1,460
製 造 所	45	42
屋 内 貯 蔵 所	187	219
屋外タンク貯蔵所	369	389
屋内タンク貯蔵所	13	10
地下タンク貯蔵所	106	122
簡易タンク貯蔵所	1	1
移動タンク貯蔵所	113	137
屋 外 貯 蔵 所	44	48
給 油 取 扱 所	155	202
販 売 取 扱 所	10	11
移 送 取 扱 所	7	7
一 般 取 扱 所	303	272

実施率

107.9%

7 特定・準特定屋外タンクの容量別・品名別状況

(令和6年度)

容 量	品 名	合計	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	アルコール類	その他
合 計		95	－	－	3	2	2	5	8	75
準特定屋外タンク	計	51	－	－	1	1	－	4	3	42
500kL以上	1,000kL未満	51	－	－	1	1	－	4	3	42
特定屋外タンク	計	44	－	－	2	1	2	1	5	33
1,000kL以上	5,000kL未満	36	－	－	2	1	2	1	2	28
5,000kL以上	10,000kL未満	6	－	－	－	－	－	－	1	5
10,000kL以上	50,000kL未満	2	－	－	－	－	－	－	2	－
50,000kL以上	70,000kL未満	－	－	－	－	－	－	－	－	－

8 特定事業所の危険物等貯蔵取扱量の状況

(令和6年度)

区 分	石 油 の 貯蔵取扱量 (kL)	高圧ガスの 処 理 量 (Nm ³)	第4類危険物 (石油以外) 貯蔵取扱量 (kL)	第4類以外 危 険 物 貯蔵取扱量 (t・kL)
合 計	255,458	111,241,264	115,265	5,061
第1種事業所	236,685	110,520,285	25,757	5,050
第2種事業所	18,773	720,979	89,508	11

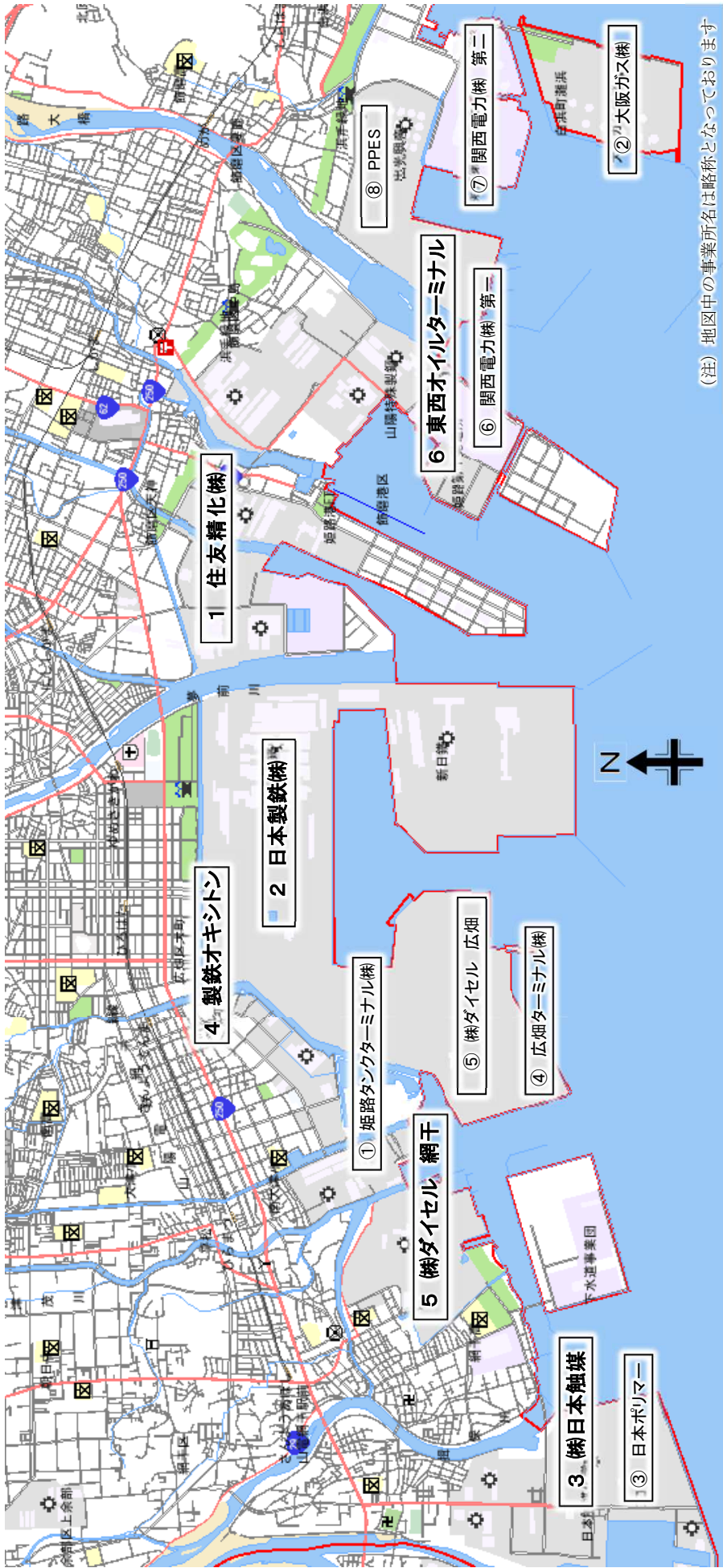
区 分	可燃性固体等		高圧ガス以外 の可燃性ガス (Nm ³)	毒 物		劇 物	
	固 体 (t)	液 体 (m ³)		石災法 (t)	毒劇法 (t)	石災法 (t)	毒劇法 (t)
合 計	23,750	680	61,570,798	7	270	371	102,287
第1種事業所	23,663	580	605,910	7	269	61	30,454
第2種事業所	87	100	60,964,888	－	1	310	71,833

9 特定事業所の危険物施設の状況

(令和6年度)

区 分	合 計	第1種事業所	第2種事業所
合 計	498	388	110
製 造 所	32	29	3
屋 内 貯 蔵 所	52	35	17
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	262	208	54
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4	－	4
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	－
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	－	－	－
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	2	2	－
屋 外 貯 蔵 所	7	4	3
給 油 取 扱 所	3	3	－
販 売 取 扱 所	－	－	－
移 送 取 扱 所	7	3	4
一 般 取 扱 所	128	103	25

10 姫路臨海地区特別防災区域の現況(令和7年4月1日現在)



特定事業所名

第 1 種 事 業 所	
1	住友精化(株) 姫路工場
2	日本製鉄(株) 瀬戸内製鉄所 広畑地区
3	(株) 日本触媒 姫路製造所
4	製鉄オキシル姫路製造所 広畑工場
5	(株) ダイセル 網干工場
6	東西オイルターミナル(株) 姫路油槽所
その他	

第 2 種 事 業 所	
①	姫路ターミナル(株)
②	大阪ガス(株) 姫路製造所
③	日本ポリマー(株) 工業(株)
④	広畑ターミナル(株)
⑤	(株) ダイセル 製造所 広畑工場
⑥	(株) 関西電力 第一発電所
⑦	(株) 関西電力 第二発電所
⑧	プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)

11 危険物防災体制の推進状況

名 称	設置年月日	推 進 事 項 等
姫路化学消火薬剤 共同備蓄事業会	昭和43年 4月 9日	油火災等特殊災害に備え、多量の消火薬剤が迅速に集中できるよう、関係22事業所が共同して薬剤を備蓄し、有事に対処できる体制を確保しています。
災 害 防 止 協 定	昭和50年10月 6日	事業所の防災体制の整備促進、大規模災害の予防及び拡大防止、地域住民の安全確保を目的として、姫路市と関係事業所とが個別に協定を締結、防災体制の確立を期しています。 ・関西電力㈱〔姫路第一・姫路第二〕 ・住友精化㈱姫路工場 ・日本製鉄㈱瀬戸内製鉄所 広畑地区 ・㈱ダイセル 姫路製造所網干工場 ・㈱ダイセル 姫路製造所広畑工場 ・㈱日本触媒姫路製造所
L N G 基地建設に伴う災害防止協定	昭和51年10月 4日 昭和55年12月17日	姫路液化天然ガス基地の建設及び操業するにあたり、災害の発生及び拡大を防止するため、姫路市と基地事業所が災害防止協定を締結しています。 ・関西電力㈱ ・大阪ガス㈱
姫路臨海地区 防災協議会	昭和52年 4月 1日	姫路臨海地区特別防災区域に係る保安、防災に関し協議、連絡、研究等を行い、災害の発生及び拡大の防止を図るため、14特定事業所が加入、有事に対処しています。
特定事業所間の 相互応援協定	昭和52年 4月 1日	特定防災区域内に所在する14事業所で、消防業務等相互応援に関し協定を締結、消防連絡会議等によって協力体制を確立しています。
大阪湾・播磨灘 排出油等防除協議会	平成16年 4月 1日	大阪湾・播磨灘において大量の油が排出した場合の防除活動に必要な事項を協議し、かつ、その実施を推進することを目的として設立され加入しています。

消 防 団

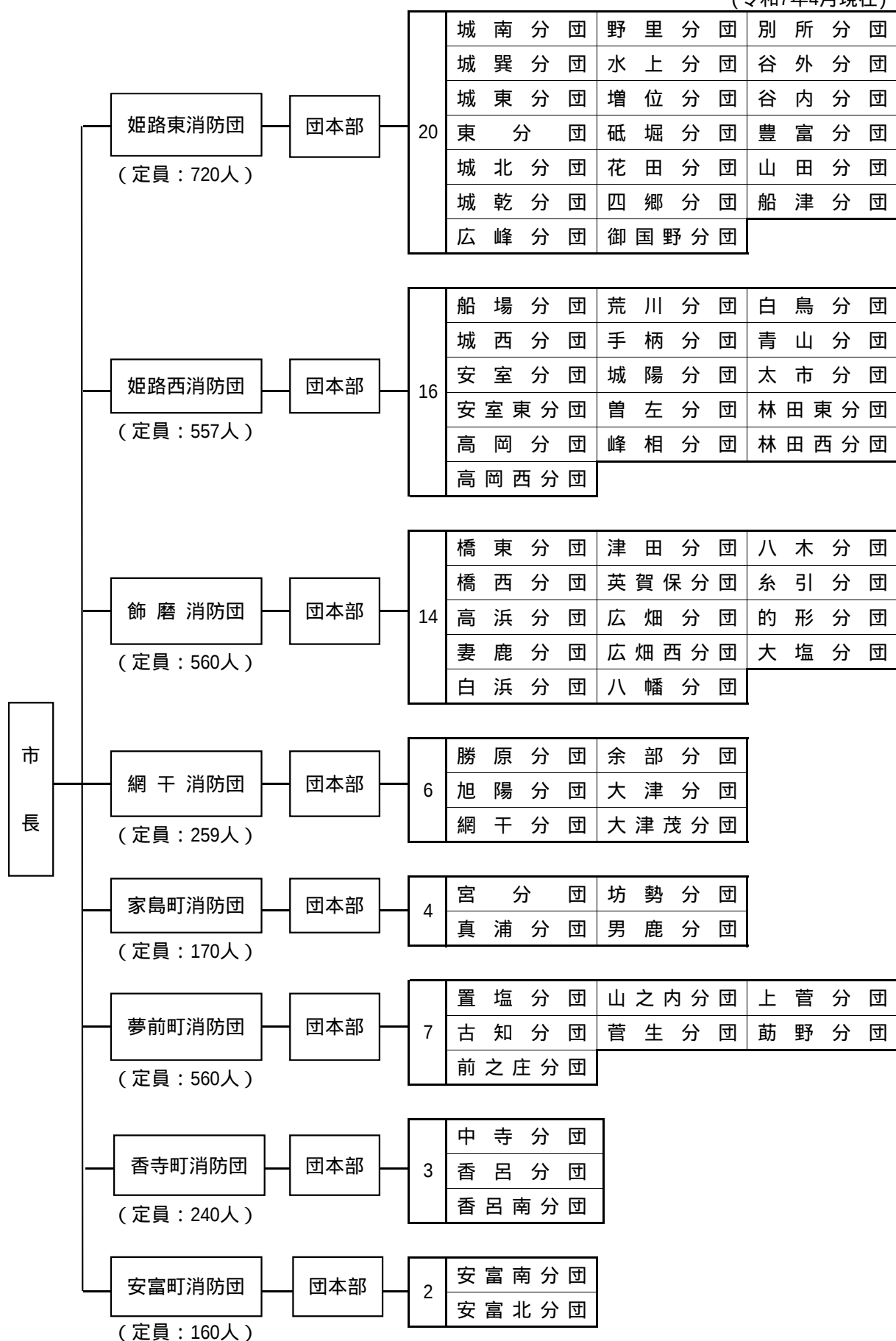
1 消防団の沿革

- 明治17年 3月 ・ 船場本徳寺に私設寺消防組が発足した。人員80人
28年 1月 ・ 消防組規則【明治27年2月勅令第15号】公布により、私設寺消防をそのまま移管、公設姫路消防組として発足した。
- 45年 4月 ・ 飾磨郡国衛村（京口付近）及び市殿村（京口付近）の各一部が編入、5部制とした。
- 大正14年 4月 ・ 飾磨郡城北村の合併により、7部制とした。
- 昭和 8年 1月 ・ 姫路消防組常備部を設置した。
- 8年 4月 ・ 飾磨郡水上村、神崎郡砥堀村の合併により、それぞれ組制とした。
- 10年10月 ・ 飾磨郡城南村、同高岡村の合併により、それぞれ組制とした。
- 11年 4月 ・ 飾磨郡安室村、同荒川村、同手柄村の合併により、それぞれ消防組を設け9組とした。
- 14年 4月 ・ 警防団令【昭和14年1月勅令第20号】公布に伴い、消防組と自治防護団が合併、警防団と改称、組制を廃止して分団制とし、13分団を設け、姫路市本町85番地、姫路警察署内に警防団本部を設置した。
- 21年 3月 ・ 飾磨市、飾磨郡白浜町、同広畑町、揖保郡網干町、同大津町、同勝原町、同余部村が合併、警防団を7団制とした。
- 22年10月 ・ 消防団令【昭和22年5月勅令第185号】公布に伴い、旧市内警防団と上記1市5町1村の合併地域の消防団を改編改組した。1市1団制とし、姫路市消防団と改め、旧市に15分団、旧飾磨市に7分団、旧網干町に3分団、旧白浜町、旧勝原町、旧余部村に各1分団を設け、計29分団、団員3,345人の県下最大の消防団とした。
- 23年 3月 ・ 消防団令により警察署長の管轄から、消防長又は消防署長の所轄の下に行動することとなり、団本部を消防本部内に移転した。
- 23年 7月 ・ 消防組織法の一部改正（昭和23年法令第187号）により、消防団は同法に根拠をおき、消防団令は廃止された。
- 25年 7月 ・ 消防委員会で審議の結果、3,345人の団員を2,000人に減員した。
- 25年 9月 ・ 水防法の公布により、洪水、高潮等の水害から住民を守るため、消防団をもって当たることとし、第1回水防訓練を実施、以後毎年水防訓練を実施することにした。
- 26年 4月 ・ 広畑分団から八幡分団が分離、30分団、団員数2,000人とした。
- 29年 7月 ・ 飾磨郡八木村、同糸引村、同余部村、同曾左村、揖保郡太市村の合併に伴い、5分団480人を加え、35分団、団員数2,480人とした。
- 32年10月 ・ 飾磨郡四郷村、同花田村、同御国野村、印南郡別所村の合併に伴い、4分団355人を加え、39分団、団員数2,835人とした。
- 33年 1月 ・ 飾磨郡飾東村、印南郡的形村、神崎郡神南村の合併に伴い、飾東、豊富、山田、船津、的形の5分団435人を加え、44分団、団員数3,270人とした。
- 34年 4月 ・ 印南郡大塩村の合併に伴い、1分団100人を加え、45分団、団員数3,370人とした。
- 40年 4月 ・ 消防団事務を消防局に移管し、姫路東、姫路西、飾磨、網干の支部制を設けた。
- 42年 3月 ・ 揖保郡林田町の合併に伴い、林田東120人、林田西120人の2分団を加え、47分団、団員数3,610人とした。
- 44年 4月 ・ 従来の1市1団制を1市4団【姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団、網干消防団】制とし、広畑分団から広畑西分団を分離して、48分団、団員数3,610人とした。
- 45年 6月 ・ 飾東分団を谷内分団、谷外分団に分割、49分団、団員数3,610人とした。
・ 団本部の定員【団長1・副団長2・分団長1・部長2】を定めた。
- 48年 9月 ・ 城北分団から広峰分団を分離して、50分団、団員数3,610人とした。
- 49年 4月 ・ 港分団を橋西分団に吸収して、49分団、団員数3,610人とした。
- 50年 4月 ・ 飾西分団を名称変更、白鳥分団に改めた。
- 51年 4月 ・ 姫路市消防審議会条例を制定し、消防審議会を設置した。

- 昭和51年 5月 ・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置は如何にあるべきか」について諮問した。
- 52年 2月 ・「姫路市非常備消防の適正規模、適正配置」に関して、姫路市消防審議会から答申された。
- 53年 4月 ・姫路市消防審議会から答申に基づく姫路市消防団適正化実施計画により、消防団条例及び同規則を改正し、組織、団員報酬等及び施設整備を整備することにした。
- 54年 4月 ・上記に基づき消防団定員3,610人を3,251人とした。
- 55年 4月 ・安室分団から安室東分団を分離して、50分団、団員数3,251人とした。
- 56年 6月 ・姫路西消防署の新設に伴い、姫路西消防団本部を同署内に移転した。
- 60年 6月 ・姫路市消防審議会から答申に基づき姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,096人を目標に3年間で減員することにした。
- 60年 9月 ・消防団員教育の指針を示すため、姫路市消防団員教育訓練実施要綱を定めた。
- 60年10月 ・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員3,251人から2,870人とした。
- 61年10月 ・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,870人から2,486人とした。
- 62年10月 ・姫路市消防団条例及び同規則を改正し、消防団定員2,486人から2,096人とした。
- 平成 5年 4月 ・姫路市消防団適正化実施計画を一部改正し、定数、施設、装備等の見直しをすることにした。
- 7年 4月 ・網干消防団に大津茂分団を新設して、51分団、団員数2,096人とした。
- 8年 4月 ・姫路西消防団に高岡西分団を新設して、52分団、団員数2,096人とした。
- 9年 7月 ・消防団員福祉共済制度に加入した。(消防団員全員)
- 10年 4月 ・姫路西消防団に峰相分団、青山分団を新設して、54分団、団員数2,096人とした。
- 11年 6月 ・姫路市消防団活性化研究会要綱を制定し、消防団活性化研究会を設置した。
- 12年12月 ・姫路市消防団活性化推進研究会要綱を制定し、消防団活性化推進研究会を設置した。
- 13年 4月 ・姫路東消防団に増位分団を新設して、55分団、団員数2,096人とした。
- 14年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の定年を定めた。
- 16年 4月 ・姫路東消防団に城乾分団を新設して、56分団、団員数2,096人とした。
- 18年 3月 ・家島町、夢前町、香寺町、安富町の合併に伴い、4団80分団1,742人を加え、8団136分団3,838人とした。
- 19年 9月 ・姫路市消防団協力事業所表示制度交付要綱を制定した。
- 20年 4月 ・夢前町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団104分団、団員数3,598人とした。
- 22年 4月 ・安富町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団91分団、団員数3,506人とした。
- 23年 4月 ・香寺町消防団の分団再編に伴い、姫路市消防団条例及び同規則を改正し8団72分団、団員3,226人とした。
- 24年 2月 ・姫路市消防団規則を改正し、姫路東消防団、姫路西消防団、飾磨消防団の団本部及び分団の一部の階級別定員を改めた。
- 24年 3月 ・姫路市の消防団制度の中で、初めて女性消防団員を採用した。(姫路東消防団5人、姫路西消防団5人、飾磨消防団5人)
- 28年 3月 ・姫路市消防団条例を改正し、消防団員の入団年齢と定年年齢を引き上げた。
- 29年 3月 ・姫路市消防団条例を改正し、市内在勤者の入団制度、休団制度等を設けた。
- 令和 4年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、年額の報酬を見直し、新たに災害出動報酬を支給することとした。
- 5年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、災害出動手当を引き上げた。
- 6年 4月 ・姫路市消防団条例を改正し、家島町消防団の報酬を見直した。

2 消防団の組織

(令和7年4月現在)



3 階級別の定員（8団72分団）

（令和7年4月現在）

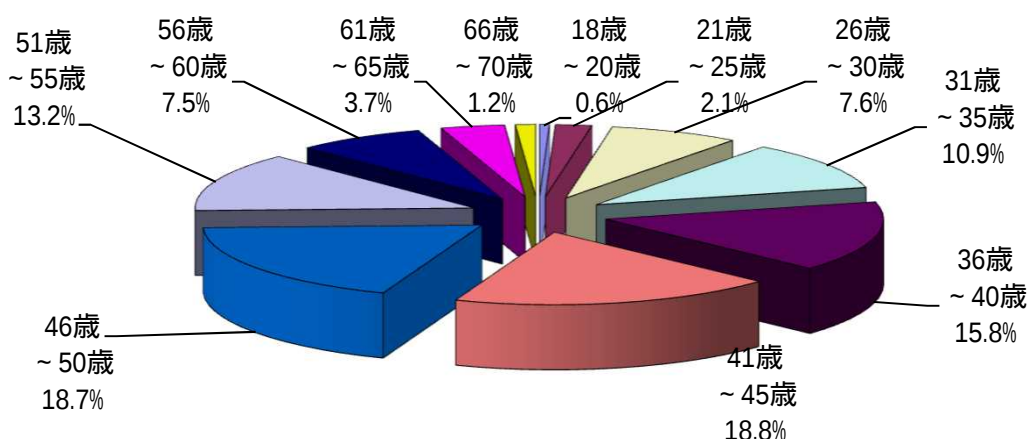
階級 分団名		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計		3,226	8	16	88	72	146	697	2,199
姫路東消防団	小 計	720	1	2	22	20	40	172	463
	団 本 部	10	1	2	2	-	-	-	5
	城 南	12	-	-	1	1	2	3	5
	城 巽	13	-	-	1	1	2	3	6
	城 東	26	-	-	1	1	2	7	15
	東	30	-	-	1	1	2	7	19
	城 北	18	-	-	1	1	2	4	10
	城 乾	19	-	-	1	1	2	4	11
	広 峰	20	-	-	1	1	2	5	11
	野 里	23	-	-	1	1	2	7	12
	水 上	26	-	-	1	1	2	6	16
	増 位	17	-	-	1	1	2	4	9
	砥 堀	42	-	-	1	1	2	10	28
	花 田	64	-	-	1	1	2	15	45
	四 郷	76	-	-	1	1	2	18	54
	御 国 野	40	-	-	1	1	2	10	26
	別 所	46	-	-	1	1	2	11	31
	谷 内	31	-	-	1	1	2	8	19
	谷 外	37	-	-	1	1	2	9	24
	豊 富	66	-	-	1	1	2	16	46
	山 田	46	-	-	1	1	2	11	31
姫路西消防団	小 計	557	1	2	18	16	32	139	349
	団 本 部	10	1	2	2	-	-	-	5
	船 場	26	-	-	1	1	2	6	16
	城 西	27	-	-	1	1	2	7	16
	安 室	27	-	-	1	1	2	7	16
	安 室 東	27	-	-	1	1	2	7	16
	高 岡	27	-	-	1	1	2	7	16
	高 岡 西	26	-	-	1	1	2	7	15
	荒 川	38	-	-	1	1	2	10	24
	手 柄	39	-	-	1	1	2	10	25
	城 陽	39	-	-	1	1	2	10	25
	曾 左	44	-	-	1	1	2	11	29
	峰 相	32	-	-	1	1	2	8	20
	白 鳥	27	-	-	1	1	2	7	16
	青 山	27	-	-	1	1	2	7	16
	太 市	45	-	-	1	1	2	11	30
	林 田 東	49	-	-	1	1	2	12	33
	林 田 西	47	-	-	1	1	2	12	31

階級 分団名		合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
小 計		560	1	2	16	14	28	135	364
飾磨消防団	団 本 部	10	1	2	2	-	-	-	5
	橋 東	40	-	-	1	1	2	10	26
	橋 西	38	-	-	1	1	2	10	25
	高 浜	39	-	-	1	1	2	9	26
	妻 鹿	39	-	-	1	1	2	9	25
	白 浜	40	-	-	1	1	2	10	26
	津 田	40	-	-	1	1	2	10	26
	英 賀 保	40	-	-	1	1	2	10	26
	広 畑	39	-	-	1	1	2	9	26
	広 畑 西	37	-	-	1	1	2	9	24
	八 幡	40	-	-	1	1	2	10	26
	八 木	39	-	-	1	1	2	9	26
	系 引	40	-	-	1	1	2	10	26
	的 形	39	-	-	1	1	2	10	25
	大 塩	40	-	-	1	1	2	10	26
網干消防団	小 計	259	1	2	8	6	14	64	164
	団 本 部	5	1	2	2	-	-	-	-
	勝 原	45	-	-	1	1	2	12	29
	旭 陽	51	-	-	1	1	2	13	34
	網 干	43	-	-	1	1	3	11	27
	余 部	38	-	-	1	1	2	10	24
	大 津	49	-	-	1	1	3	12	32
	大 津 茂	28	-	-	1	1	2	6	18
家島町消防団	小 計	170	1	2	6	4	8	38	111
	団 本 部	5	1	2	2	-	-	-	-
	宮	40	-	-	1	1	2	9	27
	真 浦	55	-	-	1	1	2	13	38
	坊 勢	55	-	-	1	1	2	13	38
夢前町消防団	男 鹿	15	-	-	1	1	2	3	8
	小 計	560	1	2	9	7	14	74	453
	団 本 部	5	1	2	2	-	-	-	-
	置 塩	74	-	-	1	1	2	11	59
	古 知	73	-	-	1	1	2	6	63
	前 之 庄	117	-	-	1	1	2	8	105
	山 之 内	45	-	-	1	1	2	8	33
	菅 生	100	-	-	1	1	2	19	77
	上 菅	73	-	-	1	1	2	14	55
	筋 野	73	-	-	1	1	2	8	61
香寺町消防団	小 計	240	1	2	5	3	6	55	168
	団 本 部	5	1	2	2	-	-	-	-
	中 寺	95	-	-	1	1	2	22	69
	香 呂	100	-	-	1	1	2	25	71
安富町消防団	香 呂 南	40	-	-	1	1	2	8	28
	小 計	160	1	2	4	2	4	20	127
	団 本 部	5	1	2	2	-	-	-	-
	安 富 南	115	-	-	1	1	2	15	96
安富町消防団	安 富 北	40	-	-	1	1	2	5	31

4 年齢別団員数

(令和7年4月現在)

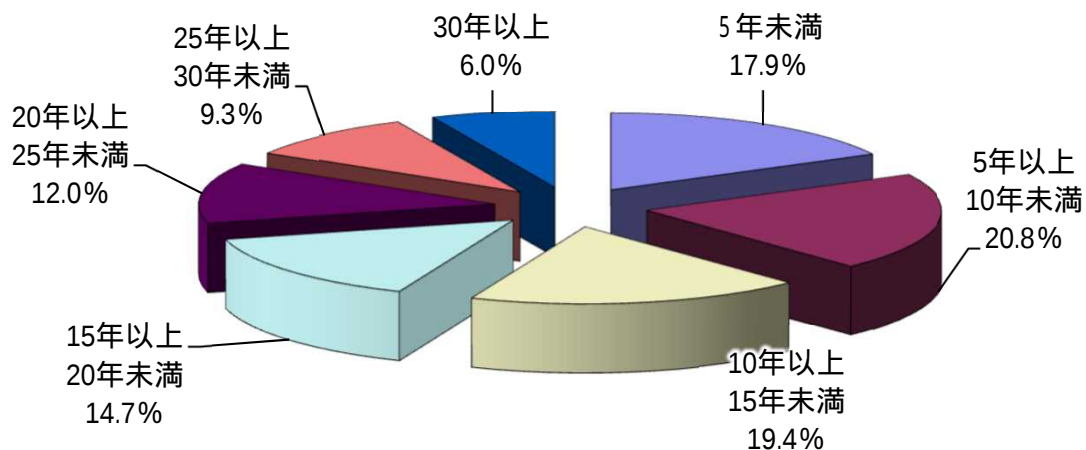
年齢 団名	合 計	18歳 ～ 20歳	21歳 ～ 25歳	26歳 ～ 30歳	31歳 ～ 35歳	36歳 ～ 40歳	41歳 ～ 45歳	46歳 ～ 50歳	51歳 ～ 55歳	56歳 ～ 60歳	61歳 ～ 65歳	66歳 ～ 70歳
合 計	2,804	16	59	212	306	442	528	524	370	210	104	33
姫路東消防団	637	4	10	48	70	88	101	110	98	61	35	12
姫路西消防団	508	4	9	19	25	60	83	113	93	60	34	8
飾 磨 消防団	538	-	7	28	61	89	87	85	97	56	22	6
網 干 消防団	256	2	3	32	33	56	45	36	20	20	6	3
家島町消防団	142	-	7	17	21	17	25	31	11	7	4	2
夢前町消防団	404	1	4	25	46	71	118	102	31	3	2	1
香寺町消防団	233	3	12	38	41	46	48	26	14	3	1	1
安富町消防団	86	2	7	5	9	15	21	21	6	-	-	-



5 在職年数別団員数

(令和7年4月現在)

年数 団名	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
合 計	2,804	485	579	513	413	357	267	190
姫路東消防団	637	153	130	102	96	68	40	48
姫路西消防団	508	72	120	86	78	62	49	41
飾 磨 消防団	538	93	106	102	66	73	51	47
網 干 消防団	256	60	64	55	26	20	23	8
家島町消防団	142	10	25	19	21	28	16	23
夢前町消防団	404	28	62	82	73	72	72	15
香寺町消防団	233	51	61	47	44	20	5	5
安富町消防団	86	18	11	20	9	14	11	3



6 報酬及び出動手当

消防団員の報酬及び出動手当は、「姫路市消防団条例」に基づき支給しています。

報 酬（年額）	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
姫路市消防団 (家島町除く)	88,400円	69,000円	50,500円	45,500円	37,000円	37,000円	36,500円
姫路市家島町消防団	154,000円	126,400円	126,400円	75,000円	75,000円	75,000円	75,000円
出 動 手 当	水 火 災 出 動 1人1回 4,000円を支給（家島町消防団は、6,000円） (7時間45分を超える場合、8,000円)						
	巡 回 広 報 1人1回 1,000円を支給						
	年 末 警 戒 業 務 1人1回 2,000円を支給						
	訓 練 1人1回 1,000円を支給（出初式・水防訓練等）						

7 公務災害補償等の発生状況の推移

消防団員等が公務により死亡し、又は負傷した場合、「姫路市消防団員等公務災害補償条例」により損害補償費を支給しています。

年 度 区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	区 分	受給者(人)
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員		
合 計	-	-	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2
消 火 活 動 中	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-
出 動 途 中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訓 練 中	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-	2	2
そ の 他	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
											合 計	2
											遺族補償 年 金	1
											障害補償 年 金	1

8 退職報償金の支給状況の推移

一定年数以上勤務した消防団員に対して、「姫路市消防団員退職報償金支給条例」に基づき退職報償金を支給しています。

年 度 区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
支給対象人員	185	133	123	98	156	121	221	100	143	124
(総退職者数)	(213)	(153)	(142)	(109)	(198)	(129)	(250)	(114)	(157)	(139)
支給金額(千円)	72,032	49,207	45,042	35,084	58,443	42,935	77,364	41,386	64,326	49,078

9 団員表彰の推移

消防団及び消防団員に対する表彰は、叙位、叙勲、褒章をはじめ、消防庁長官、県知事、市長及び団長の行う各種表彰のほか、日本消防協会長及び兵庫県消防協会長の行う各種の表彰制度が確立されています。（カッコ内数字は団体表彰数）

年 度 区 分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
叙 位 ・ 叙 勲 ・ 褒 章 等	5	7	4	2	4	6	4	4	5	5
消 防 庁 長 官 表 彰	5	(1)4	4	5	5	4	4	4	4	4
兵 庫 県 知 事 表 彰	21	(1)21	(1)21	24	21	26	28	29	30	32
日 本 消 防 協 会 長 表 彰	24	20	(1)19	(1)32	(1)32	36	36	35	(1)46	(1)39
兵 庫 県 消 防 協 会 長 表 彰	(1)94	105	(1)96	103	117	(1)112	(1)161	(2)123	(1)127	123
市 長 表 彰	(4)72	(4)71	(4)71	(4)85	(4)76	(4)92	(4)100	(4)89	(4)118	(5)90
団 長 表 彰	(14)207	(13)207	(13)207	(20)207	(13)207	(10)207	(6)207	(18)207	(19)207	(20)206

10 教養訓練の実施状況の推移

年度 区分	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
新入団員教養	193	177	162	147	138	146	246	122	230	236
幹部教養	71	72	72	72	72	—	36	69	67	64
県消防学校 (指揮幹部科)	16	16	16	14	16	8	—	16	16	16
局(署)合同訓練	3,320	2,467	2,693	3,164	2,465	145	713	1,258	3,074	2,029

11 消防ポンプ車庫及び消防ポンプ自動車の整備状況

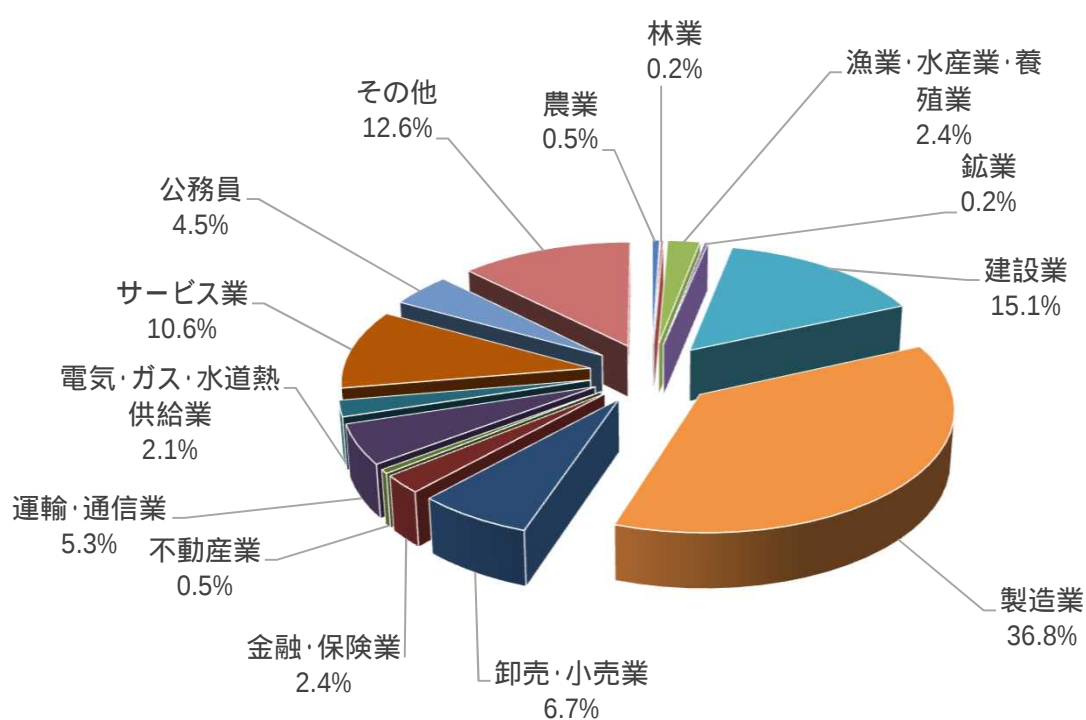
分団車庫(詰所)については、老朽化等を考慮し、計画的に改修や更新を進めています。
ポンプ自動車等については、耐用年数等を定め、計画的に更新しています。

区分 年度	消防ポンプ車庫	消防ポンプ自動車
S57年	1箇所(広畑西)	3台(白浜・津田・網干)
S58年	—	3台(豊富・太市・八幡)
S59年	1箇所(野里)	2台(船津・橋東)
S60年	3箇所(東・山田・船津)	2台(妻鹿・的形)
S61年	3箇所(城南・四郷・大塩)	3台(砥堀・山田・大塩)
S62年	2箇所(勝原・大津)	2台(橋西・広畑)
S63年	5箇所(城東・野里・水上・別所・白浜) 野里については更新	3台(水上・四郷・手柄)
H元年	1箇所(御国野)	4台(御国野・別所・高浜・八木)
H2年	1箇所(林田東)更新	3台(東・城北・広畑西)
H3年	3箇所(高浜・城北・大津) 大津については更新	3台(花田・船場・英賀保)
H4年	2箇所(城巽・高岡)	2台(野里・余部)
H5年	—	6台(城巽・城南・城東・城西・林田東・勝原)
H6年	2箇所(安室・大津茂)	7台(広峰・安室・城陽・白鳥・林田西・大津・大津茂)
H7年	3箇所(花田・砥堀・高岡西)	6台(谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・旭陽)
H8年	2箇所(城西・橋東)	3台(高岡・荒川・曾左)
H9年	2箇所(青山・峰相)	5台(網干・白浜・津田・青山・峰相)
H10年	2箇所(荒川・妻鹿)	3台(豊富・太市・八幡)
H11年	2箇所(英賀保・広畑)	2台(船津・橋東)
H12年	2箇所(増位・余部)	3台(増位・妻鹿・的形)
H13年	2箇所(手柄・津田)	3台(砥堀・山田・大塩)
H14年	2箇所(橋西・網干)	2台(橋西・広畑)
H15年	2箇所(城乾・曾左)	4台(城乾・水上・四郷・手柄)
H16年	1箇所(船場)	4台(御国野・別所・高浜・八木)
H17年	1箇所(白鳥)	3台(東・城北・広畑西)
H18年	—	6台(花田・船場・英賀保・野里・余部・宮)
H19年	3箇所(前之庄・山之内・蒔野)	8台(城南・城巽・城東・城西・林田東・前之庄・山之内・蒔野)
H20年	3箇所(置塩・古知・上菅)	7台(広峰・勝原・大津・大津茂・置塩・古知・上菅)
H21年	3箇所(菅生・安富北・安富南)	8台(安室・白鳥・城陽・林田西・旭陽・菅生・安富南・安富北)
H22年	3箇所(中寺・香呂・香呂南)	8台(谷内・谷外・安室東・高岡西・糸引・中寺・香呂・香呂南)
H23年	—	3台(高岡・荒川・曾左)
H24年	—	5台(峰相・青山・白浜・津田・網干)
H25年	3箇所(糸引・勝原・坊勢 ^{カヌー車庫}) 勝原は小学校用地拡張のため新築移転	3台(豊富・太市・八幡)、軽2台(宮・真浦)
H26年	—	軽3台(宮・真浦・坊勢)
H27年	—	軽3台(宮・真浦・坊勢)
H28年	—	軽3台(宮・真浦・坊勢)
H29年	—	2台(船津・橋東)、軽2台(宮・坊勢)
H30年	1箇所(八木)	3台(増位・妻鹿・的形)、軽1台(真浦)
R元年	1箇所(大塩)	3台(砥堀・山田・大塩)
R 2年	1箇所(荒川)	2台(橋西・広畑)
R 3年	—	4台(城乾・水上・四郷・手柄)
R 4年	1箇所(的形)	5台(御国野・別所・高浜・八木・真浦)、軽1台(坊勢)
R 5年	3箇所(広峰・安室東・林田西)	軽1台(男鹿)
R 6年	2箇所(谷外・旭陽)	4台(東・城北・広畑西・坊勢)

12 団員の職業状況

(令和7年4月現在)

区 分	合 計	勤 務 地			
		市 内		市 外	県 外
		分 団 内	分 団 外		
合 計	2,804	875	1,341	540	48
農 業	15	10	3	2	-
林 業	5	2	2	1	-
漁 業・水産業・養殖業	66	65	1	-	-
鉱 業	7	2	5	-	-
建 設 業	423	201	160	58	4
製 造 業	1,033	192	552	268	21
卸 売・小 売 業	187	75	87	21	4
金 融・保 険 業	68	12	41	12	3
不 動 産 業	15	8	6	1	-
運 輸・通 信 業	150	29	82	36	3
電気・ガス・水道熱供給業	60	16	27	12	5
サ ー ビ ス 業	298	89	158	46	5
公 務 員	125	17	84	22	2
そ の 他	352	157	133	61	1



13 分団別火災状況

分団	区分		火災 件数	火災種別					焼損面積	
				建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫路東消防団	城南		1	1	-	-	-	-	116.0	-
	城巽		2	2	-	-	-	-	417.0	-
	城東		1	1	-	-	-	-	158.0	-
	東		-	-	-	-	-	-	-	-
	城北		-	-	-	-	-	-	-	-
	城乾		-	-	-	-	-	-	-	-
	広峰		6	3	-	-	-	3	80.0	-
	野里		3	2	-	1	-	-	-	-
	水上		2	2	-	-	-	-	17.0	-
	増位		3	2	-	1	-	-	-	-
	砥堀		2	1	-	-	-	1	64.0	-
	花田		4	1	-	1	-	2	123.0	-
	四郷		1	-	-	-	-	1	-	-
	御国野		5	3	-	-	-	2	25.9	-
	別所		4	2	-	-	-	2	5.0	-
	谷外		4	1	-	-	-	3	15.0	-
	谷内		1	1	-	-	-	-	-	-
	豊富		5	2	-	1	-	2	58.0	-
	山田		2	-	-	-	-	2	-	0.5
	船津		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		46	24	-	4	-	18	1,078.9	0.5
姫路西消防団	船場		3	3	-	-	-	-	144.0	-
	城西		-	-	-	-	-	-	-	-
	安室		1	1	-	-	-	-	-	-
	安室東		1	1	-	-	-	-	-	-
	高岡		6	3	-	1	-	2	1.2	-
	高岡西		3	1	1	-	-	1	-	2.4
	荒川		3	2	-	1	-	-	108.0	-
	手柄		3	1	-	-	-	2	-	-
	城陽		3	3	-	-	-	-	205.0	-
	曾左		2	2	-	-	-	-	35.0	-
	峰相		2	-	-	2	-	-	-	-
	白鳥		1	1	-	-	-	-	-	-
	青山		1	1	-	-	-	-	27.0	-
	太市		4	-	-	1	-	3	-	-
	林田東		3	1	-	2	-	-	321.0	-
	林田西		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		36	20	1	7	-	8	841.2	2.4

分団	区分		火災 件数	火災種別					焼損面積	
				建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)
飾磨消防団	橋東		8	5	-	-	-	3	227.0	-
	橋西		2	2	-	-	-	-	277.0	-
	高浜		-	-	-	-	-	-	-	-
	妻鹿		1	1	-	-	-	-	-	-
	白浜		4	1	-	-	-	3	60.0	-
	津田		3	3	-	-	-	-	-	-
	英賀保		1	-	-	-	-	1	-	-
	広畑		1	-	-	-	-	1	-	-
	広畑西		1	-	-	-	-	1	-	-
	八幡		-	-	-	-	-	-	-	-
	八木		-	-	-	-	-	-	-	-
	糸引		-	-	-	-	-	-	-	-
	的形		3	-	-	1	-	2	-	-
	大塩		1	1	-	-	-	-	63.0	-
	小計		25	13	-	1	-	11	627.0	-
網干消防団	勝原		3	2	-	-	-	1	239.0	-
	旭陽		1	1	-	-	-	-	-	-
	網干		6	2	-	2	-	2	1.0	-
	余部		-	-	-	-	-	-	-	-
	大津		10	9	-	-	-	1	38.0	-
	大津茂		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		20	14	-	2	-	4	278.0	-
家島町消防団	宮		1	-	-	-	1	-	-	-
	真浦		-	-	-	-	-	-	-	-
	坊勢		2	-	-	-	1	1	-	-
	男鹿		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		3	-	-	-	2	1	-	-
夢前町消防団	置塩		-	-	-	-	-	-	-	-
	古知		-	-	-	-	-	-	-	-
	前之庄		6	1	-	1	-	4	157.0	-
	山之内		-	-	-	-	-	-	-	-
	菅生		1	1	-	-	-	-	-	-
	上菅		1	1	-	-	-	-	21.0	-
	筋野		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		8	3	-	1	-	4	178.0	-
香寺町消防団	中寺		-	-	-	-	-	-	-	-
	香呂		-	-	-	-	-	-	-	-
	香呂南		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		-	-	-	-	-	-	-	-
安富町消防団	安富南		1	-	-	1	-	-	-	-
	安富北		-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		1	-	-	1	-	-	-	-
合計			139	74	1	16	2	46	3,003.1	2.9

14 消防団の装備・資機材

消防団員が安全確実に活動を行えるよう、消防団に様々な装備や資機材を配備しています。

新入団時に個人貸与されるもの

- ・ 活動服（冬用、夏用）
- ・ 救助用半長靴
- ・ ヘルメット
- ・ アポロキャップ
- ・ 革手袋
- ・ 耐切創性手袋
- ・ 荒天用活動衣

各分団に配備している資機材

- ・ 水防活動用のライフジャケット（救命胴衣）及びフローティングローブ
- ・ 夜間用活動用の投光器（メタルハライドライト）及び強力ライト
- ・ 応急手当用の救急セット（包帯・ガーゼ等）
- ・ 現場指揮及び広報用の拡声器（トランジスタメガホン）
- ・ 車載無線機、署活系無線機
- ・ A E D
- ・ 防塵メガネ・防塵マスク
- ・ 防火服



投光器



強力ライト



ライフジャケット



拡声器



救急セット



救助用半長靴



防火服

このページは空白です。

各種災害の状況

このページは空白です。

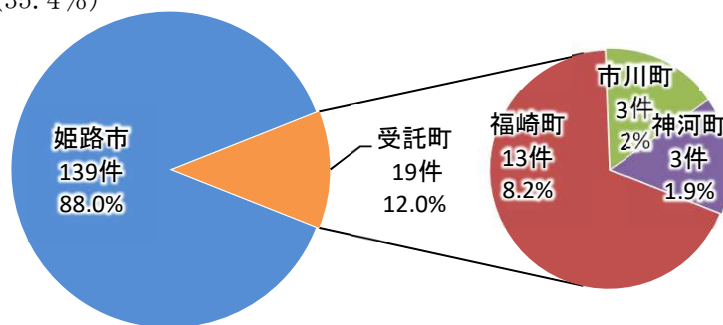
令和6年中の災害の状況

・火災の状況

令和6年中の火災件数は158件で、その内受託町域の火災件数は19件（12.0％）でした。

火災による損害額は3億6,144万円、死者は5人、負傷者は25人、建物焼損面積は3,266.8㎡、林野焼損面積は4.9a、り災世帯及びり災人員は53世帯・117人でした。

火災種別では、建物火災が82件（51.9％）、林野火災1件（0.6％）、車両火災17件（10.8％）、船舶火災2件（1.3％）、その他の火災（空地や河川敷の枯草等）56件（35.4％）となっています。



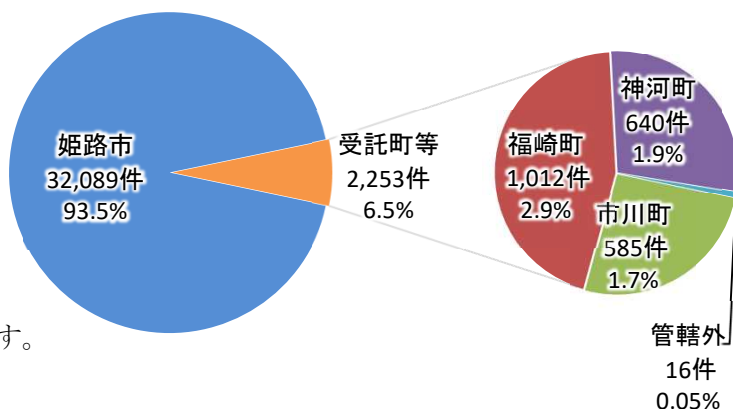
・救急の状況

令和5年中の救急出場件数は34,342件で、その内受託域等の救急出場件数は2,253件（6.5％）でした。

一日平均94.1件、15分に1件の割合で出場し、管轄内住民約21人に1人を搬送したことになります。

救急出場件数が最も多いのは、急病で22,398件（65.2％）次いで一般負傷5,314件（15.5％）、転院搬送3,083件（9.0％）となっており、これら3種別だけで全体の89.7％を占めています。

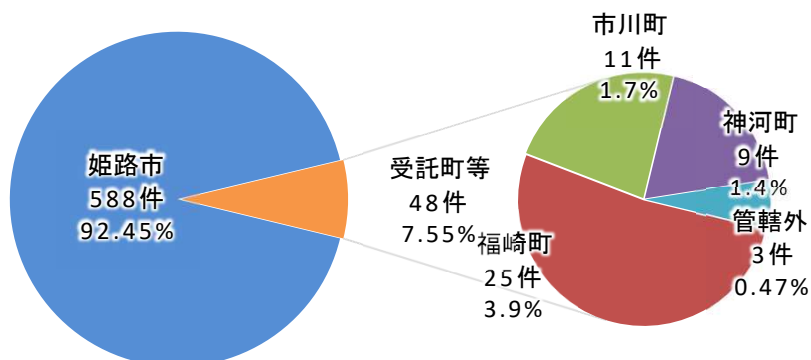
1件あたりの平均所要時間は、指令から現場到着まで7分47秒、現場到着から病院まで34分16秒となっています。



・救助の状況

令和6年中の救助出動件数は636件で、その内受託町域等の救助件数は48件（7.55％）でした。

救助出動したうち、人命検索を含む救助活動を実施した件数は400件、救助した人員は267人でした。



【火 災】

1 火災状況

火災件数は前年と比較すると23件減少しています。火災種別では船舶火災が1件、その他の火災が3件増加しているのに対し、建物火災が18件、林野火災が6件、車両火災が3件減少しています。

区 分		単位	姫路市消防局			姫 路 市		
			令和 6 年	令和 5 年	増減数	令和 6 年	令和 5 年	増減数
火 災 件 数	建 物	件	82	100	▲18	74	91	▲17
	林 野		1	7	▲6	1	5	▲4
	車 両		17	20	▲3	16	20	▲4
	船 舶		2	1	1	2	1	1
	そ の 他		56	53	3	46	44	2
	合 計		158	181	▲23	139	161	▲22
損 害 額	建 物	千円	329,515	432,688	▲103,173	309,964	392,084	▲82,120
	林 野		-	-	-	-	-	-
	車 両		9,753	17,323	▲7,570	9,663	17,323	▲7,660
	船 舶		245	33	212	245	33	212
	そ の 他		21,932	4,684	17,248	21,687	4,682	17,005
	合 計		361,445	454,728	▲93,283	341,559	414,122	▲72,563
焼 損 面 積	建 物	m ²	3,266.8	3,725.7	▲458.9	3,003.1	3,341.7	▲338.6
	林 野	a	4.9	22.6	▲17.7	2.9	17.4	▲14.5
焼 損 棟 数	全 焼	棟	23	33	▲10	18	28	▲10
	半 焼		12	10	2	11	9	2
	部 分 焼		25	56	▲31	23	51	▲28
	ぼ や		43	54	▲11	39	52	▲13
	合 計		103	153	▲50	91	140	▲49
り 災 世 帯	全 損	世帯	10	17	▲7	10	15	▲5
	半 損		6	7	▲1	6	7	▲1
	小 損		37	64	▲27	37	60	▲23
	合 計		53	88	▲35	53	82	▲29
り 災 人 員	全 損	人	27	29	▲2	27	23	4
	半 損		15	11	4	15	11	4
	小 損		75	129	▲54	75	124	▲49
	合 計		117	169	▲52	117	158	▲41
死 傷 者	死 者	人	5	4	1	4	3	1
	負 重 症		4	5	▲1	3	4	▲1
	中 等 症		13	7	6	13	7	6
	軽 症		8	11	▲3	8	11	▲3
	者 (うち30日死者)		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	合 計		30	27	3	28	25	3
管 轄 人 口	人		563,930	567,401	▲3,471	524,149	527,088	▲2,939
出 火 率	件/万人		2.8	3.2	▲0.4	2.7	3.1	▲0.4
火災1件当たりの損害額	千円		2,288	2,512	▲224	2,457	2,572	▲115
建物火災	損害額	千円	4,018	4,327	▲309	4,189	4,309	▲120
1件当たりの	焼損面積	m ²	39.8	37.3	2.5	40.6	36.7	3.9
林野火災	損害額	千円	-	-	-	-	-	-
1件当たりの	焼損面積	a	4.9	3.2	1.7	2.9	3.5	▲0.6
住民1人当たりの損害額	円		641	801	▲160	652	786	▲134
1日当たりの火災件数	件		0.43	0.50	▲0.07	0.38	0.44	▲0.06

(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

区 分		単位	市 川 町			福 崎 町			神 河 町		
			令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数	令和6年	令和5年	増減数
火 災 件 数	建 物	件	1	4	▲3	7	4	3	-	1	▲1
	林 野		-	-	-	-	1	▲1	-	1	▲1
	車 両		1	-	1	-	-	-	-	-	-
	船 舶		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		1	1	-	6	8	▲2	3	-	3
	合 計		3	5	▲2	13	13	-	3	2	1
損 害 額	建 物	千円	311	28,208	▲27,897	19,240	12,223	7,017	-	173	▲173
	林 野		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車 両		90	-	90	-	-	-	-	-	-
	船 舶		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	そ の 他		198	-	198	1	2	▲1	46	-	46
	合 計		599	28,208	▲27,609	19,241	12,225	7,016	46	173	▲127
焼 損 面 積	建 物	m ²	70.0	235.0	▲165.0	193.7	145.0	48.7	-	4.0	▲4.0
	林 野	a	-	-	-	-	3.2	▲3.2	2.0	2.0	-
焼 損 棟 数	全 焼	棟	2	3	▲1	3	2	1	-	-	-
	半 焼		-	1	▲1	1	-	1	-	-	-
	部 分 焼		-	3	▲3	2	1	1	-	1	▲1
	ぼ や		2	1	1	2	1	1	-	-	-
	合 計		4	8	▲4	8	4	4	-	1	▲1
り 災 世 帯	全 損	世帯	-	1	▲1	-	1	▲1	-	-	-
	半 損		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 損		-	3	▲3	-	-	-	-	1	▲1
	合 計		-	4	▲4	-	1	▲1	-	1	▲1
り 災 人 員	全 損	人	-	3	▲3	-	3	▲3	-	-	-
	半 損		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 損		-	4	▲4	-	-	-	-	1	▲1
	合 計		-	7	▲7	-	3	▲3	-	1	▲1
死 傷 者	死 者	人	-	1	▲1	-	-	-	1	-	1
	負 重 症		-	-	-	-	-	-	1	1	-
	中 等 症		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	軽 症		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	者 (うち30日死者)		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	合 計		-	1	▲1	-	-	-	2	1	1
管 轄 人 口	人		10,803	11,022	▲219	18,688	18,732	▲44	10,290	10,559	▲269
出 火 率	件/万人		2.8	4.5	▲1.7	7.0	6.9	0.1	2.9	1.9	1.0
火災1件当たりの損害額	千円		200	5,642	▲5,442	1,480	940	540	15	87	▲72
建 物 火 災	損 害 額	千円	311	7,052	▲6,741	2,749	3,056	▲307	-	173	▲173
1件当たりの	焼損面積	m ²	70.0	58.8	11.2	27.7	36.3	▲8.6	-	4.0	▲4.0
林 野 火 災	損 害 額	千円	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1件当たりの	焼損面積	a	-	-	-	-	3.2	▲3.2	-	2.0	▲2.0
住民1人当たりの損害額	円		55	2,559	▲2,504	1,030	653	377	4	16	▲12
1日当たりの火災件数	件		0.01	0.01	-	0.04	0.04	-	0.01	0.01	-

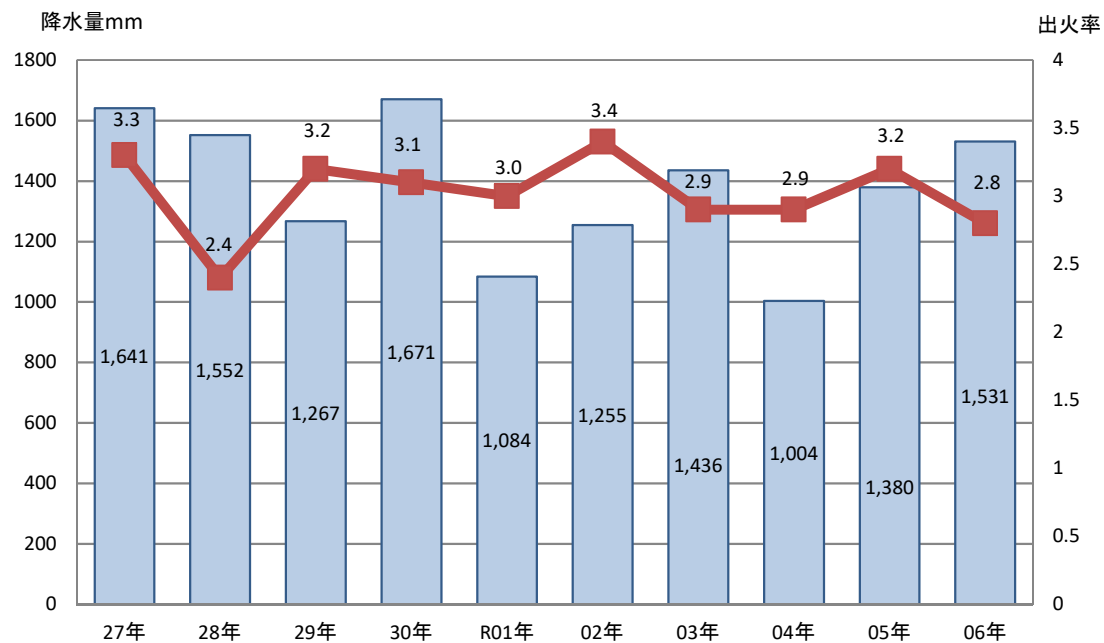
(注)火災種別が複数にわたった場合の火災件数は、火災報告取扱要領に基づき計上しています。

(注)管轄人口は、統計年の3月31日現在の住民基本台帳人口を記載しています。

2 火災状況の推移

区分		年別	単位	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
火件	火災数	建物	件	95	83	83	86	96	101	98	86	100	82
		林野		6	5	9	12	9	13	7	8	7	1
		車両		19	9	19	16	12	20	16	15	20	17
		船舶		3	1	－	－	－	1	－	－	1	2
		その他		70	40	76	66	59	62	43	58	53	56
	合計			193	138	187	180	176	197	164	167	181	158
損害額	損害額	建物	千円	307,199	299,880	283,187	303,100	95,899	477,826	252,420	319,253	432,688	329,515
		林野		20	－	182	－	121	1	18	18	－	－
		車両		5,179	4,575	9,939	5,037	25,539	8,221	2,975	4,087	17,323	9,753
		船舶		1,322	39	－	－	－	3,685	－	－	33	245
		その他		1,383	180	460	181	20,591	3,774	349	1,060	4,684	21,932
	合計			315,103	304,674	293,768	308,318	142,150	493,507	255,762	324,418	454,728	361,445
焼面	焼面積	建物	m ²	4,697.1	4,115.9	2,329.6	2,810.4	2,547.6	6,779.9	3,922.7	3,799.8	3,725.7	3,266.8
		林野	a	381.8	16.4	249.4	46.3	43.4	3,443.2	11.4	44.6	22.6	4.9
焼棟	焼棟数	全焼	棟	23	19	12	23	18	35	28	18	33	23
		半焼		9	6	8	7	9	7	5	10	10	12
		部分焼		36	34	36	30	25	37	39	33	56	25
		ぼや		57	43	45	63	65	75	76	55	54	43
	合計			125	102	101	123	117	154	148	116	153	103
り世	災世帯	全損	世帯	18	15	13	13	7	31	19	12	17	10
		半損		6	4	2	6	4	6	－	4	7	6
		小損		54	51	62	43	46	74	57	44	64	37
	合計			78	70	77	62	57	111	76	60	88	53
り人	災員	全損	人	35	26	15	26	13	46	36	29	29	27
		半損		16	3	7	12	6	11	－	10	11	15
		小損		135	126	101	81	119	138	138	113	129	75
	合計			186	155	123	119	138	195	174	152	169	117
死傷者	死傷者	死者	人	7	3	3	10	5	8	7	8	4	5
		重症		7	－	5	7	7	7	9	4	5	4
		中等症		11	10	7	8	8	16	5	7	7	13
		軽症		7	8	12	16	14	15	11	14	11	8
	合計			32	21	27	41	34	46	32	33	27	30
出火率		件/万人		3.3	2.4	3.2	3.1	3.0	3.4	2.9	2.9	3.2	2.8
年間降水量		mm		1,641	1,552	1,267	1,671	1,084	1,255	1,436	1,004	1,380	1,531

3 降水量と出火率の推移



4 署別火災件数

区 分		消防局管内			姫路東 消防署	姫路西 消防署	飾 磨 消防署	網 干 消防署	中播消防署		
		姫路市	受託町	合 計					姫路市	受託町	小 計
火 災 件 数		139	19	158	46	37	28	20	8	19	27
出 火 率		2.7	4.8	2.8	3.5	2.5	1.9	2.9	2.4	4.8	3.7
火 種	建 物	74	8	82	24	20	13	14	3	8	11
	林 野	1	－	1	－	1	－	－	－	－	－
	車 両	16	1	17	4	8	1	2	1	1	2
	船 舶	2	－	2	－	－	2	－	－	－	－
	その他	46	10	56	18	8	12	4	4	10	14

5 月別火災状況

月別の火災件数は、5月が最も多く24件で、最も少ない月は、7月の7件となっています。

区分 月別	合計	火 災 種 別						死 傷 者		主 な 出 火 原 因				
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	死 者	負 傷 者	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
1 月	14 (11)	8 (6)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	5 (4)	- (-)	1 (1)	放火(疑含む) 3 (1)	たき火・焼却火 3 (3)	電気関係 3 (3)	たばこ 2 (1)	-
2 月	13 (11)	4 (4)	- (-)	3 (2)	- (-)	- (-)	6 (5)	1 (1)	1 (1)	放火(疑含む) 3 (3)	電気関係 3 (2)	火遊び 2 (2)	かまど・風呂かまど 1 (1)	-
3 月	20 (16)	13 (11)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	6 (4)	1 (1)	2 (2)	たき火・焼却火 4 (2)	電気関係 3 (3)	ストーブ 2 (2)	こんろ 1 (1)	火遊び 1 (1)
4 月	11 (11)	9 (9)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	3 (3)	放火(疑含む) 2 (2)	こんろ 2 (2)	電気関係 1 (1)	火遊び 1 (1)	かまど・風呂かまど 1 (1)
5 月	24 (20)	13 (11)	- (-)	3 (3)	- (-)	- (-)	8 (6)	- (-)	4 (4)	たき火・焼却火 5 (5)	電気関係 4 (3)	たばこ 4 (2)	放火(疑含む) 1 (1)	こんろ 1 (1)
6 月	10 (10)	6 (6)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	2 (2)	こんろ 2 (2)	放火(疑含む) 1 (1)	たき火・焼却火 1 (1)	電気関係 1 (1)	たばこ 1 (1)
7 月	7 (7)	4 (4)	- (-)	1 (1)	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)	1 (1)	電気関係 3 (3)	放火(疑含む) 2 (2)			
8 月	16 (16)	8 (8)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	6 (6)	1 (1)	3 (3)	放火(疑含む) 4 (4)	たき火・焼却火 3 (3)	電気関係 2 (2)	こんろ 1 (1)	灯火 1 (1)
9 月	15 (12)	5 (4)	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	8 (6)	- (-)	2 (1)	たき火・焼却火 6 (5)	たばこ 2 (2)	こんろ 2 (2)		
10月	8 (8)	4 (4)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	1 (1)	電気関係 3 (3)	たき火・焼却火 2 (2)	放火(疑含む) 1 (1)	こんろ 1 (1)	
11月	9 (8)	6 (5)	- (-)	2 (2)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	4 (4)	たき火・焼却火 1 (1)	たばこ 1 (1)	こんろ 1 (1)		
12月	11 (9)	2 (2)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	8 (6)	2 (1)	1 (1)	放火(疑含む) 2 (2)	たき火・焼却火 2 (-)	たばこ 1 (1)	火遊び 1 (1)	溶接機・切断機 1 (1)
合計	158 (139)	82 (74)	1 (1)	17 (16)	2 (2)	- (-)	56 (46)	5 (4)	25 (24)	たき火・焼却火 27 (22)	電気関係 23 (21)	放火(疑含む) 19 (17)	たばこ 11 (8)	こんろ 11 (11)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 主な出火原因からは、「不明」「その他」は除いています。

6 四季別火災状況

季 節	令 和 6 年			令 和 5 年		
	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)	火災件数	割 合 (%)	損害額 (千円)
春 季 (3月～5月)	55 (47)	34.8 (33.8)	181,401 (164,051)	52 (45)	28.7 (28.0)	124,886 (88,782)
夏 季 (6月～8月)	33 (33)	20.9 (23.7)	49,415 (49,415)	49 (44)	27.1 (27.3)	232,396 (228,254)
秋 季 (9月～11月)	32 (28)	20.3 (20.1)	58,228 (56,518)	35 (30)	19.3 (18.6)	38,646 (38,432)
冬 季 (12月～2月)	38 (31)	24.1 (22.3)	72,401 (71,575)	45 (42)	24.9 (26.1)	58,800 (58,654)

(注) ()内は姫路市の数値

7 建物用途別火災状況

防火対象物の用途別でみると、一般住宅が30件で、全体の36.6%を占めています。

防火対象物の区分 (令別表)		令 和 6 年			令和5年 件 数	増減数
		件数	構成比 (%)	損害額 (千円)		
	一 般 住 宅	30 (29)	36.6 (39.2)	196,774 (196,772)	29 (24)	1 (5)
(五)	ロ 共 同 住 宅	11 (11)	13.4 (14.9)	30,422 (30,422)	12 (12)	▲1 (▲1)
	併 用 住 宅	1 (1)	1.2 (1.4)	364 (364)	- (-)	1 (1)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	▲1 (▲1)
	イ キ ャ バ レ ー 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(二)	ロ 遊 技 場 等	1 (1)	1.2 (1.4)	- (-)	1 (1)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	4 (4)	4.9 (5.4)	5,816 (5,816)	5 (5)	▲1 (▲1)
(四)	物 品 販 売 店 舗	1 (1)	1.2 (1.4)	- (-)	2 (2)	▲1 (▲1)
(五)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	▲1 (▲1)
	イ 病 院 等	1 (-)	1.2 (-)	113 (-)	1 (1)	- (▲1)
(六)	ロ 老人短期入所施設等	1 (1)	1.2 (1.4)	- (-)	1 (1)	- (-)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	▲1 (▲1)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十二)	イ 工 場 ・ 作 業 場	13 (11)	15.9 (14.9)	62,071 (61,333)	20 (19)	▲7 (▲8)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	4 (2)	4.9 (2.7)	1,538 (1,145)	10 (9)	▲6 (▲7)
(十五)	事 務 所 等	3 (2)	3.7 (2.7)	25,571 (8,881)	3 (3)	- (▲1)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	4 (4)	4.9 (5.4)	3,634 (3,634)	4 (4)	- (-)
	ロ 非 特 定 複 合 用 途	1 (1)	1.2 (1.4)	2 (2)	- (-)	1 (1)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	7 (6)	8.5 (8.1)	3,210 (1,595)	9 (7)	▲2 (▲1)
合 計		82 (74)	100 (100)	329,515 (309,964)	100 (91)	▲18 (▲17)

(注) ()内は姫路市の数値

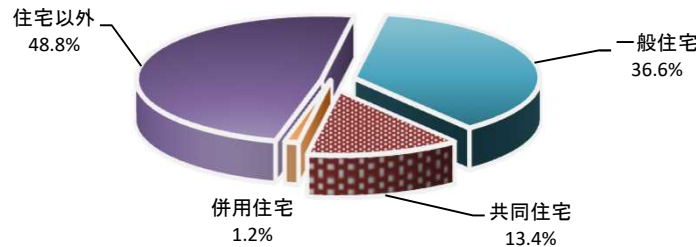
※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

8 建物火災に占める住宅火災の割合

建物火災82件のうち、住宅火災は42件発生し、建物火災全体の51.2%を占めています。

建物火災	住宅火災				住宅以外
	合計	一般住宅	共同住宅	併用住宅	
82 (74)	42 (41)	30 (29)	11 (11)	1 (1)	40 (33)

(注) ()内は姫路市の数値



※ 端数処理の関係上、グラフ中の計算が合わない場合があります。

9 火災の覚知方法

消防機関が火災をどのような方法で覚知しているかをみると、119専用電話が最も多く101件（64%）となっています。

種別 \ 年次		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		
										火災件数		構成比(%)
119 専用電話	固定電話	136	36 (32)	105	19 (14)	103	19 (17)	123	37 (31)	101	17 (16)	10.8 (11.5)
	携帯電話	(119)	100 (87)	(91)	86 (77)	(95)	84 (78)	(111)	86 (80)	(86)	84 (70)	53.2 (50.4)
加入電話	固定電話	8	4 (4)	9	5 (5)	8	6 (5)	8	5 (5)	7	5 (5)	3.2 (3.6)
	携帯電話	(7)	4 (3)	(9)	4 (4)	(6)	2 (1)	(7)	3 (2)	(6)	2 (1)	1.3 (0.7)
駆け付け通報		－ (－)		－ (－)		1 (1)		1 (1)		－ (－)		－ (－)
警察電話		4 (4)		1 (1)		－ (－)		－ (－)		－ (－)		－ (－)
その他		9 (8)		1 (1)		12 (12)		7 (5)		8 (8)		5.1 (5.8)
事後聞知		40 (37)		48 (40)		43 (40)		42 (37)		42 (39)		26.6 (28.1)
合 計		197 (175)		164 (142)		167 (154)		181 (161)		158 (139)		100 (100)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

10 初期消火実施状況

初期消火は、全火災件数のうち99件（62.7％）に対して実施され、57件（57.6％）が成功しています。

区 分			合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他
初期消火あり	成功	簡易消火用具	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		消 火 器	14 (12)	10 (8)	－ (－)	1 (1)	－ (－)	3 (3)
		固定消火設備	1 (1)	1 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		そ の 他	42 (38)	19 (18)	－ (－)	4 (4)	－ (－)	19 (16)
		小 計	57 (51)	30 (27)	－ (－)	5 (5)	－ (－)	22 (19)
	失敗	簡易消火用具	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		消 火 器	12 (9)	7 (7)	－ (－)	3 (2)	－ (－)	2 (－)
		固定消火設備	1 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	1 (1)
		そ の 他	29 (26)	12 (10)	－ (－)	1 (1)	1 (1)	15 (14)
		小 計	42 (36)	19 (17)	－ (－)	4 (3)	1 (1)	18 (15)
合 計 (初期消火割合)		99 (87) 62.7% (62.6%)	49 (44) 59.8% (59.5%)	－ (－)	9 (8) 52.9% (50.0%)	1 (1) 50.0% (50.0%)	40 (34) 71.4% (73.9%)	
初 期 消 火 な し			59 (52)	33 (30)	1 (1)	8 (8)	1 (1)	16 (12)
火 災 件 数			158 (139)	82 (74)	1 (1)	17 (16)	2 (2)	56 (46)

(注) ()内は姫路市の数値
※ 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

11 初期消火失敗の理由

初期消火失敗の理由は、「初期消火の限界を超えていた」が最も多く、30件（71.4％）となっています。

合 計	初期消火の限界を超えていた	消火困難な場所	消火器具の数量不足	消火技術が悪かった	濃煙のため消火困難	その他
42 (36)	30 (24)	5 (5)	1 (1)	－ (－)	1 (1)	5 (5)

(注) ()内は姫路市の数値

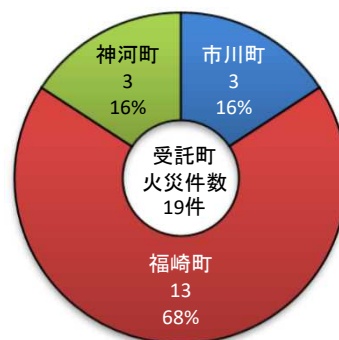
12 小学校区別火災状況

区 分 校 区	火災 件数	火災種別					焼 損 面 積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
姫 路 東 消 防 署	白鷺	3	3	-	-	-	533.0	-
	野里	2	2	-	-	-	-	-
	城東	1	1	-	-	-	158.0	-
	東	-	-	-	-	-	-	-
	花田	4	1	-	1	2	123.0	-
	城北	-	-	-	-	-	-	-
	広峰	6	3	-	-	3	80.0	-
	水上	3	2	-	1	-	17.0	-
	砥堀	2	1	-	-	1	64.0	-
	城乾	-	-	-	-	-	-	-
	増位	3	2	-	1	-	-	-
	四郷	1	-	-	-	1	-	-
	御国野	5	3	-	-	2	25.9	-
	別所	4	2	-	-	2	5.0	-
姫 路 西 消 防 署	谷外	4	1	-	-	3	15.0	-
	谷内	1	1	-	-	-	-	-
	豊富	5	2	-	1	2	58.0	-
	山田	2	-	-	-	2	-	0.5
	船津	-	-	-	-	-	-	-
	小計	46	24	-	4	18	1,078.9	0.5
	城陽	3	3	-	-	-	205.0	-
	手柄	3	1	-	-	2	-	-
	船場	3	3	-	-	-	144.0	-
	荒川	3	2	-	1	-	108.0	-
	高岡	6	3	-	1	2	1.2	-
	安室	1	1	-	-	-	-	-
	城西	-	-	-	-	-	-	-
	安室東	1	1	-	-	-	-	-
	高岡西	3	1	1	-	1	-	2.4
姫 路 西 消 防 署	曾左	2	2	-	-	-	35.0	-
	白鳥	1	1	-	-	-	-	-
	太市	4	-	-	1	3	-	-
	林田	2	1	-	1	-	321.0	-
	伊勢	1	-	-	1	-	-	-
	峰相	2	-	-	2	-	-	-
	青山	1	1	-	-	-	27.0	-
	安富南	1	-	-	1	-	-	-
	安富北	-	-	-	-	-	-	-
	小計	37	20	1	8	8	841.2	2.4

区 分 校 区	火災 件数	火災種別					焼 損 面 積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
飾 磨 消 防 署	飾磨	10	7	-	-	3	504.0	-
	津田	3	3	-	-	-	-	-
	英賀保	1	-	-	-	1	-	-
	高浜	-	-	-	-	-	-	-
	妻鹿	1	1	-	-	-	-	-
	広畑	1	-	-	-	1	-	-
	広畑第2	1	-	-	-	1	-	-
	八幡	-	-	-	-	-	-	-
	白浜	4	1	-	-	3	60.0	-
	八木	-	-	-	-	-	-	-
	糸引	-	-	-	-	-	-	-
	的形	3	-	-	1	2	-	-
	大塩	1	1	-	-	-	63.0	-
	家島	1	-	-	-	1	-	-
網 干 消 防 署	坊勢	2	-	-	-	1	-	-
	小計	28	13	-	1	12	627.0	-
	勝原	3	2	-	-	1	239.0	-
	旭陽	1	1	-	-	-	-	-
	網干	4	1	-	1	2	1.0	-
	大津	5	5	-	-	-	-	-
	南大津	5	4	-	-	1	38.0	-
	大津茂	-	-	-	-	-	-	-
	網干西	2	1	-	1	-	-	-
	余部	-	-	-	-	-	-	-
	小計	20	14	-	2	4	278.0	-
中 播 消 防 署	置塩	-	-	-	-	-	-	-
	古知	-	-	-	-	-	-	-
	前之庄	6	1	-	1	4	157.0	-
	蒔野	-	-	-	-	-	-	-
	上菅	1	1	-	-	-	21.0	-
	菅生	1	1	-	-	-	-	-
	中寺	-	-	-	-	-	-	-
	香呂	-	-	-	-	-	-	-
	香呂南	-	-	-	-	-	-	-
	小計	8	3	-	1	4	178.0	-
受託町域	小計	19	8	-	1	10	263.7	2.0
	合計	158	82	1	17	2	3,266.8	4.9

13 事務受託町の火災状況

区 分 町 名	火災 件数	火災種別					焼 損 面 積	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物 (㎡)	林野 (a)
市川町	3	1	-	1	-	1	70.0	-
福崎町	13	7	-	-	-	6	193.7	-
神河町	3	-	-	-	-	3	-	2.0
合計	19	8	-	1	-	10	263.7	2.0



14 出火原因の推移

出火原因第1位は「たき火・焼却火」で、27件発生しています。

年 次	主 な 出 火 原 因					火災件数
	1位	2位	3位	4位	5位	
平成26年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	電気関係	こんろ	196 (173)
	31(24) 15.8%	25(25) 12.8%	24(21) 12.2%	24(23) 12.2%	13(11) 6.6%	
平成27年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	たばこ	電気関係	こんろ	193 (175)
	37(34) 19.2%	29(23) 15.0%	19(16) 9.8%	16(15) 8.3%	13(11) 6.7%	
平成28年	たばこ	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	こんろ	138 (121)
	20(19) 14.5%	20(16) 14.5%	18(15) 13.0%	16(16) 11.6%	10(10) 7.2%	
平成29年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	こんろ	ストーブ	187 (168)
	47(36) 25.1%	29(29) 15.5%	21(18) 11.2%	10(10) 5.3%	9(8) 4.8%	
平成30年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	180 (154)
	39(32) 21.7%	28(27) 15.6%	19(16) 10.6%	17(15) 9.4%	7(7) 3.9%	
令和元年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	たばこ	電気関係	こんろ	176 (150)
	42(30) 23.9%	27(27) 15.3%	18(18) 10.2%	18(17) 10.2%	10(10) 5.7%	
令和2年	たき火・焼却火	放火(疑含む)	電気関係	たばこ	こんろ	197 (175)
	31(24) 15.7%	27(26) 13.7%	22(19) 11.2%	21(19) 10.7%	11(11) 5.6%	
令和3年	放火(疑含む)	たき火・焼却火	電気関係	たばこ	こんろ	164 (142)
	30(29) 18.3%	22(18) 13.4%	20(17) 12.2%	17(16) 10.4%	10(10) 8.5%	
令和4年	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	たばこ	こんろ	167 (154)
	36(31) 21.6%	19(19) 11.4%	18(18) 10.8%	17(16) 10.2%	11(11) 6.6%	
令和5年	たき火・焼却火	たばこ	放火(疑含む)	電気関係	こんろ	181 (161)
	29(19) 16.0%	28(27) 15.5%	27(24) 14.9%	23(20) 12.7%	7(7) 3.9%	
令和6年	たき火・焼却火	電気関係	放火(疑含む)	たばこ	こんろ	158 (139)
	27(22) 17.1%	23(21) 14.6%	19(17) 12.0%	11(8) 7.0%	11(11) 7.0%	

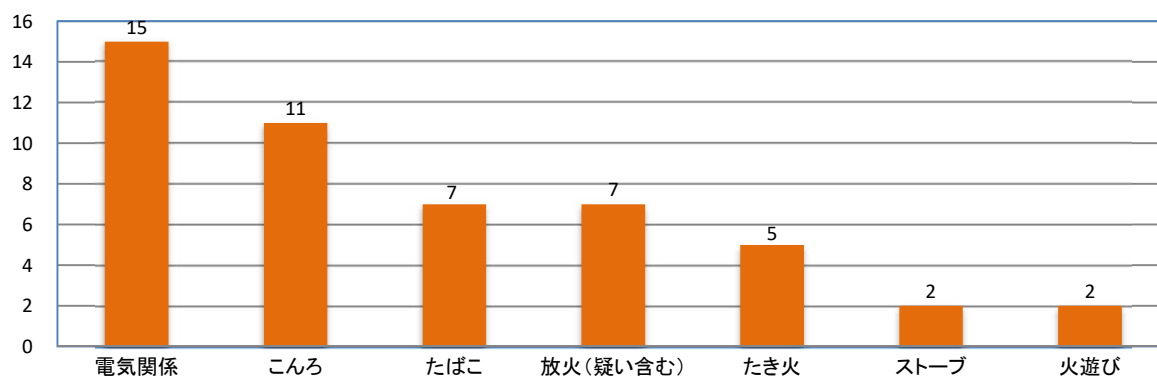
(注) ()内は姫路市の数値

15 建物用途別出火原因

出火原因は、「電気関係」が最も多く15件、続いて「こんろ」が11件、「たばこ」と「放火(疑含む)」が同数で7件となっています。

出火原因 防火対象物の 区分 (令別表)		合 計	電 気 関 係	こ ん ろ	た ば こ	放 (疑 含 む) 火	た 焼 き 却 火	ス ト ー ブ	火 遊 び	そ の 他	不 明
	一 般 住 宅	30 (29)	7 (7)	4 (4)	4 (4)	1 (-)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	9 (9)	1 (1)
(五)	ロ 共 同 住 宅	11 (11)	1 (1)	5 (5)	1 (1)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
	併 用 住 宅	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(一)	イ 劇 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 会 堂 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	イ キ ャ バ レ ー 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(二)	ロ 遊 技 場 等	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ カラオケボックス等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(三)	イ 料 理 店 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 飲 食 店	4 (4)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)
(四)	物 品 販 売 店 舗	1 (1)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(五)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	イ 病 院 等	1 (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(六)	ロ 老人短期入所施設等	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
	ハ 老人デイサービスセンター・保育園	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ニ 幼稚園・特別支援学校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(七)	学 校	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(八)	図 書 館 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(九)	イ 特 殊 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 公 衆 浴 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十)	停 車 場 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十一)	神 社 ・ 寺 院 等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十二)	イ 工 場 ・ 作 業 場	13 (11)	1 (1)	- (-)	1 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	9 (8)	2 (2)
	ロ ス タ ジ オ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十三)	イ 駐 車 場	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 航 空 機 格 納 庫	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
(十四)	倉 庫	4 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (1)	- (-)
(十五)	事 務 所 等	3 (2)	- (-)	- (-)	1 (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
(十六)	イ 特 定 複 合 用 途	4 (4)	2 (2)	2 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	ロ 非特定複合用途	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
(十七)	文 化 財	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他	7 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (2)	4 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (-)
合 計		82 (74)	15 (14)	11 (11)	7 (5)	7 (6)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	29 (26)	4 (3)

(注) ()内は姫路市の数値



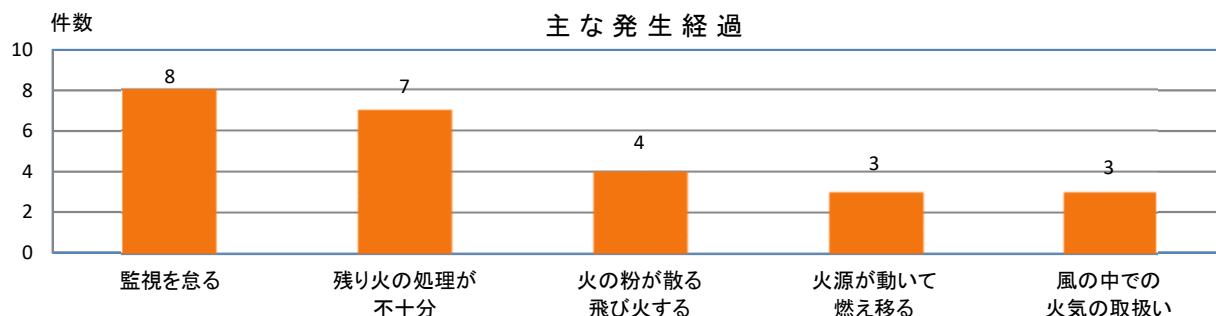
16 主な出火原因の状況

(1) たき火・焼却火

たき火・焼却火による火災は、全火災の約17%を占めています。
火災に至った経過は、「監視を怠る」が最も多くなっています。

年次			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分	合 計		31 (24)	22 (18)	36 (31)	29 (19)	27 (22)
火災種別	建 物	(件)	5 (4)	5 (3)	6 (6)	9 (7)	5 (5)
	林 野		5 (4)	4 (4)	7 (5)	2 (－)	1 (1)
	車 両		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	船 舶		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	そ の 他		21 (16)	13 (11)	23 (20)	18 (12)	21 (16)
建物焼損床面積		(㎡)	634.0 (10.0)	37.9 (8.9)	40.5 (40.5)	556.0 (530.0)	256.0 (256.0)
林野焼損面積		(a)	3,422.3 (3421.6)	4.2 (4.2)	33.6 (25.0)	5.2 (－)	4.4 (2.4)
損 害 額		(千円)	1,989 (169)	108 (81)	1,176 (1,175)	55,111 (55,024)	4,148 (3,944)

(注) ()内は姫路市の数値

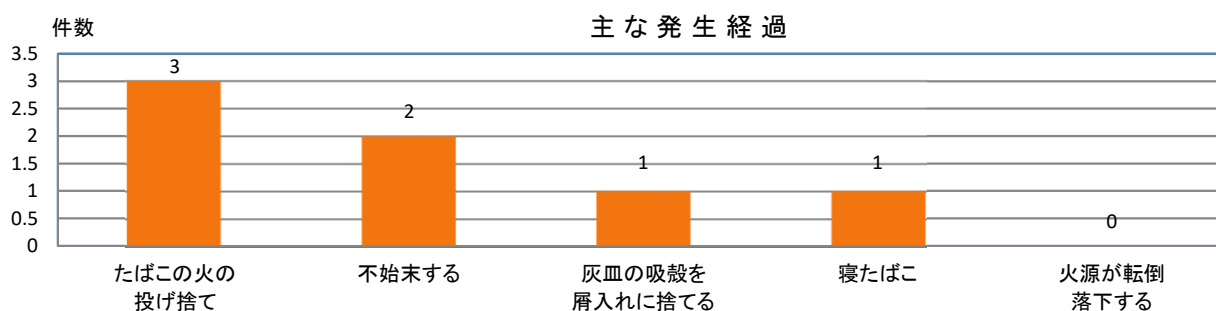


(2) たばこ

たばこによる火災は、全火災の約7%を占めています。
火災に至った経過は、投げ捨てなどの「不適当な所に捨ておく」が最も多くなっています。

年次			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分	合 計		21 (19)	17 (16)	17 (16)	28 (27)	11 (8)
火災種別	建 物	(件)	13 (11)	8 (7)	7 (7)	15 (14)	7 (5)
	林 野		- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
	車 両		- (-)	1 (1)	- (-)	3 (3)	- (-)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		8 (8)	8 (8)	9 (8)	10 (10)	4 (3)
建物焼損床面積 (㎡)		132.1 (27.1)	338.0 (281.0)	188.5 (188.5)	897.1 (893.1)	577.9 (485.9)	
林野焼損面積 (a)		- (-)	- (-)	11.0 (11.0)	- (-)	- (-)	
損 害 額 (千円)		5,285 (781)	42,197 (8,466)	8,678 (8,263)	32,666 (32,493)	92,428 (75,010)	

(注) ()内は姫路市の数値



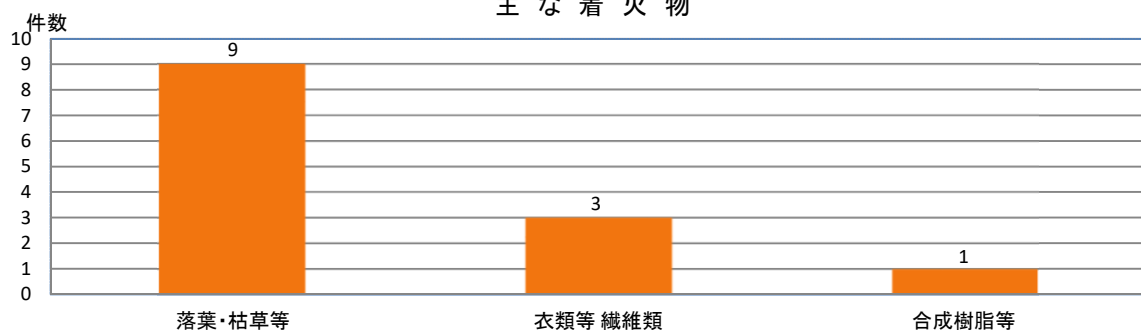
(3) 放火（疑いを含む）

放火（疑いを含む）による火災は、全火災の12%を占めています。

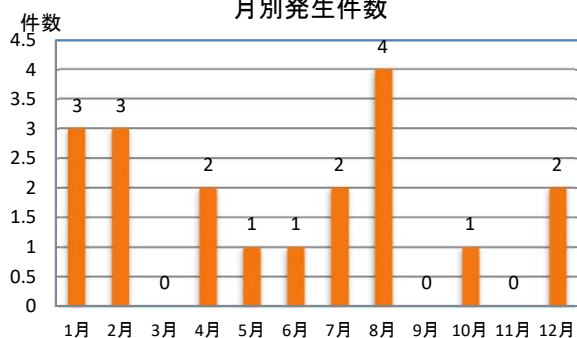
年次			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分	合 計		27 (26)	30 (29)	18 (18)	27 (24)	19 (17)
火災種別	建 物	(件)	9 (9)	19 (19)	7 (7)	13 (12)	7 (6)
	林 野		6 (6)	－ (－)	－ (－)	1 (1)	－ (－)
	車 両		1 (－)	2 (2)	－ (－)	1 (1)	1 (1)
	船 舶		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	そ の 他		11 (11)	9 (8)	11 (11)	12 (10)	11 (10)
建物焼損床面積 (㎡)		365.0 (365.0)	195.0 (195.0)	288.0 (288.0)	1,024.1 (876.1)	44.0 (44.0)	
林野焼損面積 (a)		13.4 (13.4)	－ (－)	－ (－)	2.7 (2.7)	－ (－)	
損 害 額 (千円)		23,285 (23,275)	8,083 (8,082)	29,932 (29,932)	172,911 (148,126)	2,111 (2,109)	

(注) ()内は姫路市の数値

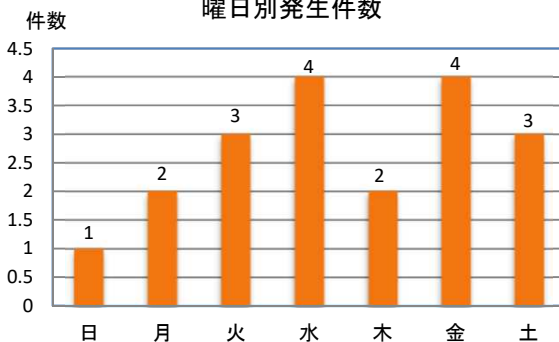
主な着火物



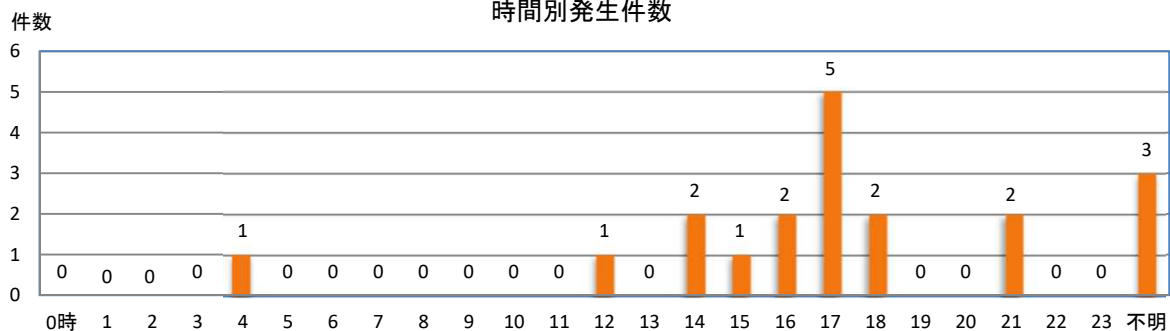
月別発生件数



曜日別発生件数



時間別発生件数



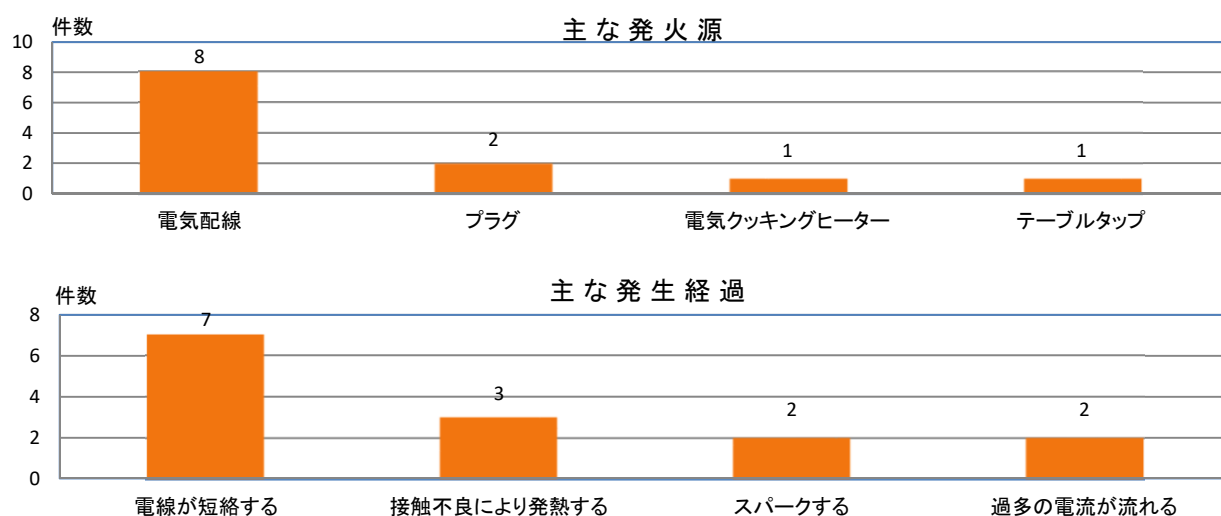
(4) 電気関係

電気関係による火災は、全火災の15%を占めています。

発火源は、「電気配線」が最も多く、「電線の短絡」による発生原因が最も多くなっています。

年次			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分	合 計		22 (17)	20 (17)	19 (19)	23 (20)	23 (21)
火災種別	建 物	(件)	16 (11)	18 (15)	14 (14)	16 (13)	15 (14)
	林 野		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	車 両		4 (4)	－ (－)	3 (3)	4 (4)	4 (3)
	船 舶		1 (1)	2 (2)	－ (－)	－ (－)	1 (1)
	そ の 他		1 (1)	－ (－)	2 (2)	3 (3)	3 (3)
建物焼損床面積 (㎡)		2,735.6 (2572.2)	454.7 (406.0)	91.0 (91.0)	535.0 (346.0)	434.2 (434.2)	
林野焼損面積 (a)		－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
損 害 額 (千円)		238,879 (234,382)	37,585 (35,877)	9,372 (9,372)	96,888 (81,512)	65,969 (65,766)	

(注) ()内は姫路市の数値



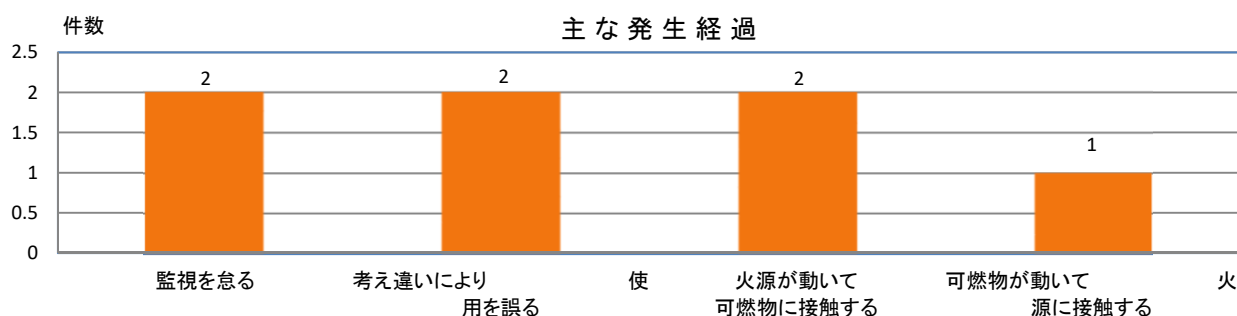
(5) こんろ

こんろによる火災は、全火災の7%を占めています。

火災に至った経過は、「監視を怠る」、「使用方法を誤る」、「火源が動いて可燃物に接触する」がそれぞれ2件で最も多くなっています。

年次			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分	合 計		11 (11)	14 (12)	11 (11)	7 (7)	11 (11)
火災種別	建 物	(件)	11 (11)	14 (12)	10 (10)	6 (6)	11 (11)
	林 野		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	車 両		- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
	船 舶		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	そ の 他		- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
建物焼損床面積 (㎡)		88.9 (88.9)	664.0 (545.0)	240.0 (240.0)	3.0 (3.0)	677.0 (677.0)	
林野焼損面積 (a)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
損 害 額 (千円)		2,545 (2,545)	19,276 (18,629)	17,332 (17,332)	393 (393)	26,002 (26,002)	

(注) ()内は姫路市の数値



17 火災による死者の推移

年 次 年齢区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5 歳 以下	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6 ～ 10歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
11 ～ 15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16 ～ 20歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
21 ～ 25歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
26 ～ 30歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
31 ～ 35歳	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
36 ～ 40歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
41 ～ 45歳	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
46 ～ 50歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
51 ～ 55歳	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)
56 ～ 60歳	- (-)	2 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
61 ～ 64歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
65 歳 以上	6 (3)	5 (4)	6 (6)	4 (3)	5 (4)
合 計	8 (5)	7 (5)	8 (8)	4 (3)	5 (4)

(注) ()内は姫路市の数値

18 火災による死者の発生状況

No.	年齢区分	性 別	死 因	火災種別	発生場所
1	65歳以上	女	火傷	建物	一般住宅
2	65歳以上	男	火傷	建物	共同住宅
3	65歳以上	男	火傷	その他	屋外
4	65歳以上	男	火傷	その他	屋外
5	65歳以上	男	火傷	車両	屋外(車内)

19 火災による負傷者の推移

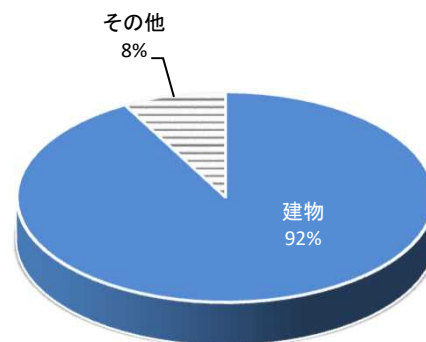
年 次 年齢区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5 歳 以下	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
6 ～ 10歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
11 ～ 15歳	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
16 ～ 20歳	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
21 ～ 25歳	2 (2)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)
26 ～ 30歳	1 (1)	- (-)	1 (1)	2 (2)	1 (1)
31 ～ 35歳	3 (2)	1 (1)	- (-)	1 (1)	- (-)
36 ～ 40歳	- (-)	4 (4)	2 (2)	- (-)	3 (3)
41 ～ 45歳	7 (7)	- (-)	2 (2)	- (-)	1 (1)
46 ～ 50歳	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (3)
51 ～ 55歳	- (-)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	4 (4)
56 ～ 60歳	2 (1)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	- (-)
61 ～ 64歳	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (3)	1 (1)
65 歳 以上	18 (16)	8 (8)	11 (10)	9 (9)	12 (11)
合 計	38 (34)	25 (24)	25 (24)	23 (22)	25 (24)

(注) ()内は姫路市の数値

(1) 火災種別による負傷者

建 物 火 災	23	(23)
林 野 火 災	-	(-)
車 両 火 災	-	(-)
船 舶 火 災	-	(-)
そ の 他 の 火 災	2	(1)
合 計	25	(24)

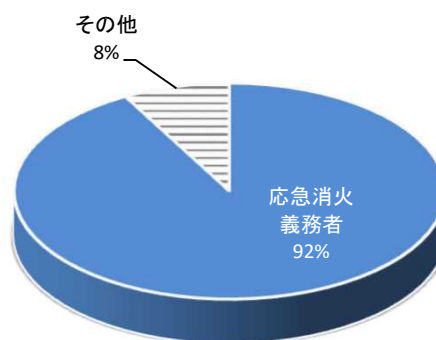
(注) ()内は姫路市の数値



(2) 負傷者の区分

応急消火義務者	23	(22)
消 防 団 員	-	(-)
消 防 吏 員	-	(-)
そ の 他	2	(2)
合 計	25	(24)

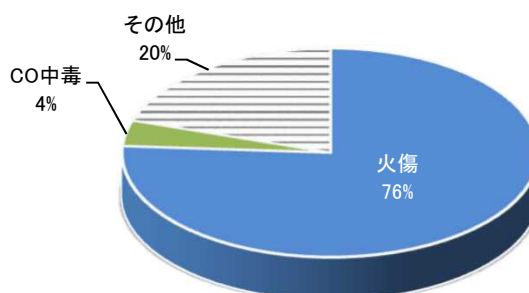
(注) ()内は姫路市の数値



(3) 負傷原因

火 傷	19	(18)
打 撲 ・ 骨 折	-	(-)
C O 中 毒	1	(1)
そ の 他	5	(5)
合 計	25	(24)

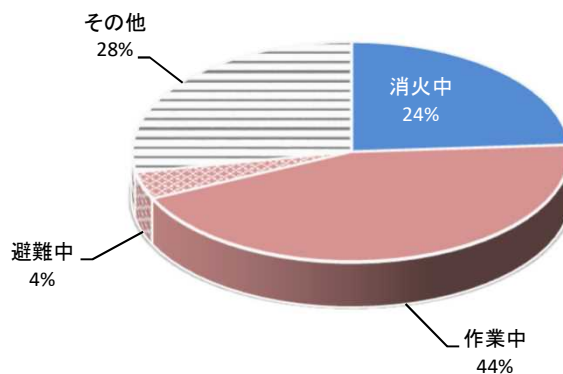
(注) ()内は姫路市の数値



(4) 負傷経過

消 火 中	6	(5)
作 業 中	11	(11)
避 難 中	1	(1)
就 寝 中	-	(-)
そ の 他	7	(7)
合 計	25	(24)

(注) ()内は姫路市の数値



21 自治体消防発足以後の火災概要

									は最高記録		●は原因別第1位				
年次	火災件数		死傷者		り災		焼損面積		損害額 (百万円)	主な出火原因					
										たき火 焼却火	たばこ	こんろ	火遊び	放火 (疑含む)	
昭和24	95	91	1	11	0	0	8,263	158	72	● 9	3	2	6	5	
25	95	79	1	6	0	0	5,118	49	21	● 9	8	● 9	4	6	
26	106	73	1	7	0	0	4,778	850	36	11	● 14	2	3	4	
27	139	92	3	28	0	0	5,091	273	37	● 9	8	6	7	6	
28	151	108	0	7	0	0	3,125	198	27	7	● 17	8	8	5	
29	133	94	1	15	0	0	6,138	225	68	10	● 14	8	6	7	
30	159	112	1	18	0	0	4,656	838	47	● 18	15	9	5	13	
31	192	143	3	28	0	0	3,963	1,090	55	● 18	15	16	12	9	
32	205	137	4	28	0	0	4,959	1,119	47	12	● 35	7	12	16	
33	188	130	1	12	0	0	7,658	4,273	73	18	● 25	19	9	17	
34	179	130	3	22	0	0	4,040	265	58	● 19	18	10	7	13	
35	224	157	3	32	0	0	13,823	3,314	293	● 31	28	12	9	13	
36	254	162	6	31	126	536	7,919	2,595	125	● 35	24	9	14	12	
37	291	202	2	35	143	716	7,954	6,602	96	22	● 37	5	22	9	
38	299	202	3	34	137	629	12,375	3,644	327	36	● 44	22	9	6	
39	312	207	0	17	157	728	5,743	1,553	171	26	● 39	16	32	16	
40	292	190	5	22	160	673	11,141	1,703	364	24	● 59	11	21	14	
41	263	181	4	30	169	566	10,537	1,503	181	24	● 39	17	19	15	
42	292	167	4	38	140	571	5,688	3,809	117	36	● 41	11	19	7	
43	293	202	8	35	146	535	8,486	2,296	299	22	● 45	18	26	8	
44	289	194	7	40	200	728	11,541	1,257	279	27	● 45	22	36	11	
45	345	217	5	51	200	713	16,651	3,406	416	43	● 51	22	35	25	
46	360	226	12	37	192	659	19,743	6,238	593	34	● 53	21	● 62	14	
47	316	220	6	30	183	596	8,004	5,341	401	27	● 55	27	45	17	
48	393	221	1	35	192	728	11,546	4,551	341	56	● 48	37	● 65	16	
49	320	177	13	34	162	713	6,069	4,645	369	41	● 61	23	41	14	
50	343	217	8	31	184	665	12,096	2,050	825	48	● 63	32	38	16	
51	273	191	5	103	174	640	9,863	3,150	817	27	● 49	26	20	19	
52	227	150	6	27	120	444	6,677	578	547	14	● 46	23	23	16	
53	279	168	2	36	114	397	6,524	1,708	501	36	● 55	20	38	21	
54	278	194	10	31	191	680	6,228	1,277	377	29	● 50	31	43	29	
55	261	171	8	44	173	550	6,865	1,722	625	33	● 44	31	42	23	
56	281	204	6	32	198	641	8,975	408	652	23	● 55	41	39	26	
57	272	186	5	28	164	568	12,447	543	1,101	26	● 50	32	46	38	
58	328	219	6	33	158	526	10,022	812	907	38	● 37	36	35	● 56	
59	293	159	15	23	143	484	4,287	1,485	279	● 56	45	25	33	41	
60	357	211	7	38	183	630	7,852	296	475	49	57	45	38	● 76	
61	328	204	10	36	184	602	7,199	3,265	658	37	51	49	28	● 64	
62	293	193	11	38	172	576	9,222	2,343	791	29	45	40	45	● 64	
63	299	194	23	31	159	483	5,573	958	474	32	49	44	28	● 60	
平成元	255	164	7	30	114	388	5,124	311	447	28	33	38	24	● 51	
2	301	183	5	46	201	632	6,261	328	688	37	37	56	14	● 58	
3	336	210	6	42	188	539	4,706	4,290	519	31	52	49	29	● 69	
4	282	173	8	24	139	441	3,963	72	417	30	46	38	27	● 52	
5	268	168	10	28	158	495	6,722	103	649	21	34	33	25	● 53	
6	352	176	14	23	154	510	9,733	136	2,699	66	56	35	28	● 77	
7	296	170	7	31	164	512	5,156	1,576	571	40	43	35	20	● 73	
8	309	163	14	33	154	424	7,983	4,823	688	46	48	28	25	● 69	
9	285	164	3	31	142	420	11,700	2,618	965	38	35	21	23	● 101	
10	261	154	8	34	137	404	4,681	41	546	17	29	36	17	● 89	
11	261	160	14	28	131	373	6,301	75	808	16	33	43	20	● 62	
12	334	171	3	55	125	369	5,192	5,410	742	27	38	33	25	● 83	
13	302	156	8	37	132	362	4,560	129	329	29	34	26	12	● 90	
14	366	183	8	36	189	494	9,102	135	799	38	50	27	13	● 128	
15	317	173	4	42	104	264	6,787	27	475	17	31	27	16	● 128	
16	294	150	7	22	100	295	4,496	312	511	22	27	23	16	● 83	
17	293	147	10	52	133	379	7,018	61	538	29	41	35	13	● 89	
18	261	169	15	48	157	417	6,255	739	731	14	29	32	13	● 66	
19	290	159	12	47	133	328	5,835	999	637	33	42	26	14	● 67	
20	254	133	12	26	91	211	6,876	88	631	27	30	16	21	● 48	
21	297	146	6	33	124	274	6,886	59	616	37	39	18	14	● 101	
22	281	159	9	41	127	351	4,462	66	1,060	35	31	26	9	● 74	
23	302	150	2	25	97	233	4,662	6,361	313	34	34	29	24	● 84	
24	259	143	16	72	124	295	9,108	14	941	28	23	21	9	● 72	
25	235	103	10	21	63	161	5,996	873	343	● 43	20	12	8	42	
26	196	94	8	38	78	200	6,066	15	607	● 31	25	13	6	24	
27	193	95	7	25	70	186	4,697	381	315	29	19	13	12	● 37	
28	138	83	3	18	77	155	4,116	16	305	● 20	● 20	10	5	16	
29	187	83	3	24	53	123	2,330	249	294	● 47	29	10	3	21	
30	180	86	10	31	62	119	2,810	46	308	● 39	17	7	3	28	
令和元	176	96	5	29	57	138	2,548	43	142	● 42	18	10	4	27	
2	197	101	8	38	111	195	6,779	3,443	493	● 31	21	11	4	27	
3	164	98	7	25	76	174	3,923	11	256	22	17	14	1	● 30	
4	167	86	8	25	60	152	3,800	45	324	● 36	17	11	2	18	
5	181	100	4	23	88	169	3,726	23	455	● 29	28	7	1	27	
6	158	82	5	25	53	117	3,267	5	361	● 27	11	11	6	19	

【救 急】

1 救急出場件数

区 分	姫路市消防局				姫路市			管轄外	
	出場 件数	前年 件数	前年 比	構成 比	出場 件数	前年 件数	前年 比	出場 件数	前年 比
火 災	191	255	▲ 64	0. 6	171	237	▲ 66	3	-
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	21	20	1	0. 1	21	19	2	-	-
交通事故	2, 234	2, 255	▲ 21	6. 3	2, 119	2, 129	▲ 10	5	▲ 3
労働災害	350	304	46	1. 0	319	279	40	-	▲ 1
運動競技	177	158	19	0. 5	168	153	15	-	-
一般負傷	5, 683	5, 314	369	16. 1	5, 318	4, 947	371	-	▲ 2
加 害	142	142	-	0. 4	138	141	▲ 3	-	-
自損行為	264	307	▲ 43	0. 7	245	283	▲ 38	-	-
急 病	22, 776	22, 398	378	64. 6	21, 354	20, 914	440	4	2
転院搬送	3, 357	3, 083	274	9. 5	3, 156	2, 889	267	-	-
その他	83	106	▲ 23	0. 2	78	98	▲ 20	-	-
合 計	35,278	34,342	936	100.0	33,087	32,089	998	12	▲ 4

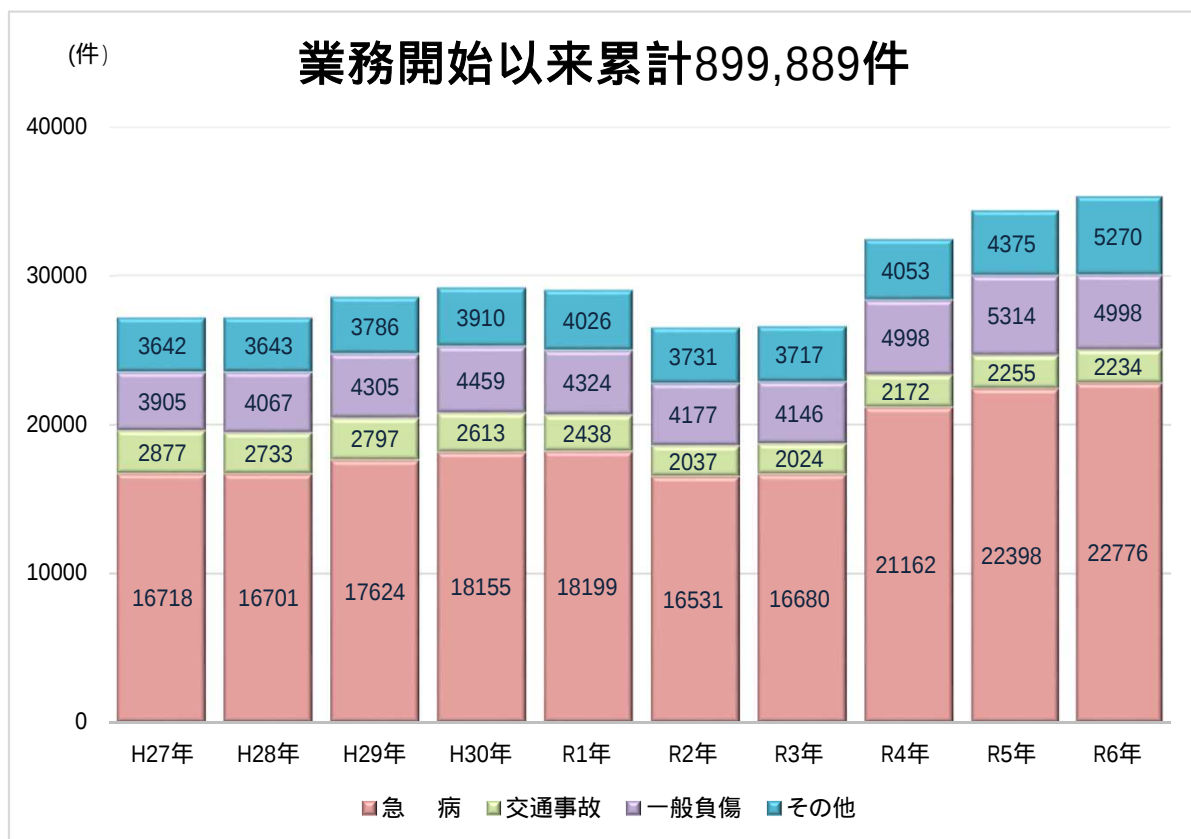
区 分 (受託町等)	受託町合計			市川町			福崎町			神河町		
	出場 件数	前年 件数	前年 比	出場 件数	前年 件数	前年 比	出場 件数	前年 件数	前年 比	出場 件数	前年 件数	前年 比
火 災	17	15	2	3	3	-	12	7	5	2	5	▲ 3
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	-	1	▲ 1	-	-	-	-	-	-	-	1	▲ 1
交通事故	110	118	▲ 8	34	25	9	47	65	▲ 18	29	28	1
労働災害	31	24	7	6	3	3	19	16	3	6	5	1
運動競技	9	5	4	4	1	3	5	4	1	-	-	-
一般負傷	365	365	-	108	100	8	137	164	▲ 27	120	101	19
加 害	4	1	3	1	-	1	3	1	2	-	-	-
自損行為	19	24	▲ 5	4	7	▲ 3	7	11	▲ 4	8	6	2
急 病	1, 418	1, 482	▲ 64	433	430	3	621	636	▲ 15	364	416	▲ 52
転院搬送	201	194	7	19	15	4	99	104	▲ 5	83	75	8
その他	5	8	▲ 3	1	1	-	3	4	▲ 1	1	3	▲ 2
合 計	2,179	2,237	▲ 58	613	585	28	953	1,012	▲ 59	613	640	▲ 27

2 救急出場件数の推移

業務開始以来、累計899,889件の救急に出場しています。

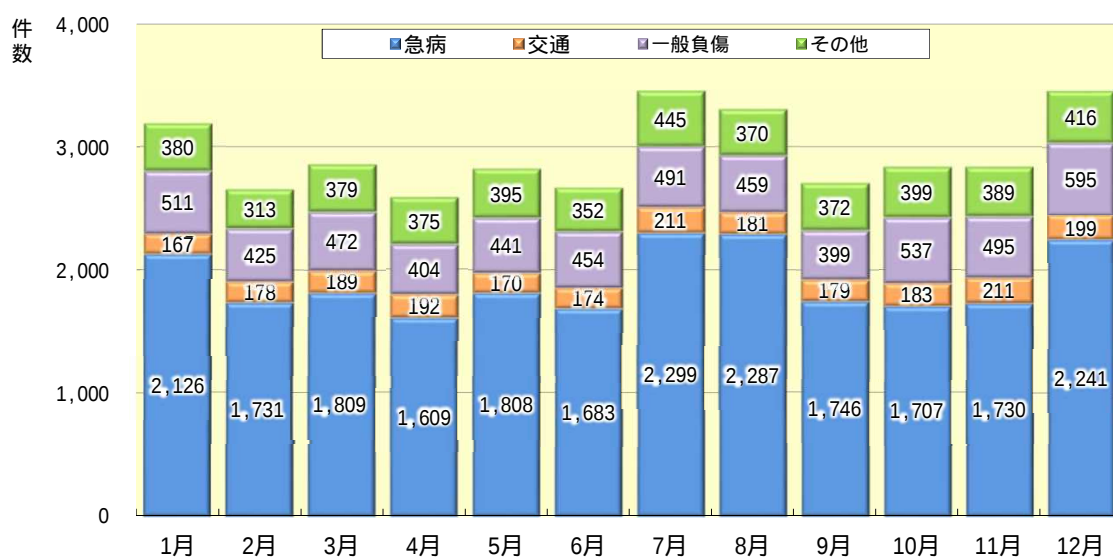
年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和33年	81	昭和50年	6,415	平成4年	10,010	平成21年	22,827
34年	91	51年	6,407	5年	10,492	22年	24,291
35年	257	52年	6,317	6年	10,761	23年	26,046
36年	494	53年	6,638	7年	12,063	24年	26,892
37年	698	54年	6,765	8年	12,321	25年	27,177
38年	1,114	55年	7,280	9年	12,813	26年	27,117
39年	1,817	56年	7,404	10年	13,331	27年	27,142
40年	2,214	57年	7,869	11年	14,144	28年	27,144
41年	2,837	58年	8,312	12年	15,428	29年	28,512
42年	3,062	59年	8,492	13年	16,195	30年	29,137
43年	3,181	60年	8,659	14年	16,955	令和元年	28,987
44年	3,972	61年	8,445	15年	17,739	2年	26,476
45年	4,918	62年	8,495	16年	18,802	3年	26,567
46年	5,499	63年	9,049	17年	19,671	4年	32,385
47年	6,172	平成元年	9,660	18年	19,340	5年	34,342
48年	6,412	平成2年	9,779	19年	22,679	6年	35,278
49年	6,021	3年	10,006	20年	21,993		
法制化				事務受託開始			

3 過去10年間の救急出場件数の推移



4 月別出場件数

12月が3,451件で最も多く、次いで7月(3,446件)、8月(3,297件)の順となっています。



5 曜日別出場件数

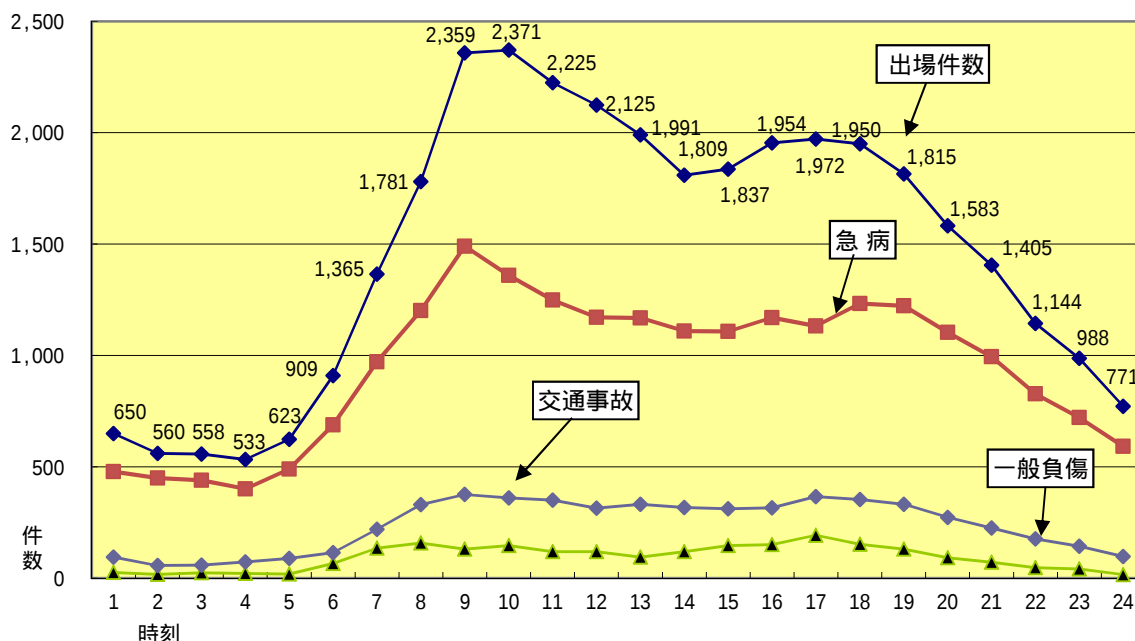
曜日別出場件数は、月曜日(100.8件)、土曜日(98.7件)の出場が多くなっています。

曜 日	合 計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件 数	35,278 (33,087)	5,037 (4,711)	5,340 (5,029)	5,199 (4,878)	4,739 (4,470)	4,753 (4,447)	5,080 (4,743)	5,130 (4,809)
1 日平均	96.4 (90.4)	96.9 (90.6)	100.8 (94.9)	98.1 (92.0)	91.1 (86.0)	91.4 (85.5)	97.7 (91.2)	98.7 (92.5)
比 率 (%)	100.0	14.3	15.1	14.7	13.4	13.5	14.4	14.5
日 数	366	52	53	53	52	52	52	52

(参考) 1日最高は、12月30日(月)に159件を記録し、過去最多出場となりました。
()内は姫路市の数値です。

6 時間別出場件数

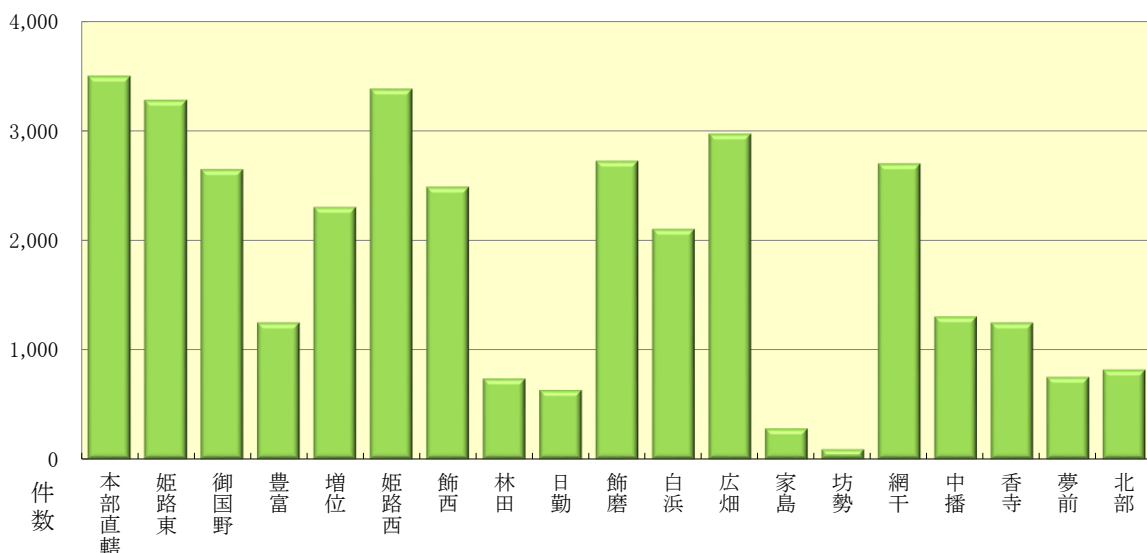
時間別出場件数は、10時台(6.5件)、9時台(6.46件)の出場が多くなっています。



7 隊別活動状況

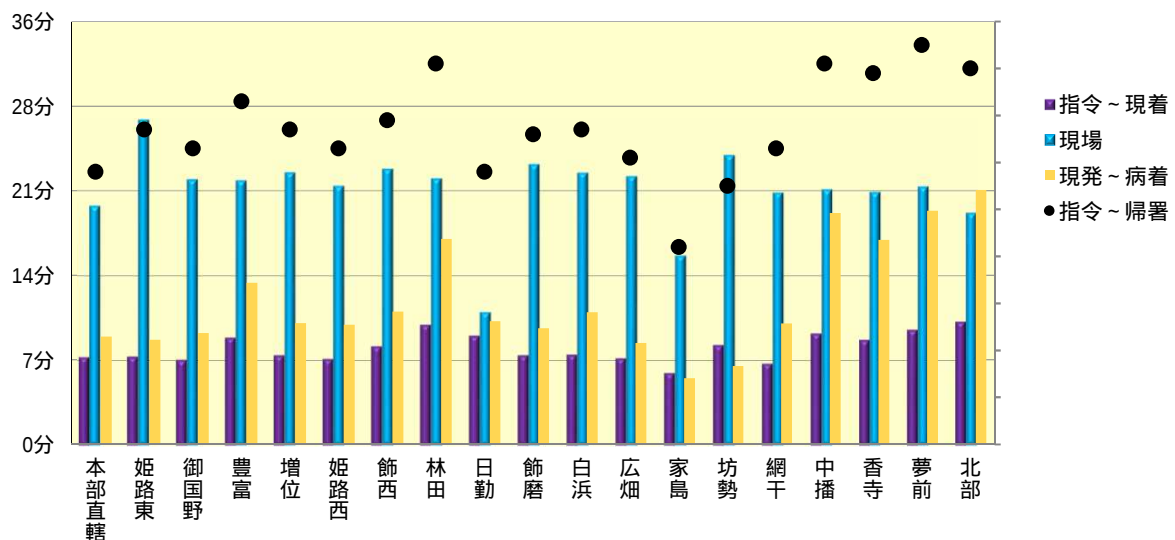
区 分		署・隊別				消防局	姫 路 東 消 防 署			
		今年	前年数	前年比		本部直轄	姫路東	御国野	豊富	増位
出場状況	出 場 件 数 (件)	35,278	34,342	936		3,505	3,285	2,652	1,252	2,308
	比 率 (%)	100.0	—	—		9.9	9.3	7.5	3.6	6.5
	前 年 出 場 件 数 (件)	34,342	—	—		3,319	3,221	2,552	1,251	2,306
	前 年 比 (件)	936	—	—		186	64	100	1	2
搬 送 人 員 (人)		28,952	27,250	1,702		2,751	2,477	2,129	997	1,827
不 搬 送 件 数 (件)		6,461	7,197	▲736		768	820	540	261	484
1 日 平 均 (件)		96.4	94.1	2.3		9.6	9.0	7.3	3.4	6.3
1 日 最 高 (件)		159	142	17		21	15	15	10	13
急 病 の 割 合 (%)		64.6	65.2	▲0.7		64.4	65.9	68.2	63.3	68.9
交 通 事 故 の 割 合 (%)		6.3	6.6	▲0.2		8.5	6.5	6.6	6.6	5.4
一 般 負 傷 の 割 合 (%)		16.1	15.5	0.6		16.6	16.1	14.9	17.1	17.1
転 院 搬 送 の 割 合 (%)		9.5	9.0	0.5		7.3	7.5	6.0	9.6	6.0
常置場所以外からの出場件数 (件)		3,710	3,512	198		275	377	265	184	235
連 続 出 場 (件)		3,288	2,969	319		271	351	245	110	204
ドクターカー連携 (件)		481	483	▲2		75	68	50	23	43
ドクターヘリ連携 (件)		44	75	▲31		—	—	—	—	—
1 件 当たりの 所要時間	受 付 ～ 指 令	1' 53"	1' 44"	0' 09"		1' 54"	1' 51"	1' 48"	1' 49"	1' 48"
	指 令 ～ 現 場	7' 53"	7' 47"	0' 06"		7' 28"	7' 32"	7' 15"	9' 08"	7' 39"
	現 場	22' 26"	22' 54"	▲0' 28"		20' 18"	27' 37"	22' 33"	22' 27"	23' 09"
	現 場 ～ 病 院	11' 15"	11' 22"	▲0' 07"		9' 09"	8' 54"	9' 27"	13' 45"	10' 19"
	病 院	13' 45"	14' 53"	▲1' 08"		14' 38"	16' 33"	13' 06"	13' 16"	14' 22"
	現 着 ～ 病 着	33' 41"	34' 16"	▲0' 35"		29' 27"	36' 31"	32' 00"	36' 11"	33' 28"
	指 令 ～ 帰 署	66' 43"	67' 03"	▲0' 20"		58' 18"	67' 25"	63' 25"	73' 02"	67' 01"
1 件 当たりの 走行距離 (k m)	出 場 ～ 現 場	3.8	3.8	—		3.1	3.2	3.5	5.2	3.1
	現 場 ～ 病 院	7.9	8.1	▲0.2		5.3	5.7	6.3	10.1	6.5
	出 場 ～ 帰 署	19.7	20.0	▲0.3		13.9	14.4	15.6	26.1	16.7
全 所 要 時 間 (時間)		39,227	38,375	852		3,406	3,691	2,803	1,524	2,578

・ 隊別出動件数の比較



姫路西消防署				飾磨消防署					網干署	中播消防署			
姫路西	飾西	林田	日勤	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部
3,387	2,491	739	634	2,727	2,108	2,976	284	92	2,704	1,307	1,252	754	821
9.6	7.1	2.1	1.8	7.7	6.0	8.4	0.8	0.3	7.7	3.7	3.6	2.1	2.3
3,663	2,387	718	-	2,680	2,123	2,867	264	122	2,605	1,338	1,299	767	860
▲276	104	21	634	47	▲15	109	20	▲30	99	▲31	▲47	▲13	▲39
2,968	2,066	651	633	2,272	1,645	2,481	264	83	2,235	1,086	1,090	636	661
434	436	92	1	465	474	505	21	9	475	224	165	125	162
9.3	6.8	2.0	1.7	7.5	5.8	8.1	0.8	0.3	7.4	3.6	3.4	2.1	2.2
17	13	7	7	16	15	14	4	3	15	11	10	9	7
60.6	65.8	66.2	1.7	65.6	66.6	65.1	58.5	53.3	68.4	67.5	67.8	67.5	65.4
5.4	6.0	6.0	0.2	7.6	7.0	7.7	1.4	7.6	6.0	4.7	4.8	6.2	4.4
16.8	16.6	18.3	-	15.6	16.2	15.9	15.1	17.4	16.9	16.8	16.8	15.4	18.4
13.5	8.4	6.0	98.1	7.9	5.7	7.5	23.9	19.6	5.4	7.5	6.7	6.6	9.9
369	251	100	65	378	226	306	15	3	327	76	110	97	51
349	235	55	62	368	204	293	3	-	312	52	67	75	32
36	38	10	-	26	21	28	1	-	17	16	17	9	3
-	-	3	-	-	-	-	6	6	3	10	2	5	9
1'45"	1'43"	1'35"	2'02"	2'51"	1'54"	1'59"	1'44"	1'42"	1'43"	1'39"	1'38"	1'33"	1'34"
7'20"	8'24"	10'14"	9'18"	7'38"	7'41"	7'24"	6'09"	8'30"	6'56"	9'30"	8'56"	9'48"	10'30"
22'00"	23'26"	22'38"	11'17"	23'49"	23'07"	22'49"	16'05"	24'37"	21'25"	21'42"	21'29"	21'56"	19'42"
10'10"	11'17"	17'29"	10'28"	9'52"	11'14"	8'37"	5'38"	6'40"	10'17"	19'41"	17'23"	19'53"	21'38"
12'04"	13'08"	12'19"	11'00"	15'24"	16'29"	13'36"	10'14"	8'56"	13'48"	10'40"	13'11"	12'12"	11'49"
32'10"	34'43"	40'07"	21'45"	33'40"	34'21"	31'26"	21'43"	31'17"	31'42"	41'23"	38'52"	41'49"	41'21"
63'24"	69'26"	81'49"	58'22"	66'13"	67'22"	61'08"	42'08"	55'32"	63'06"	81'30"	79'21"	85'24"	80'13"
3.5	4.0	7.2	6.0	3.6	3.6	3.2	1.1	1.6	3.1	5.1	4.2	6.3	6.5
6.3	7.2	13.6	8.4	6.2	7.5	5.6	1.4	2.9	6.9	18.2	14.8	16.7	21.8
15.8	18.4	35.2	22.4	15.9	19.3	14.5	3.7	6.7	17.8	40.7	34.0	40.0	48.0
3,579	2,883	1,008	617	3,009	2,367	3,032	199	85	2,844	1,775	1,656	1,073	1,098

・隊別1件当たりの所要時間の比較



8 小学校区別出場状況

校区別出場件数は、前年に比べ城東・高岡・飾磨・英賀保・高浜校区が増加しています。

校区		令和6年	令和5年	前年比
合 計		35,278	34,342	936
姫路東消防署	小 計	9,620	9,363	257
	白 鷺	1,791	1,776	15
	野 里	575	554	21
	城 東	751	644	107
	東	618	565	53
	花 田	634	642	▲ 8
	城 北	370	353	17
	広 峰	531	549	▲ 18
	水 上	427	425	2
	砥 堀	494	510	▲ 16
	城 乾	274	232	42
	増 位	485	492	▲ 7
	四 郷	500	467	33
	御 国 野	563	516	47
	別 所	422	433	▲ 11
	谷 外	327	327	-
	谷 内	105	119	▲ 14
	豊 富	413	393	20
	山 田	103	115	▲ 12
	船 津	237	251	▲ 14
姫路西消防署	小 計	9,403	9,055	348
	城 陽	1,143	1,083	60
	手 柄	863	869	▲ 6
	船 場	582	608	▲ 26
	荒 川	885	862	23
	高 岡	1,062	922	140
	安 室	552	497	55
	城 西	480	488	▲ 8
	安 室 東	572	511	61
	高 岡 西	600	636	▲ 36
	曽 左	650	629	21
	白 鳥	591	531	60
	太 市	120	97	23
	林 田	234	215	19
	伊 勢	57	65	▲ 8
	峰 相	254	243	11
	青 山	538	513	25
	安 富 南	201	258	▲ 57
	安 富 北	19	28	▲ 9
	小 計	8,487	8,196	291
飾磨消防署	飾 磨	1,363	1,248	115
	津 田	600	677	▲ 77
	英 賀 保	1,057	936	121
	高 浜	825	691	134
	妻 鹿	257	231	26
	広 畑	497	499	▲ 2
	広畑第二	541	529	12
	八 幡	886	830	56

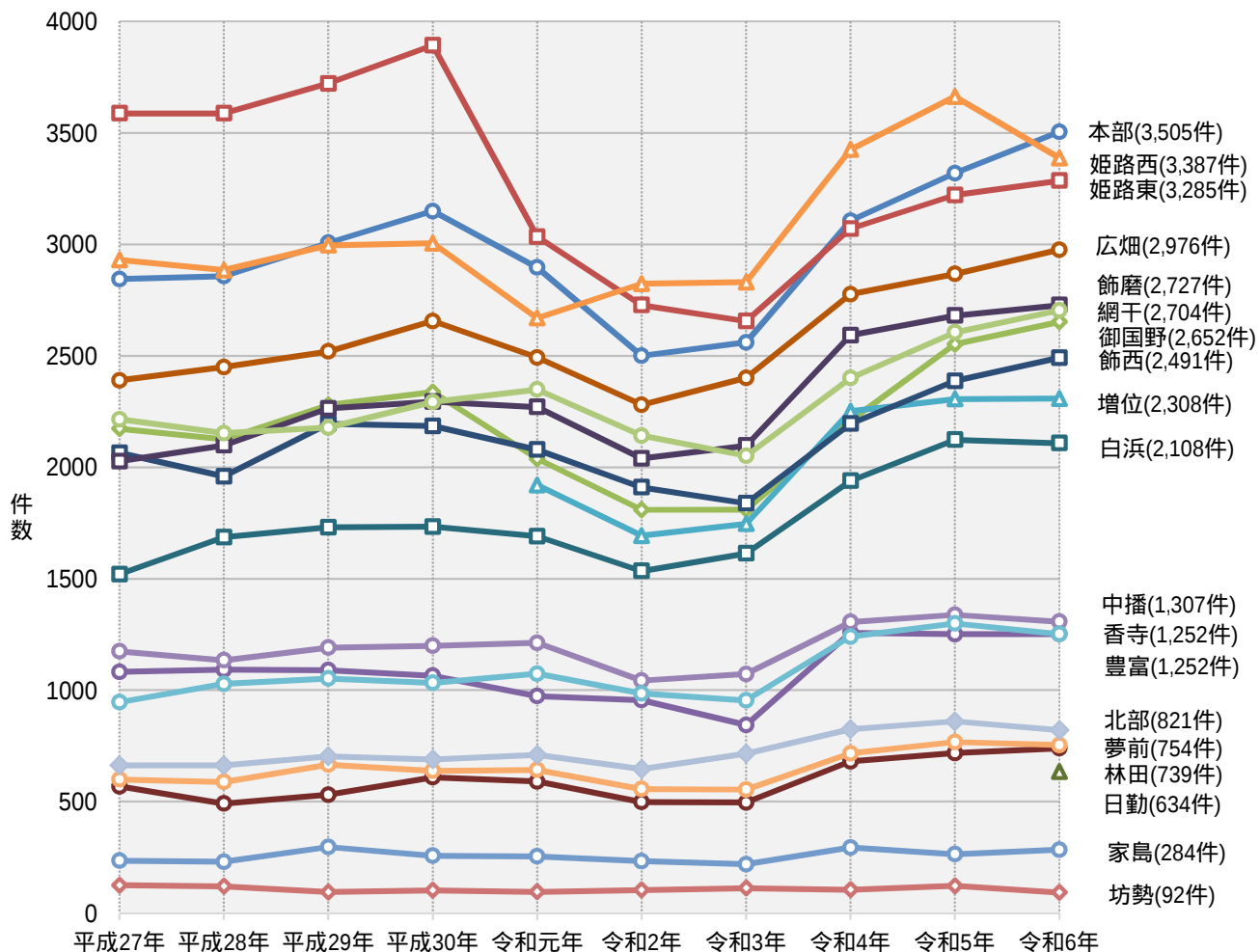
校区		令和6年	令和5年	前年比
飾磨消防署	白 浜	806	875	▲ 69
	八 木	114	120	▲ 6
	系 引	490	474	16
	的 形	266	299	▲ 33
	大 塩	408	401	7
	家 島	285	264	21
	坊 勢	92	122	▲ 30
網干消防署	小 計	3,685	3,602	83
	大 津	695	658	37
	大 津 茂	199	206	▲ 7
	南 大 津	370	323	47
	網 干	563	563	-
	旭 陽	603	550	53
	勝 原	640	719	▲ 79
	余 部	241	225	16
	網 干 西	374	358	16
	小 計	4,071	4,110	▲ 39
中播磨消防署	置 塩	185	214	▲ 29
	古 知	98	99	▲ 1
	前 之 庄	333	306	27
	紡 野	60	73	▲ 13
	上 菅	107	88	19
	菅 生	211	163	48
	香 呂	445	458	▲ 13
	香 呂 南	97	123	▲ 26
	中 寺	356	349	7
	福 崎	385	399	▲ 14
	高 岡	60	63	▲ 3
	田 原	387	415	▲ 28
	八 千 種	121	135	▲ 14
	川 辺	195	173	22
	甘 地	168	149	19
	瀬 加	104	106	▲ 2
	鶴 居	146	157	▲ 11
	神 崎	384	417	▲ 33
	寺 前	180	182	▲ 2
	長 谷	49	41	8
管 外		12	16	▲ 4

管外とは、近隣市町への出場です。

9 隊別救急出場の推移

本部直轄救急隊が最も多く出場し、年間出場件数3,505件で1日平均9.6件となっております。

年次		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分	本 部 直 轄	2,844	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500	2,560	3,106	3,319	3,505
	姫 路 東	3,587	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727	2,655	3,070	3,221	3,285
姫 路 東	御 国 野	2,173	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809	1,810	2,208	2,552	2,652
	豊 富	1,082	1,092	1,090	1,065	973	955	844	1,257	1,251	1,252
増 位		-	-	-	-	1,920	1,693	1,746	2,251	2,306	2,308
	姫 路 西	2,930	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823	2,830	3,425	3,663	3,387
姫 路 西	飾 西	2,064	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910	1,838	2,195	2,387	2,491
	林 田	568	491	531	609	590	498	496	680	718	739
日 勤		-	-	-	-	-	-	-	-	-	634
	飾 磨	2,027	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039	2,097	2,592	2,680	2,727
飾 磨	白 浜	1,520	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534	1,613	1,939	2,123	2,108
	広 畑	2,390	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280	2,401	2,776	2,867	2,976
家 島		235	230	296	257	254	233	219	294	264	284
	坊 勢	125	120	94	102	95	103	112	105	122	92
網 干		2,215	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142	2,051	2,400	2,605	2,704
中 播	中 播	1,174	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043	1,072	1,306	1,338	1,307
	香 寺	946	1,028	1,052	1,033	1,074	985	954	1,240	1,299	1,252
夢 前		599	588	666	638	642	556	554	716	767	754
	北 部	663	662	703	689	710	646	715	825	860	821
合 計		27,142	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476	26,567	32,385	34,342	35,278



10 事故別・傷病程度別搬送人員

		合 計		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	その他		前	前
				災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	そ	年	年
合 計		28,952 (100.0)		20 (0.1)	- (-)	11 (0.0)	1,868 (6.5)	331 (1.1)	167 (0.6)	4,775 (16.5)	99 (0.3)	154 (0.5)	18,190 (62.8)	3,336 (11.5)	1 (0.0)	27,250	1,702
姫路市消防局	死 亡		312	-	-	1	8	1	-	24	1	11	266	-	-	309	3
	重 篤		250	-	-	-	5	5	-	17	-	5	214	4	-	252	▲2
	重 症	28,952 (100.0)	791	3	-	-	68	21	-	69	7	7	501	115	-	886	▲95
	中等症		15,879	13	-	8	484	147	35	2,163	16	83	9,846	3,083	1	14,561	1,318
	軽 症		11,720	4	-	2	1,303	157	132	2,502	75	48	7,363	134	-	11,242	478
姫路市	死 亡		286	-	-	1	6	1	-	21	1	10	246	-	-	280	6
	重 篤		233	-	-	-	5	4	-	16	-	5	199	4	-	236	▲3
	重 症	27,155 (93.8)	743	2	-	-	61	21	-	67	7	6	474	105	-	831	▲88
	中等症		14,878	13	-	8	460	127	34	2,008	15	79	9,227	2,906	1	13,536	1,342
	軽 症		11,015	3	-	2	1,243	148	126	2,363	74	47	6,887	122	-	10,596	419
小 計			27,155	18	-	11	1,775	301	160	4,475	97	147	17,033	3,137	1	25,479	1,676
市川町	死 亡		4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	6	▲2
	重 篤		4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	4	-
	重 症	492 (1.7)	16	-	-	-	3	-	-	-	-	1	12	-	-	15	1
	中等症		270	-	-	-	5	4	1	46	-	2	195	17	-	255	15
	軽 症		198	-	-	-	18	1	2	42	-	-	133	2	-	185	13
小 計			492	-	-	-	26	6	3	89	-	3	346	19	-	465	27
福崎町	死 亡		9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	9	-
	重 篤		10	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	-	-	6	4
	重 症	779 (2.7)	12	-	-	-	2	-	-	-	-	-	9	1	-	22	▲10
	中等症		397	-	-	-	10	13	-	47	1	-	238	88	-	462	▲65
	軽 症		351	-	-	-	27	6	4	63	1	1	240	9	-	324	27
小 計			779	-	-	-	39	19	4	111	2	2	504	98	-	823	▲44
神河町	死 亡		13	-	-	-	2	-	-	2	-	-	9	-	-	14	▲1
	重 篤		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	6	▲3
	重 症	519 (1.8)	20	1	-	-	2	-	-	2	-	-	6	9	-	18	2
	中等症		332	-	-	-	8	3	-	62	-	2	185	72	-	305	27
	軽 症		151	-	-	-	14	2	-	34	-	-	100	1	-	133	18
小 計			519	1	-	-	26	5	-	100	-	2	303	82	-	476	43
管外	死 亡		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 篤		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 症	7 (0.0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中等症		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	▲1
	軽 症		5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	4	1
小 計			7	1	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	7	-

() 内の数値は構成比 (%)

重篤：生命の危険が切迫しているもの。
重症：3週間以上の入院加療を要するもの。

中等症：3週間未満の入院加療を要するもの。
軽症：入院加療を必要としないもの。

11 年齢別・事故別搬送人員

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者
急 病	18,190 (62.8)	15 (0.1)	870 (3.0)	511 (1.8)	5,032 (17.4)	11,762 (40.6)
交 通	1,868 (6.5)	- (-)	46 (0.2)	207 (0.7)	1,025 (3.5)	590 (2.0)
一 般	4,775 (16.5)	1 (0.0)	378 (1.3)	196 (0.7)	802 (2.8)	3,398 (11.7)
その他	4,119 (14.2)	12 (0.0)	57 (0.2)	190 (0.7)	1,377 (4.8)	2,483 (8.6)
合 計	28,952 (100.0)	28 (0.1)	1,351 (4.7)	1,104 (3.8)	8,236 (28.4)	18,233 (63.0)

年齢区分

()内の数値は構成比(%)

新生児: 生後28日未満の者

成人: 満18歳以上65歳未満の者

12 年齢別・傷病程度別搬送人員

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者
死亡	312 (1.1)	- (-)	2 (0.0)	- (-)	44 (0.2)	266 (0.9)
重篤	250 (0.9)	- (-)	3 (0.0)	1 (0.0)	57 (0.2)	189 (0.7)
重症	791 (2.7)	3 (0.0)	11 (0.0)	13 (0.0)	192 (0.7)	572 (2.0)
中等症	15,879 (54.8)	13 (0.0)	365 (1.3)	284 (1.0)	3,513 (12.1)	11,704 (40.4)
軽症	11,720 (40.5)	12 (0.0)	970 (3.4)	806 (2.8)	4,430 (15.3)	5,502 (19.0)
合 計	28,952 (100.0)	28 (0.1)	1,351 (4.7)	1,104 (3.8)	8,236 (28.4)	18,233 (63.0)

年齢区分

()内の数値は構成比(%)

新生児: 生後28日未満の者

成人: 満18歳以上65歳未満の者

13 過去5年間の傷病程度構成比の推移

軽症・中等症が9割以上を占めています。



14 応急処置実施状況

区 分		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
止 血		892	121	134	549	88
固 定		1,076	29	535	368	144
人 工 呼 吸		180	151	2	16	11
胸 骨 圧 迫		50	47	0	2	1
心 肺 蘇 生		521	449	11	39	22
酸 素 吸 入		4,591	3,252	107	196	1,036
気道確保(特定行為以外)		771	649	19	61	42
保 温		887	585	80	107	115
被 覆		2,241	119	502	1,396	224
在 宅 療 法		197	176	1	20	0
除 細 動		43	41	1	—	1
そ の 他		41,843	28,040	2,487	6,548	4,768
特定行為	気 道 確 保	416	366	7	29	14
	(うち気管挿管)	(22)	(11)	(0)	(11)	(0)
	アドレナリン投与	148	125	5	12	6
	輸 液	438	384	12	21	21
	(うち心肺停止前輸液)	(134)	(116)	(6)	(4)	(8)
	血 糖 測 定	548	527	5	13	3
ブドウ糖 投 与		74	74	—	—	—
合 計		54,916	35,135	3,908	9,377	6,496

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。
特定行為については、実施対象者数です。

15 救命率

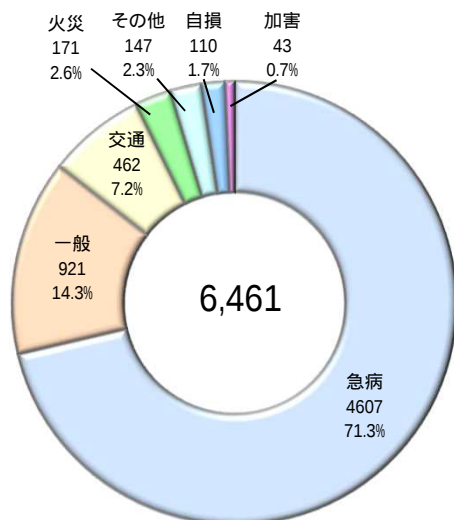
救急隊が搬送した心肺停止患者530人中、生存者(30日以上生存されている方)は35人で、うち15人が社会復帰されています。

区 分	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救急隊による心肺停止患者搬送者数	530	-	-	1	11	4	-	40	1	16	457	-
上記のうち市民による心肺蘇生法実施者数	249	-	-	-	2	3	-	22	-	6	216	-
1日以上7日未満生存	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-
7日以上30日未満生存	10	-	-	-	-	-	-	2	-	-	8	-
30日以上生存	35	-	-	-	1	1	-	2	-	-	31	-
30日以上生存の内、社会復帰	15	-	-	-	1	1	-	-	-	-	13	-
発生場所	個人住宅	305	-	-	-	-	-	21	-	8	276	-
	共同住宅	55	-	-	-	-	-	2	1	4	48	-
	福祉施設等	102	-	-	-	-	-	13	-	2	87	-
	一般道・高速道	20	-	-	-	8	-	1	-	-	11	-
	その他の屋外・屋内	4	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-
	ホテル・デパート等	17	-	-	-	-	-	1	-	1	15	-
	工場・作業場等	11	-	-	-	4	-	-	-	1	6	-
	病院・診療所等	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
	JR姫路駅・構内	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	デモ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広場・遊園地・空地等	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	山・川・池・海等	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
	その他の	8	-	-	-	1	-	1	-	-	6	-
年齢	3歳未満	5	-	-	-	1	-	1	-	-	3	-
	4～6歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7～15歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16～19歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	20～29歳	7	-	-	1	-	1	1	-	3	1	-
	30～39歳	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
	40～49歳	17	-	-	-	1	1	-	-	4	11	-
	50～59歳	39	-	-	-	2	-	1	-	3	33	-
	60～69歳	54	-	-	-	1	-	1	-	2	50	-
	70～79歳	129	-	-	-	1	1	14	-	3	110	-
	80～89歳	193	-	-	-	4	-	14	-	-	175	-
	90歳以上	83	-	-	-	1	-	8	1	1	72	-

市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

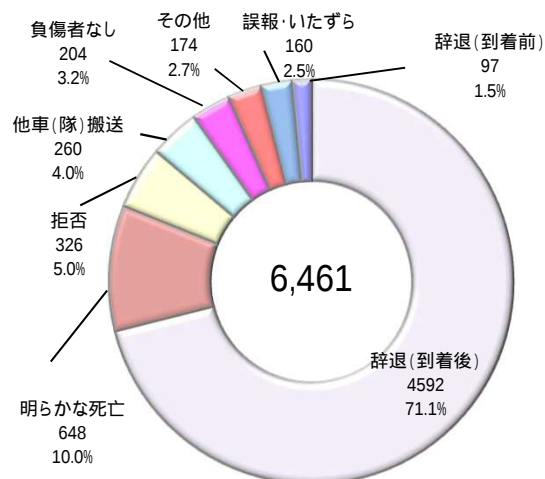
16 不搬送状況

出場件数35,278件に対する不搬送件数は6,461件(18.1%)です。



17 不搬送理由

不搬送理由のうち辞退及び拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



18 市民処置状況

実施者区分 応急処置区分	合 計	本人 ・ 家族	医療 従事 者	知人 ・ 同僚	職員 ・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
C P R	23	9	6	4	-	-	-	-	4	-
胸 骨 圧 迫	267	139	39	15	2	-	4	1	66	1
人 工 呼 吸	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
気 道 確 保	8	1	2	2	-	-	-	-	3	-
創傷・緊縛処置	53	30	-	8	-	1	1	3	9	1
移動体位管理	35	25	-	3	-	1	1	-	5	-
除 細 動	8	-	1	4	-	-	-	-	3	-
固 定 処 置	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
保 温	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
そ の 他	28	17	2	5	-	-	-	1	3	-
合 計	425	221	51	42	2	3	6	5	93	2

救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。

【救 助】

1 救助出動・活動状況

令和6年中における姫路市消防局の救助出動件数は、636件で前年より45件減少となり、活動件数は400件で19件増加となっています。

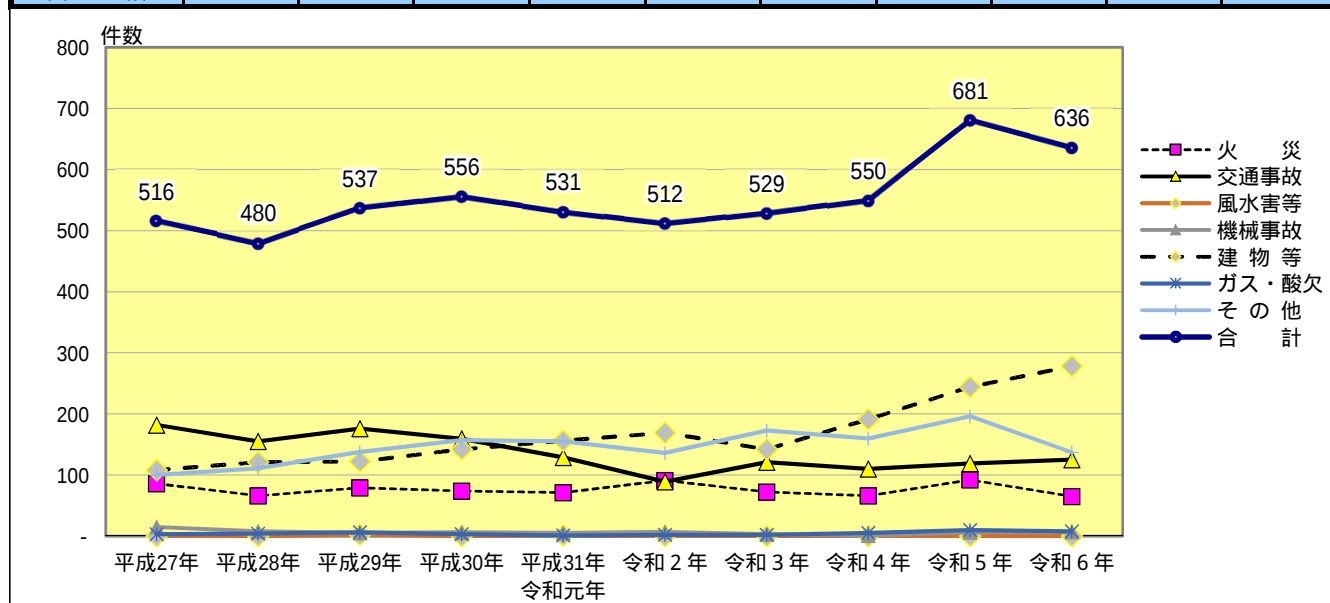
区 分		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	その他
総 数	出動件数	636	65	125	16	-	7	278	8	137
	前年出動件数	681	92	119	14	-	6	244	10	196
	前年比	▲45	▲27	6	2	-	1	34	▲2	▲59
	構 成 比 (%)	100.0	10.2	19.7	2.5	-	1.1	43.7	1.3	21.5
	活動件数	400	11	62	15	-	6	259	7	40
	前年活動件数	381	18	57	11	-	4	224	9	58
	前年比	19	▲7	5	4	-	2	35	▲2	▲18
	活 動 率 (%)	62.9	16.9	49.6	93.8	-	85.7	93.2	87.5	29.2
	救助人員	267	4	69	15	-	6	131	2	40
	前年救助人員	360	97	55	8	-	4	133	6	57
	前年比	▲93	▲93	14	7	-	2	▲2	▲4	▲17
	1件当たりの人員	1	0	1	1	-	1	1	0	1
	活動人員	4,187	101	649	266	-	72	2494	120	485
	前年活動人員	4,084	102	659	215	-	56	2194	167	691
	前年比	103	▲1	▲10	51	-	16	300	▲47	▲206
	1件当たりの人員	10	9	10	18	-	12	10	17	12
姫 路 市	出動件数	588	54	107	16	-	6	269	7	129
	前年比	▲53	▲31	▲2	3	-	1	33	▲3	▲54
	構 成 比 (%)	100.0	9.2	18.2	2.7	-	1.0	45.7	1.2	21.9
	活動件数	377	9	53	15	-	5	253	6	36
	前年比	15	▲6	1	5	-	2	34	▲3	▲18
	活 動 率 (%)	64.1	16.7	49.5	93.8	-	83.3	94.1	85.7	27.9
	救助人員	248	4	59	15	-	5	127	2	36
	前年比	▲97	▲93	7	8	-	2	▲2	▲4	▲15
	1件当たりの人員	1		1	1	-	1	1		1
市 川 町	出動件数	11	2	6	-	-	-	2	-	1
	前年比	4	▲1	6	-	-	▲1	▲1	-	1
	活動件数	5	-	3	-	-	-	1	-	1
	前年比	-	▲2	3	-	-	▲1	▲1	-	1
	救助人員	5	-	4	-	-	-	-	-	1
	前年比	2	-	4	-	-	▲1	▲2	-	1
福 崎 町	出動件数	25	8	10	-	-	-	4	-	3
	前年比	8	5	6	-	-	-	1	-	▲4
	活動件数	11	2	6	-	-	-	3	-	-
	前年比	2	1	4	-	-	-	-	-	▲3
	救助人員	8	-	6	-	-	-	2	-	-
	前年比	-	-	5	-	-	-	-	-	▲5
神 河 町	出動件数	9	-	-	-	-	1	3	1	4
	前年比	▲3	▲1	▲3	▲1	-	1	1	1	▲1
	活動件数	7	-	-	-	-	1	2	1	3
	前年比	2	-	▲3	▲1	-	1	2	1	2
	救助人員	6	-	-	-	-	1	2	-	3
	前年比	2	-	▲2	▲1	-	1	2	-	2
管 轄 外	出動件数	3	1	2	-	-	-	-	-	-
	前年比	▲1	1	▲1	-	-	-	-	-	▲1
	活動件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	救助人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「活動率」： 救助活動件数 ÷ 救助出動件数 × 100

2 救助出動件数及び出動種別の推移

この10年間の救助出動件数をみると、平成27年以降、500～550件前後で推移していましたが、令和5年以降600件を超える件数に増加しています。事故種別でみると、特に建物等による事故の増加が顕著にみられます。建物等事故とは、建物、工作物に起因する事故で、主に一人暮らしの方の安否確認といった事案が増加傾向にあります。

事故種別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火 災	86	66	79	74	71	91	72	66	92	65
交通事故	182	155	176	159	129	89	121	110	119	125
水難事故	22	15	9	15	13	18	16	17	14	16
風水害等	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
機械事故	15	8	5	6	5	7	3	1	6	7
建 物 等	108	121	122	142	156	169	142	191	244	278
ガス・酸欠	3	4	6	3	1	2	2	5	10	8
そ の 他	100	111	138	157	155	136	173	160	196	137
合 計	516	480	537	556	531	512	529	550	681	636



3 署別救助事故発生状況及び活動状況

救助事故の署別発生状況及び活動状況をみると、網干消防署において前年と比べて半数近く減少していますが、中播消防署の受託町域においては増加率が高くなっています。

(令和6年中)

署 別	事故種別	合 計	対前年 増減数	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
姫路東消防署		179	▲7	15	30	4	-	2	87	1	40
		115	▲2	4	13	4	-	2	81	1	10
姫路西消防署		179	▲7	17	25	1	-	1	91	3	41
		117	15	3	13	1	-	1	85	3	11
飾磨消防署		148	1	10	39	9	-	2	60	1	27
		92	10	-	18	8	-	1	57	1	7
網干消防署		47	▲41	8	1	-	-	1	22	2	13
		28	▲13	2	1	-	-	1	21	1	2
中播消防署		80	10	14	28	2	-	1	18	1	16
		48	9	2	17	2	-	1	15	1	10
受託町		45	9	10	16	-	-	1	9	1	8
		23	4	2	9	-	-	1	6	1	4
管 轄 外		3	▲1	1	2	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計		636	▲45	65	125	16	-	7	278	8	137
		400	19	11	62	15	-	6	259	7	40

上段は出動件数、下段は活動件数

4 署所別救助事故発生状況

署別では姫路東消防署、姫路西消防署が多く、署所別では姫路西消防署本署の管轄区域内で最も多く発生しています。

(令和6年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
区 分										
姫路東消防署	本 署	63	3	2	1	-	1	37	-	19
	御国野	52	5	13	1	-	-	20	-	13
	豊 富	11	1	4	-	-	-	4	-	2
	飾 東	14	1	7	1	-	-	1	1	3
	増 位	39	5	4	1	-	1	25	-	3
	小 計	179	15	30	4	-	2	87	1	40
姫路西	本 署	128	8	15	-	-	1	75	3	26
	飾 西	35	6	4	1	-	-	14	-	10
	林 田	16	3	6	-	-	-	2	-	5
	小 計	179	17	25	1	-	1	91	3	41
飾磨消防署	本 署	71	7	18	6	-	2	27	-	11
	白 浜	30	1	15	1	-	-	4	1	8
	広 畑	34	-	5	-	-	-	23	-	6
	大 的	10	2	-	2	-	-	5	-	1
	家 島	2	-	-	-	-	-	1	-	1
	坊 勢	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	小 計	148	10	39	9	-	2	60	1	27
網 干	本 署	36	6	1	-	-	1	15	2	11
	勝 原	11	2	-	-	-	-	7	-	2
	小 計	47	8	1	-	-	1	22	2	13
中播消防署	本 署	35	10	15	-	-	-	6	-	4
	香 寺	11	-	6	-	-	-	4	-	1
	夢 前	24	4	6	2	-	-	5	-	7
	北 部	10	-	1	-	-	1	3	1	4
	小 計	80	14	28	2	-	1	18	1	16
管 轄 外	高砂市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	たつの市	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	加古川市	2	-	2	-	-	-	-	-	-
	加西市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宍粟市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太子町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小 計	3	1	2	-	-	-	-	-	-
合 計		636	65	125	16	-	7	278	8	137

5 発生場所別救助事故状況

発生場所は「住居」が 328件と最も多く、主に「建物等による事故」によるものです。

「一般道」の106件は、ほとんどが「交通事故」によるものです。

(令和6年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
発生場所										
屋 内	住 居	328 (318)	24 (24)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	263 (254)	3 (3)	37 (36)
	他 屋 内	76 (68)	21 (15)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (5)	11 (11)	2 (2)	37 (35)
道 路	高 速 道	24 (19)	4 (3)	20 (16)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	一 般 道	106 (91)	2 (2)	95 (81)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (1)	7 (7)
水 面	内 水 面	18 (17)	- (-)	3 (3)	10 (10)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (4)
	外 水 面	6 (6)	- (-)	- (-)	6 (6)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
山 岳		14 (12)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	14 (12)
そ の 他 屋 外		58 (51)	14 (10)	7 (7)	- (-)	- (-)	1 (-)	4 (4)	1 (1)	31 (29)
地 下		1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)
そ の 他		5 (5)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5 (5)
合 計		636 (588)	65 (54)	125 (107)	16 (16)	- (-)	7 (6)	278 (269)	8 (7)	137 (129)

()内は姫路市の数値

6 水難救助事故の状況

水難事故は、河川や海岸部で発生しており、全16件のうち3件で潜水活動を実施しています。

(令和6年中)

事故形態 発生場所	総 件数	転 落		自 損		交通事故で転落		遊 泳 中		原因不明等		要救 助者 総数	水難 降 出動	潜水 活動
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数			
飾磨区 飾磨岸壁	2			1	80歳代 死 80歳代 死							2	○	○
飾磨区 中島公共埠頭	1					1	70歳代 不			1	不明 死	1	○	
その他	13	1	70歳代 軽									1	○	
		1	70歳代 中									1	○	○
		1	20歳代 中									1	○	
		1	70歳代 中									1	○	
				1	50歳代 中							1	-	
				1	70歳代 中							1	○	
						1	70歳代 不					1	○	
								1	20歳代 死			1	○	
										1	不明 死	1	○	
										1	-	-	○	○
										1	80歳代 死	1	○	
										1	50歳代 死	1	○	
										1	60歳代 中	1	○	
合 計	16	4	中3・軽1	3	死2・中2	2	不2	1	死1	6	死4・中1	16	15	3

死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

7 山岳救助事故の状況

事故種別「その他」の137件のうち13件は山岳事故で、転落・滑落によるものが3件、道迷いが4件でした。

(令和6年中)

事故形態 発生場所	総 件数	転落・滑落		転 倒		急 病		道迷い		その他		要救 助者 総数	ヘリ 搬送
		件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数	件数	負傷者数		
雪彦山	4	1	40歳代 軽									1	○
						1	50歳代 重					1	
								1	20歳代 不 20歳代 不			2	
								1	50歳代 不			1	
書写山	1			1	70歳代 中							1	
その他の山岳	8	1	80歳代 軽									1	
		1	80歳代 中									1	○
				1	60歳代 軽							1	
						1	50歳代 軽					1	○
								1	60歳代 不			1	
								1	30歳代 不			1	
										1	50歳代 死	1	
										1	40歳代 軽	1	
合 計	13	3	中1・軽2	2	中1・軽1	2	重1・軽1	4	不5	2	死1・軽1	14	3

死：死亡、篤：重篤、重：重症、中：中等症、軽：軽症、無：無症、不：不明

8 救助出動隊員数及び活動隊員数

(令和6年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
専任救助隊	1,402	201	369	39	-	19	357	47	370
	491	24	95	23	-	13	247	19	70
兼任救助隊	2,309	407	206	127	-	22	817	59	671
	1,017	30	88	99	-	17	658	25	100
消防隊員	4,789	1,212	728	133	-	36	1,066	85	1,529
	1,597	44	270	102	-	30	886	58	207
救急隊員	2,243	229	533	60	-	21	867	30	503
	1,082	3	196	42	-	12	703	18	108
消防団員	1,240	1,008	10	-	-	-	-	23	199
	10	-	10	-	-	-	-	-	-
合 計	11,983	3,057	1,846	359	-	98	3,107	244	3,272
	4,197	101	659	266	-	72	2,494	120	485

上段は出動隊員数、下段は活動隊員数

9 救助出動車両台数及び活動車両台数

(令和6年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
救助工作車	474	68	121	18	-	7	123	14	123
	173	8	33	10	-	5	84	6	27
タンク車	1353	319	139	35	-	8	426	22	404
S T 車	538	16	65	30	-	6	357	14	50
梯子車	29	9	-	-	-	-	-	-	20
	2	1	-	-	-	-	-	-	1
化学車	32	9	-	-	-	-	-	-	23
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指揮隊車	376	90	120	16	-	7	18	8	117
指揮車	96	1	35	13	-	6	11	5	25
救急車	741	75	177	20	-	7	285	10	167
	357	1	65	14	-	4	231	6	36
消防団車両	240	179	1	1	-	-	-	2	57
	2	-	1	1	-	-	-	-	-
その他	96	27	7	16	-	-	4	7	35
	24	-	3	9	-	-	2	2	8
合 計	3,341	776	565	106	-	29	856	63	946
	1,192	27	202	77	-	21	685	33	147

上段は出動車両台数、下段は活動車両台数

10 救助事故別傷病程度

救助事故で発生した傷病者（自己脱出含む）を傷病程度により分類しています。

(令和6年中)

事故種別 区 分	合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他
死 亡	70	1	4	7	-	-	55	2	1
重 篤	5	-	2	-	-	1	1	-	1
重 症	25	-	8	-	-	2	9	1	5
中等症	131	5	48	6	-	1	64	1	6
軽 症	133	6	97	1	-	-	18	1	10
不 明	211	3	88	2	-	3	86	4	25
合 計	575	15	247	16	-	7	233	9	48

「不明」：本人拒否等により医療診断を受けなかった人数

11 救助資機材使用状況

(令和6年中)

事故種別		合 計	火 災	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	建物等 による 事故	ガス及び 酸欠事故	その他
区 分										
一 般 救助器具	かぎ付はしご	39	19	2	2	-	-	15	-	1
	三連はしご(二連)	118	29	-	6	-	-	74	-	9
	カラビナ	68	3	5	7	-	-	38	-	15
	担架・縛帯	34	-	5	7	-	-	8	-	14
	その他の	108	11	13	25	-	-	32	-	27
	小 計	367	62	25	47	-	-	167	-	66
重 量 物 排除器具	油圧スプレッダー	11	-	7	1	-	2	1	-	-
	車両ウィンチ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マットジャッキ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の	6	-	5	1	-	-	-	-	-
	小 計	17	-	12	2	-	2	1	-	-
切 断 用 器具	油圧切断機	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	エンジンカッター	2	1	-	-	-	-	1	-	-
	鉄線カッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	グラブソー	6	-	3	1	-	-	1	-	1
	その他の	19	2	6	-	-	-	10	-	1
	小 計	28	3	10	1	-	-	12	-	2
破 壊 用 器具	万能斧	41	10	1	-	-	-	29	1	-
	その他の	36	14	3	-	-	-	12	1	6
	小 計	77	24	4	-	-	-	41	2	6
測 定 器 具		263	45	-	-	-	-	182	11	25
呼吸保護 用 器 具	空気呼吸器	565	359	-	-	-	-	103	39	64
	送排風機	3	2	-	-	-	-	-	1	-
	その他の	9	8	1	-	-	-	-	-	-
	小 計	577	369	1	-	-	-	103	40	64
隊員保護 用 器 具	防護衣	1,078	49	242	16	-	12	551	39	169
	その他の	73	29	-	6	-	-	28	-	10
	小 計	1,151	78	242	22	-	12	579	39	179
水 難 救助器具	潜水器具一式	14	-	-	14	-	-	-	-	-
	救命胴衣	230	-	-	201	-	-	-	-	29
	その他の	54	-	-	50	-	-	-	-	4
	小 計	298	-	-	265	-	-	-	-	33
山 岳 用 救助器具	カラビナ	85	-	-	-	-	-	-	-	85
	テーパー	84	4	-	4	-	-	-	-	76
	その他の	89	-	-	-	-	-	5	-	84
	小 計	258	4	-	4	-	-	5	-	245
その他 救助器具	携帯拡声器	377	119	91	36	-	10	33	5	83
	携帯・可搬無線機	147	52	29	7	-	4	5	3	47
	強力ライト	734	271	149	29	-	4	141	13	127
	応急処置用セット	5	-	-	-	-	-	4	-	1
	感染防護具	5,515	276	1,458	96	-	67	2,853	85	680
	その他の	2,976	616	965	114	-	43	696	47	495
	小 計	9,754	1,334	2,692	282	-	128	3,732	153	1,433
合 計		12,790	1,919	2,986	623	-	142	4,822	245	2,053

12 救助訓練実施状況

下記訓練とは別に、水難救助訓練（85回、延べ454人）及び山岳救助訓練（72回、延べ638人）を実施しています。

(令和6年中)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
体力練成 及び訓練	68 327 86:00	74 407 81:30	61 281 84:00	55 183 71:30	76 319 117:00	84 317 118:30	74 267 44:30	89 358 131:40	95 373 138:10	101 414 131:10	83 299 102:30	79 327 107:00
ロ-ブ 基本 応用訓練	24 120 24:30	14 62 36:00	15 70 15:00	45 143 125:00	51 180 150:30	47 146 143:10	54 169 170:00	24 104 36:00	30 133 39:30	30 108 31:00	27 124 24:30	26 90 19:00
検索救助 訓 練	49 215 92:30	49 208 92:45	50 220 116:00	60 304 86:25	56 227 89:05	46 160 148:55	41 103 42:20	79 379 140:30	77 392 141:10	72 367 151:10	88 391 179:30	58 307 129:50
救助器具 取扱訓練	29 119 28:30	28 121 33:30	18 81 17:30	57 258 75:15	35 103 35:00	38 106 42:50	47 167 68:30	44 121 47:50	45 200 57:30	51 203 57:00	45 176 38:40	31 116 39:30
救助事象 想定訓練	60 261 94:20	44 191 69:25	66 284 81:35	41 192 55:45	46 191 81:30	46 201 69:20	58 199 74:20	82 229 103:05	91 445 146:10	64 389 128:00	51 249 81:30	45 252 321:45
その他の 訓 練	36 182 62:30	32 144 39:30	21 93 28:30	107 495 256:20	106 450 296:40	99 283 299:50	102 485 310:00	48 200 130:30	36 183 54:00	58 302 82:30	63 273 67:00	33 170 63:45

上段：実施回数、中段：実施延べ人員、下段：実施延べ時間

【その他】

1 火災・救助以外の消防隊の緊急出動状況

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
石油コンビナート災害	10 (10)	88 (88)	295 (295)
救急支援・PA出動等	1,581 (1,471)	1,890 (1,777)	7,023 (6,594)
警 戒 出 動	654 (601)	697 (632)	2,627 (2,402)
誤 報 ・ 偽 報	68 (61)	364 (334)	1,306 (1,208)
風 水 害 等 出 動	5 (5)	5 (5)	20 (20)
合 計	2,318 (2,148)	3,044 (2,836)	11,271 (10,519)

(注) ()内は姫路市の数値

※ 石油コンビナート災害とは、石油コンビナート等災害防止法に規定されている異常現象のうち「火災」に該当するものを除いたものを示します。

※ 警戒出動とは、石油コンビナート災害を除く危険防除活動、現場警戒等を示します。

2 自動火災報知設備の誤作動による出動状況

	令和4年	令和5年	令和6年
出 動 件 数	253 (251)	315 (308)	318 (304)
出 動 台 数	596 (583)	740 (702)	587 (557)
出 動 人 員	2,172 (2,129)	2,624 (2,504)	2,149 (2,048)

(注) ()内は姫路市の数値

・自動火災報知設備の主な誤作動原因

区 分	出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
いたずらによるもの	14 (13)	14 (13)	56 (52)
誤 操 作 によるもの	11 (11)	12 (12)	42 (42)
調理による熱または煙	21 (21)	84 (84)	305 (305)
機 能 不 良 (劣 化)	23 (19)	43 (31)	151 (113)

3 兵庫県消防防災航空隊災害出動状況

兵庫県消防防災航空隊は、平成16年4月から兵庫県保有1機、神戸市保有2機の一体的運用により、県下一円の災害に対応できるよう常時2機の稼働体制を確保しています。

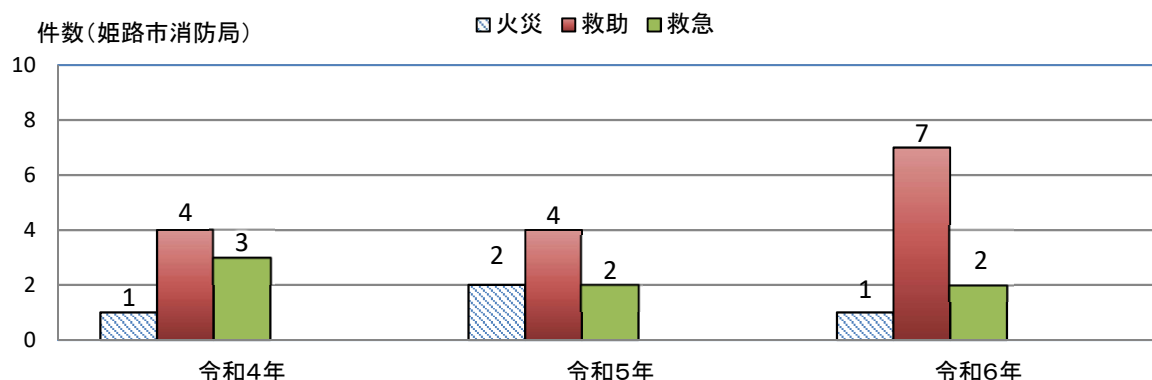
医師等が搭乗する医療スタッフ同乗型救急ヘリコプターについては、兵庫県災害医療センター、神戸大学付属病院と連携し実施しています。

神戸空港を起点に兵庫県全土を対象に活動しています。

令和4年	火 災	救 助	救 急	その他
姫路市(6件)	1	2	3	－
市川町(2件)	－	2	－	－
福崎町(－件)	－	－	－	－
神河町(－件)	－	－	－	－
合 計 (8件)	1	4	3	－
航空隊出動 総数(148件)	19	54	73	2

令和5年	火 災	救 助	救 急	その他
姫路市(7件)	2	3	2	－
市川町(－件)	－	－	－	－
福崎町(1件)	－	1	－	－
神河町(－件)	－	－	－	－
合 計 (8件)	2	4	2	－
航空隊出動 総数(137件)	18	46	73	－

令和6年	火 災	救 助	救 急	その他
姫路市(9件)	1	6	2	－
市川町(1件)	－	1	－	－
福崎町(－件)	－	－	－	－
神河町(－件)	－	－	－	－
合 計 (10件)	1	7	2	－
航空隊出動 総数(123件)	11	44	60	8



資 料

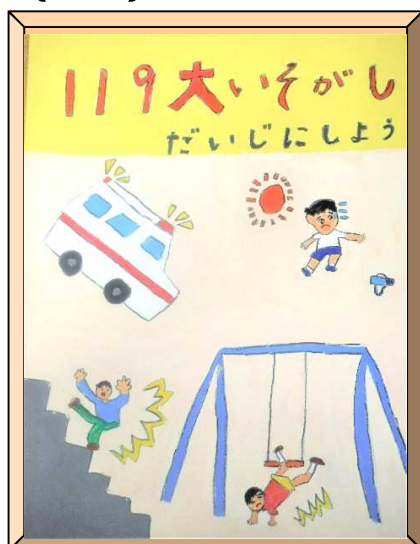
令和6年度救急車適正利用啓発ポスター入賞作品

金賞（1点）

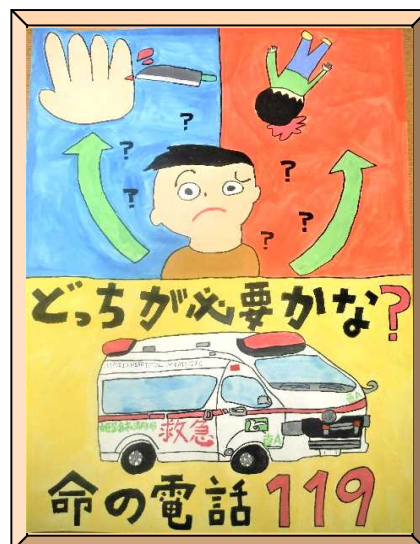


姫路市立別所小学校 2年生
番場 想一朗 さんの作品

銀賞（2点）

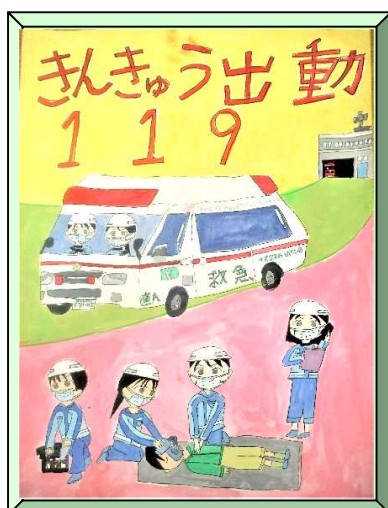


姫路市立船場小学校 3年生
高橋 蓮 さんの作品

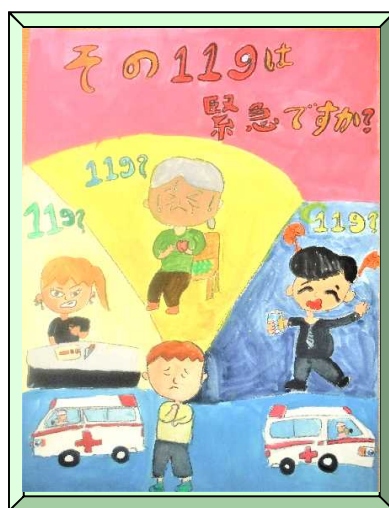


姫路市立荒川小学校 6年生
寺田 快都 さんの作品

銅賞（3点）



姫路市立城東小学校 2年生
大谷 菜那子 さんの作品



姫路市立安室小学校 5年生
松岡 釉月 さんの作品



姫路市別所小学校 5年生
榊原 伊吹 さんの作品

令和6年度防火ポスター最優秀賞・金賞作品



最優秀賞

令和6年秋火災予防運動ポスター

姫路市立谷外小学校 4年生

中井 隆輝 さんの作品



最優秀賞

令和7年春季火災予防運動ポスター

姫路市立城陽小学校 5年生

川野 建 さんの作品



金賞

姫路市立英賀保小学校 1年生

菅生 明以 さんの作品



金賞

姫路市立城北小学校 2年生

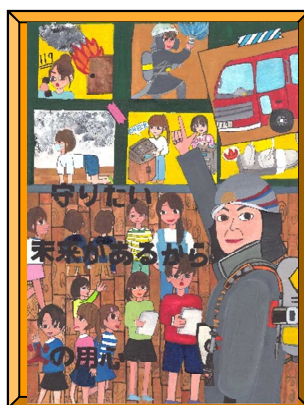
中尾 壮汰 さんの作品



金賞

姫路市立荒川小学校 3年生

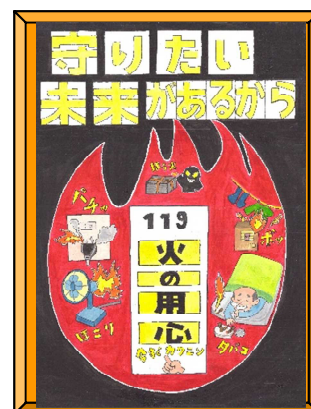
山口 葉月 さんの作品



金賞

姫路市立花田小学校 6年生

都出 千琴 さんの作品



金賞

姫路市立勝原小学校 6年生

島田 幸芽 さんの作品

学年は、受賞時のもの

令和6年度火災予防啓発ポスター・チラシ

乾燥・強風注意報発表中の 火災が多発しています!

乾燥・強風注意報発表中の「たき火」等は控えましょう!!



⚠ **たき火**



⚠ **あぜ焼き**

たき火等の火が服や建物に燃え移り、亡くなれたり、建物や家財に
大きな被害が及ぶ火災も発生しています。

[参考]姫路市火災予防条例

(乾燥注意報等発表時の火の使用の制限)

第30条の2 乾燥注意報又は強風注意報が発せられた場合における山林、原野及びその周辺における火の使用については、
次に掲げる基準によらなければならない。

(1) たき火、あぜ焼き等をしないこと。ただし、防火上有効な措置を講じた場合は、この限りでない。

(2) 喫煙しないこと。ただし、喫煙設備等のある場所で喫煙する場合は、この限りでない。

(3) 煙火を消費しないこと。

(たき火)

第26条 可燃性の物品その他の可燃物の近くにおいては、たき火をしてはならない。

2 たき火をする場合においては、消火準備その他火災予防に必要な措置を講じなければならない。



○お問い合わせは「消防局予防課」又は「お近くの消防署」まで

消防局 予防課 ☎079-223-9532

姫路東消防署 ☎079-288-0119

姫路西消防署 ☎079-294-0119

飾磨消防署 ☎079-233-0119

網干消防署 ☎079-273-0119

中播消防署 ☎0790-23-0119

○焼却火に係る火災予防広報について

野外焼却が禁止されていることを含んだ広報から、当市火災予防条例第30条の2、第26条を根拠とした「乾燥注意報・強風注意報発表中はたき火、あぜ焼き等を控えましょう」という内容の広報に変更しました。

危険物安全週間中の広報
及び危険物に対する保安意
識の高揚のため、兵庫県立
姫路工業高等学校デザイン
科の小暮周晴さんにデザイン
を作成していただきました。



兵庫県立姫路工業高等学校 デザイン科 小暮 周晴さん

姫路市消防局

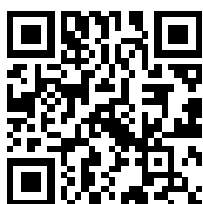


このページは空白です。



姫路市 ホームページ

<https://www.city.himeji.lg.jp>



姫路市消防局 公式インスタグラム

https://instagram.com/himeji_fd.119



@HIMEJI_FD.119